

平成28年度青少年海外派遣研修事業

# 派遣研修報告書

公益財団法人花巻国際交流協会



## ◆目次

• 事業の概略説明	・・・	2
• 派遣先都市の紹介	・・・	3～
• 派遣生徒と引率教諭名簿	・・・	5～
• 事前研修、出発式、事後研修会～報告会	・・・	7～
• 派遣研修日程紹介	・・・	11～
• 派遣研修先プレゼンテーション資料		
アメリカ合衆国 ホットスプリングス市	・・・	31～
オーストリア共和国 ベルンドルフ市	・・・	47～
アメリカ合衆国 ラットランド市	・・・	63～
アメリカ合衆国 クリントン村	・・・	79～
• 派遣報告書		
アメリカ合衆国 ホットスプリングス市	・・・	97～
オーストリア共和国 ベルンドルフ市	・・・	119～
アメリカ合衆国 ラットランド市	・・・	141～
アメリカ合衆国 クリントン村	・・・	163～
• 新聞記事	・・・	186～

## ◆平成28年度 青少年海外派遣研修事業 概略説明

花巻市の将来を担う青少年を海外に派遣し、他国の歴史、文化、習慣等に触れることによって広い視野と洗練された国際感覚を身につけ、国際社会から信頼される人間形成の一助とすることを目的として、書類選考や面接によって選ばれた花巻市内の中学2年生、計24名を下記4か所の国際姉妹都市等へ派遣しました。

### 記

1 主 催 公益財団法人花巻国際交流協会

2 共 催 花巻市・花巻市教育委員会

### 3 派遣先及び派遣時期

(1) アメリカ合衆国アーカンソー州ホットスプリングス市（姉妹都市）

派遣時期：平成28年10月28日(金)～11月6日(日)10日間

(2) オーストリア共和国ニーダーエスタライヒ州ベルンドルフ市（友好都市）

派遣時期：平成28年11月6日(日)～11月15日(火)10日間

(3) アメリカ合衆国バーモント州ラットランド市（姉妹都市）

派遣時期：平成28年10月25日(火)～11月2日(水)9日間

(4) アメリカ合衆国ウィスコンシン州クリントン村（友好関係都市）

派遣時期：平成28年10月25日(火)～11月2日(水)9日間

### 4 派遣人員

それぞれの派遣先に市内中学2年生6名、引率1名を派遣しました。

### 5 選考について

応募者60名の中から、選考委員会により書類選考と面接によって派遣者24名を決定しました。

## ◆派遣先都市の紹介

**Hot Springs, Arkansas** (アメリカ合衆国アーカンソー州ホットスプリングス市) 人口約 35,500 人

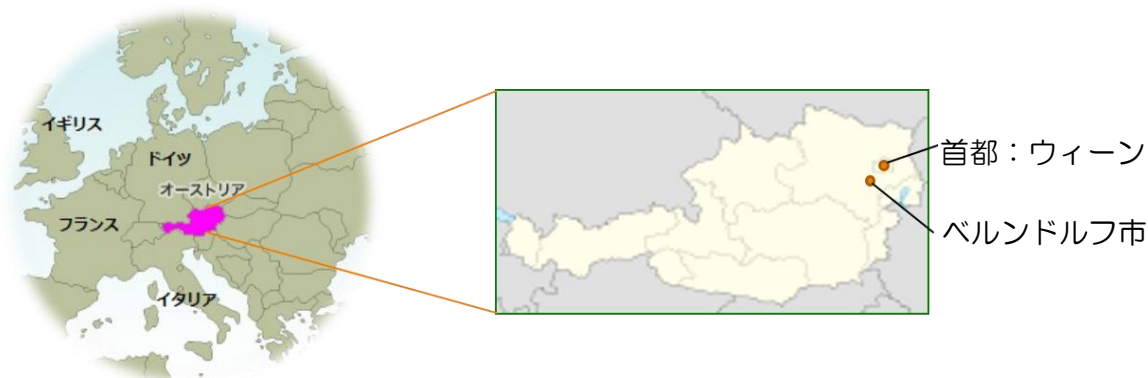
ホットスプリングス市は、アーカンソー州の中西部に位置する都市です。「ホットスプリングス」という市名が示す通り温泉で知られており、花巻市とは、両市が美しい自然や温泉に恵まれた都市であるなど多くの共通点があります。

平成5年(1993年)1月15日の国際姉妹都市提携以降、青少年の海外派遣や受入、市民や教員の受入を行っています。



**Berndorf, Niederösterreich** (オーストリア共和国ニーダーエスタライヒ州ベルンドルフ市) 人口約9,000人

ベルンドルフ市はオーストリア国ニーダーエスタライヒ州の山間部にある文化都市です。ぶどう栽培が盛んで、ワイナリーもあります。ハヤチネウスユキソウ(早池峰の花)とエーデルワイス(アルプスの花)がよく似ているという縁もあり、昭和40年(1965年)10月12日に旧大迫町と国際友好都市提携の記念式典を行いました。平成27年10月には国際友好都市提携50周年記念事業を花巻市大迫町を中心に実施致しました。

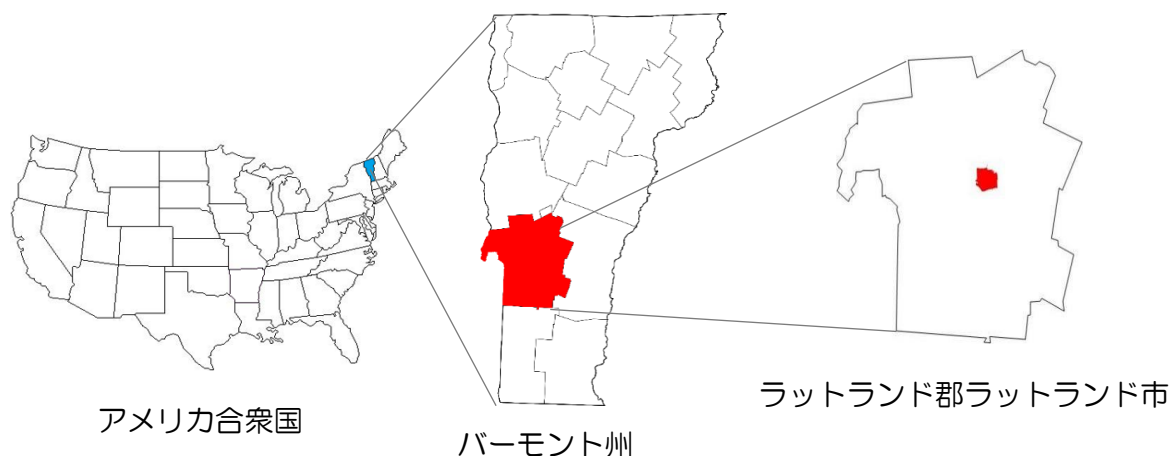


**Rutland, Vermont** (バーモント州ラットランド市) 人口約 16,500 人

ラットランド市は、アメリカ合衆国バーモント州南西部ラットランド郡の郡庁所在地で大理石やメープルシロップなどで知られる歴史ある街です。

インディアナ州のアールム大学を訪れた当時の石鳥谷町長が担当教授からバーモント州訪問を勧められ、その教え子がラットランド市長と懇意の間柄であったことから両市町長が意気投合して姉妹都市提携の機運醸成を図り、昭和 61 年(1986 年)10 月 8 日に旧石鳥谷町と国際姉妹都市の提携を行いました。昭和 63 年からは石鳥谷町との間で学生の交換プログラムがスタートし、現在も継続して交流が続いております。

平成 28 年 10 月には国際姉妹都市提携 30 周年を迎え、花巻市の市民訪問団がラットランド市を訪問して交流を深めました。



**Clinton, Wisconsin** (アメリカ合衆国ウィスコンシン州クリントン村)

人口約 2,000 人

クリントン村はウィスコンシン州ロック郡にある、酪農が盛んな村です。クリントン村で農業研修をした旧東和町民が当時の教育長宅にホームステイしたことがきっかけに、昭和 63 年に旧東和町から 3 人を派遣、クリントンから 3 人を受け入れし、相互交流が開始されました。



◆派遣生徒と引率教諭名簿

派遣先	氏名	中学校	性別
ホットスプリングス市	キクチ 菊池 さくら	花巻	女
	クマガイ 熊谷 カイト 快斗	花巻	男
	ハセガワ 長谷川 ハルカ 遥香	花巻北	女
	タナカ 田中 ヒヨリ 日和	花巻北	女
	タカハシ 高橋 カズヤ 一矢	西南	男
	フジタテ 藤館 エリナ 英梨菜	東和	女
	引率・佐藤 サトウ いずみ	花巻北	女
ベルンドルフ市	ヨコタ 横田 サヤ 紗弥	花巻	女
	イトウ 伊藤 サキ 咲希	花巻北	女
	ヤエハタ 八重畑 ロク 陸	大迫	男
	ヒガキ 檜垣 ヒメコ 媛子	大迫	女
	サトウ 佐藤 モモカ 百華	東和	女
	スガワラ 菅原 リナ 里奈	東和	女
	引率・上田 ウエダ ヨシオ 佳穂	笹間第一小	男

派遣先	氏名	中学校	性別
ラットランド市	<small>フジワラ</small> 藤原 ひなた	花巻	女
	<small>ツノカケ</small> <small>アオイ</small> 角掛 碧	宮野目	女
	<small>タムラ</small> <small>ユウキ</small> 田村 祐葵	宮野目	男
	<small>ヨシミズ</small> <small>マ リ ナ</small> 吉水 真理奈	石鳥谷	女
	<small>カマダ</small> 鎌田 あすか	石鳥谷	女
	<small>ササキ</small> <small>トワ</small> 佐々木 永遠	大迫	男
	引率・ <small>ヤマネ</small> <small>ヒサシ</small> 山根 寿	石鳥谷	男
クリントン村	<small>スガワラ</small> <small>マナカ</small> 菅原 舞永	花巻北	女
	<small>アラヤ</small> <small>ホナミ</small> 荒谷 帆南	宮野目	女
	<small>カツヤマ</small> <small>コウタ</small> 勝山 耕太	石鳥谷	男
	<small>ヤエガシ</small> <small>カンナ</small> 八重樫 環那	西南	女
	<small>ミヤカワ</small> <small>ナナミ</small> 宮川 奈那美	湯口	女
	<small>オハラ</small> <small>コトミ</small> 小原 琴美	東和	女
	引率・ <small>テルイ</small> <small>ヒロノブ</small> 照井 裕悦	東和小	男



## ◆事前研修、出発式、事後研修会 ～ 報告会

海外派遣研修にあたり、派遣生と引率教諭は事前研修6回、事後研修3回の全9回の研修会に参加しました。帰国後は、国際フェアINはなまき2016や合同報告会並びに個別報告会と様々な場で報告しました。

## ◆事前研修会

7/26 (火)	<p><b>【第1回事前研修会】 18:00～19:00</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海外派遣研修事業の説明/旅行手続きについて</li> <li>・提出書類について/現地プレゼン（自己紹介）について</li> </ul> <p><b>【第1回英会話研修】 19:00～20:00</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カタカナと和製英語の注意/『質問カード』ゲーム</li> </ul>
8/9 (火)	<p><b>【第2回事前研修会】 18:00～19:00</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旅のマナーとホームステイでの注意点/手荷物について</li> <li>・海外旅行保険について/外貨・持ち物について</li> <li>・派遣先別研修（研修テーマ準備/プレゼン準備/役割分担）</li> </ul>
8/23 (火)	<p><b>【第3回事前研修会】 18:00～19:00</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旅行日程について/服装・持ち物等について</li> <li>・プロフィール、ホストファミリーへの手紙について</li> <li>・派遣先別研修（現地プレゼン確認）</li> </ul> <p><b>【第2回英会話研修】 19:00～20:00</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・和製英語復習・発音練習/『質問カード』ゲーム</li> </ul>
9/5 (月)	<p><b>【第4回事前研修会】 18:00～19:00</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホストファミリーへの手紙提出/・渡航手続き書類の提出</li> <li>・派遣先別研修会（現地プレゼン確認、プロフィール完成）</li> </ul> <p><b>【第3回英会話研修】 19:00～20:00</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・和製英語復習・発音練習/『質問カード』ゲーム</li> </ul>
9/27 (火)	<p><b>【第5回事前研修会】 18:00～19:00</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出発式・国際フェアについて/報告書の提出/・旅行費用</li> <li>・派遣先別研修（役割分担決定、現地の過ごし方、プレゼン練習）</li> </ul> <p><b>【第4回英会話研修】 19:00～20:00</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入国審査での英会話、ホームステイ先等での挨拶</li> </ul>
10/11 (火)	<p><b>【第6回事前研修会】 18:00～20:00</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最終スケジュール確認/旅行の注意事項等確認</li> <li>・出発式リハーサル ・派遣先別研修（プレゼン練習）</li> </ul>

## ◆出発式

10/21 (金)	18:00~19:00 <ul style="list-style-type: none"> <li>・派遣生徒紹介及び派遣生徒代表挨拶</li> <li>・来賓、主催者挨拶</li> </ul>
--------------	---

## ◆事後研修会

11/28 (月)	<b>【第1回事後研修会】 17:30~19:00</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホストファミリーへのお礼の手紙と報告書下書きの提出</li> <li>・合同報告会、個別報告会について（役割分担について）</li> <li>・派遣先別研修（国際フェアでの報告準備）</li> </ul>
12/19 (月)	<b>【第2回事後研修会】 17:30~19:00</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・合同、個別報告会について／報告書下書き返却（添削済み）</li> <li>・報告会発表原稿配布、内容確認、添削、清書（写真回収）</li> <li>・合同報告会発表担当決定</li> </ul>
1/10 (火)	<b>【第3回事後研修会】 17:30~19:00</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・報告書提出</li> <li>・報告会発表原稿配布、発表リハーサル</li> </ul>

## ◆事前、事後研修会



◆出発式 10月21日(金)



◆派遣研修 (出発～帰国)



◆国際フェアINはなまき2016 12月3日(土)



## ◆報告会

今年度は、合同報告会を東和中学校で実施し、ほかの中学校においては、学校毎に個別報告会を開催しました。なお、派遣生がいない中学校においては青少年海外派遣研修事業の周知のため、来年度の派遣対象となる中学1年生の皆さまに派遣生代表と事務局により派遣事業報告をしました。

### ★合同報告会 2月1日(水) 東和中学校



### ★各校報告会

2月6日(月)西南中/8日(水)湯口中/9日(木)宮野目中/13日(月)石鳥谷中/  
14日(火)湯本中/16日(木)花巻中、大迫中/17日(金)南城中/20日(月)花巻北中



## 派遣研修日程紹介

Hanamaki  
Hot Springs  
Student Exchange Program

October 28 -  
November 6,  
2016

1日目 平成 28 年 10 月 28 日 (金)

Day 1 Friday, October 28, 2016

現地時間	場所	内容
8:30	新花巻駅集合	駅内壁画前に集合
9:09	新花巻駅出発	JRはやて114号
11:56	東京駅着	到着後、成田エクスプレスへ乗換
12:33	東京駅発	成田エクスプレス25号
13:27	成田空港駅着	第1ターミナルへ移動。スーツケース受取り後、出国手続
	搭乗ゲート	パスポート・搭乗券を見せ搭乗
15:55	成田空港発	デルタ航空DL296でアメリカへ
		日付変更線通過
15:25	アトランタ空港着	入国手続き後、国内線乗換
19:25	アトランタ空港発	DL1413でリトルロックへ
20:06	リトルロック空港着	到着後、バスでホットスプリングスへ
	ホテル着	ホットスプリングス市内ホテル宿泊

2日目 平成 28 年 10 月 29 日 (土)

Day 2 Saturday, October 29, 2016

現地時間	場所	内容
朝	ホテル	集合時刻までに、各自朝食をとり、身支度等を済ませておく
10:00		ホストファミリーと対面
終日		ホストファミリーデー

3日目 平成 28 年 10 月 30 日 (日)

Day 3 Sunday, October 30, 2016

現地時間	場所	内容
終日		ホストファミリーデー

4日目 平成 28 年 10 月 31 日 (月)

Day 4 Monday, October 31, 2016

現地時間	場所	内容
8:30		集合
8:30	レイクハミルトン校	学校訪問 (昼食 : ピザ)
15:00	ホストファミリー迎え	ホストファミリーと過ごす

5日目 平成 28 年 11 月 1 日 (火)

Day 5 Tuesday, November 1, 2016

現地時間	場所	内容
8:00	集合	
8:00-10:00	ASMSA (アーカンソー文理数高校)	学校訪問
10:30-11:45	レイクサイド学区	学校訪問
13:15	カッター・モーニングスター学区	学校訪問
17:30	Catherine's Landing(キャンプ場)	ホストファミリーとピクニック

6日目 平成 28 年 11 月 2 日 (水)

Day 6 Wednesday, November 2, 2016

現地時間	場所	内容
7:30	集合	
8:00	ホットスプリングス学区	学校訪問(カフェテリアで昼食)
15:00	ホストファミリー迎え	ホストファミリーと過ごす

7日目 平成 28 年 11 月 3 日 (木)

Day 7 Thursday, November 3, 2016

現地時間	場所	内容
7:30-終日		ホストスチューデントと学校で過ごす

8日目 平成 28 年 11 月 4 日 (金)

Day 8 Friday, November 4, 2016

現地時間	場所	内容
終日		ホストチューデントと学校で過ごす
20:00	コンベンション・センター	集合後、ホットスプリングス市を出発。
21:00	リトルロック市ホテル	Comfort Inn Suites Airport Little Rock

9日目 平成 28 年 11 月 5 日 (土)

Day 9 Saturday, November 5, 2016

現地時間	場所	内容
早朝	ホテルロビー集合	朝食・身支度を済ませておく。
	ホテル発	ホテルのシャトルバスで空港へ
	リトルロック空港着	スーツケースを預入れ、搭乗手続きをする。
7:14	リトルロック空港発	DL1820でアトランタへ



9:50	アトランタ空港着	到着後、荷物を受取り出国手続き
11:58	アトランタ空港発	デルタ航空DL295で日本へ
		日付変更線通過
		機中泊

10日目 平成28年11月6日(日) Day 10 Sunday, November 6, 2016

現地時間	場所	内容
15:30	成田空港着	到着後、入国手続
18:15	成田空港駅発	成田エクスプレス44号で東京駅へ
19:17	東京駅着	到着後、新幹線へ移動
19:40	東京駅発	はやぶさ105号で新花巻駅へ
22:11	新花巻駅着	到着後、解散式

Hanamaki  
Berndorf  
Student Exchange Program

November 6 -15,  
2016

1日目 平成 28 年 11 月 6 日 (日)

Day1 Sunday, November 6, 2016

現地時間	場所	内容
05:50	新花巻駅集合	駅内壁画前に集合
06:22	新花巻駅出発	JRはやぶさ102号
08:56	東京駅着	
09:10	東京駅発	山手線・東京モルルールで羽田空港へ
10:30	羽田空港着	スーツケース受取り後、出国手続
	搭乗ゲート	パスポート・搭乗券を見せ搭乗
12:35	羽田空港発	ルフトハンザドイツ航空LH715でミュンヘンへ
16:50	ミュンヘン空港着	乗換
18:35	ミュンヘン空港発	LH2332でウィーンへ
19:35	ウィーン空港着	シャトルバスでウィーンへ (ARION AIRPORT宿泊)

2日目 平成 28 年 11 月 7 日 (月)

Day 2 Monday, November 7, 2016

現地時間	場所	内容
	ホテル	集合時刻までに、朝食をとり、身支度等を済ませておく
10:00	ホテル発	ホテルをチェックアウトし、バスで出発
	ウィーン周辺	ウィーン周辺見学 ・地底湖ガイドツアー、・修道院ガイドツアー その後ベルンドルフへ
17:30	ベルンドルフ着	ギムナジウム校にてホストファミリーと対面
		ホストファミリーと帰宅

3日目 平成 28 年 11 月 8 日 (火)

Day 3 Tuesday, November 8, 2016

現地時間	場所	内容
8:00	ギムナジウム校	授業参加
13:00	ベルンドルフ市役所	市長からの挨拶
14:00	ウィーン大学畜産科研究所	見学
15:00	ベルンドルフ	ベルンドルフ郊外見学 ・金属工芸工房 ・自由時間
17:30		ホストファミリーと帰宅

4日目 平成 28 年 11 月 9 日 (水)

Day 4 Wednesday, November 9, 2016

現地時間	場所	内容
8:00	ギムナジウム校	授業参加
11:00		歓迎会
13:00	ヘルンドルフ 市内	市内見学 ・グーグルツィプフ展望台、・市民劇場、・旧女子学校・ 男子学校、・マルガレーテン協会、・守り熊、大迫広場 など
17:30		ホストファミリーと帰宅

5日目 平成 28 年 11 月 10 日 (木)

Day 5 Thursday, November 10, 2016

現地時間	場所	内容
8:00	ギムナジウム校	授業参加
13:00	ヘルンドルフ	クラブミュージアム見学
13:45	ヘルンシュタイン	木こりミュージアム見学
16:00	ヘルンドルフ	自由時間
17:00		市役所、友好協会主催の歓迎会
19:00		ホストファミリーと帰宅

6日目 平成 28 年 11 月 11 日 (金)

Day 6 Friday, November 11, 2016

現地時間	場所	内容
8:15	ギムナジウム校	集合、終日ウィーン観光
19:00		ホストファミリーと帰宅

7日目 平成 28 年 11 月 12 日 (土)

Day 7 Saturday, November 12, 2016

現地時間	場所	内容
終日		ホストファミリーデー

8日目 平成 28 年 11 月 13 日 (日)

Day 8 Sunday, November 13, 2016

現地時間	場所	内容
終日		ホストファミリーデー

9日目 平成28年11月14日(月)

Day 9 Monday, November 14, 2016

現地時間	場所	内容
8:00	ギムナジウム校	授業参加
11:10	ヘルンドルフ市役所	市長からの挨拶
11:15		ウィーン空港に向けて出発
	ウィーン空港着	搭乗手続き
14:10	ウィーン空港発	LH1239でフランクフルトへ
15:35	フランクフルト空港着	乗換
17:50	フランクフルト空港発	LH716で羽田空港へ

10日目 平成28年11月15日(火)

Day 10 Tuesday, November 15, 2016

現地時間	場所	内容
13:05	羽田空港着	到着後、入国手続き
14:59	羽田空港発	東京モノレール・山手線で東京駅へ
15:26	東京駅着	到着後、新幹線へ移動
15:36	東京駅発	やまびこ57号で新花巻駅へ
18:41	新花巻駅着	到着後、解散式

Hanamaki  
Rutland  
Student Exchange Program

October 25 -  
November 2,  
2016

1日目 平成 28 年 10 月 25 日 (火)

Day 1 Tuesday, October 25, 2016

現地時間	場所	内容
9:50	新花巻駅集合	駅内壁面前に集合
10:19	新花巻駅出発	JRやまびこ42号で東京駅へ
13:24	東京駅着	到着後、成田エクスプレスへ乗換
14:03	東京駅発	成田エクスプレス31号で成田空港へ
14:57	成田空港着	到着後、国際線搭乗手続き
	搭乗ゲート	パスポート・搭乗券を見せ搭乗
17:30	成田空港発	ユナイテッド航空UA882でアメリカへ
		日付変更線通過
15:10	シカゴ空港着	入国手続き後、国内線乗換
18:15	シカゴ空港発	UA1865便でバーリントンへ
21:23	バーリントン空港着	スーツケースを受取りホテルへ移動
夜	ホテル	宿泊

2日目 平成 28 年 10 月 26 日 (水)

Day 2 Wednesday, October 26, 2016

現地時間	場所	内容
9:30	ホテル	荷物を持ってロビーに集合、ラットランド市へ出発
12:00	ラットランド市	到着
12:00	ラットランド市内見学	Lauraさんと市内見学
15:30	市役所、消防署見学	消防署にてホストスチューデントと会う
16:00		ホストファミリーと一旦帰宅
17:00	学校 (カフェテリア)	グループでの夕食
18:00-		ホストファミリーによってコンサートに参加または帰宅

3日目 平成 28 年 10 月 27 日 (木)

Day 3 Thursday, October 27, 2016

現地時間	場所	内容
8:30	グレース・プレスクール	幼稚園訪問、グレース教会見学
10:30	ラットランドミドル スクール(RMS)	昼食後、教室訪問
15:15	ハントゥーンギャラリー	ピーター・ハントゥーンさん(ラットランド市在住の画家)の ギャラリー訪問
17:15頃		帰宅

18:00		ボーリング大会
-------	--	---------

4日目 平成28年10月28日(金) Day 4 Friday, October 28, 2016

現地時間	場所	内容
7:45	ラットランドハイスクール	訪問
15:10		帰宅、ホストファミリーと

5日目 平成28年10月29日(土) Day 5 Saturday, October 29, 2016

現地時間	場所	内容
9:00	Sugar and Spice	レストランと土産物の店
10:00		Sugar and Spice Rocking Horseで買物
11:30		ホストファミリーデー
17:30		ハロウィンパレード

6日目 平成28年10月30日(日) Day 6 Sunday, October 30, 2016

現地時間	場所	内容
9:00		ホストファミリーデー
12:00	ゴドニック・センター	ゴドニック・センター(レクリエーション施設)でアクティビティー
15:00		感謝祭のディナー

7日目 平成28年10月31日(月) Day 7 Monday, October 31, 2016

現地時間	場所	内容
朝		全ての荷物を持って集合。
9:00		バーリントンに向けて出発
10:30	バーリントン	到着
		ホストファミリーデーと過ごす
18:00	ウインドジャマー	レストランに集合し夕食
20:00	ホテル	ラットランドの皆さんがホテルまで送ってくれる

8日目 平成28年11月1日(火) Day 8 Tuesday, November 1, 2016

現地時間	場所	内容
早朝		シャトルバスでバーリントン空港へ
	バーリントン空港	スーツケースを預入れ、搭乗手続きをする。
9:55	バーリントン空港発	UA4507でシカゴ空港へ



11:24	シカゴ空港着	到着後、荷物を受取り出国手続き
13:15	シカゴ空港発	UA881で成田空港へ
		日付変更線通過

9日目 平成 28 年 11 月 2 日 (水)

Day 9 Wednesday, November 2, 2016

現地時間	場所	内容
16:30	成田空港	到着後、入国手続き
18:15	成田空港駅発	成田エクスプレス44号で東京駅へ
19:17	東京駅着	到着後、新幹線へ移動
19:40	東京駅発	はやぶさ105号で新花巻駅へ
22:11	新花巻駅着	到着後、解散式

Hanamaki  
Clinton  
Student Exchange Program

October 25 -  
November 2,  
2016

1日目 10月25日(火)

Day1 Tuesday, October 25, 2016

現地時間	場所	内容
9:50	新花巻駅集合	駅内壁画前に集合
10:19	新花巻駅出発	JRやまびこ42号
13:24	東京駅着	到着後、添乗員の方と合流し、成田エクスプレスへ乗換
14:03	東京駅発	成田エクスプレス31号で成田空港へ
14:57	成田空港着	到着後、国際線搭乗手続きへ
	搭乗ゲート	出国審査後、待機
		パスポート・搭乗券を見せ搭乗
17:30	成田空港発	ユナイテッド航空UA882でアメリカへ
		日付変更線通過
15:10	シカゴ空港着	入国手続き後、国内線乗換
15:30	シカゴ空港発	クリントン村のバスが空港へ迎えに来てくれる
17:30	クリントン村到着	到着後はホストファミリーと帰宅

2日目 10月26日(水)

Day2 Wednesday, October 26, 2016

現地時間	場所	内容
7:45	クリントンミドルスクール	ホストスチューデントと一緒に登校。9番教室に行って待機。歓迎式の準備をする。
8:45		フロント・ジムにて全校集会(歓迎式)
9:00		クリントン・ミドルスクール見学
10:15		クリントン・ハイスクール見学
11:25	サンダウン	校長と昼食
13:30	クーガー・レーン	ボーリング後、ホストスチューデントと教室へ
15:15		ホストスチューデントと帰宅

3日目 10月27日(木)

Day3 Friday, October 27, 2016

現地時間	場所	内容
7:45	クリントンミドルスクール	ホストスチューデントと登校後、9番教室にて待機
8:10		ホストスチューデントと授業に参加
昼		CMSで昼食

15:15		ホストスチューデントと帰宅
-------	--	---------------

4日目 10月28日(金)

Day4 Friday, October 28, 2016

現地時間	場所	内容
7:45	クリントンミドルスクール	ホストスチューデントと一緒に登校。9番教室に行って待機
8:30	ミルウォーキーへ	ホストスチューデントとウイソコンシン州最大の都市ミルウォーキーへ小旅行/・ミルウォーキー公立博物館(昼食)
14:30		CMSへ戻る
15:15		ホストスチューデントと帰宅

5日目 10月29日(土)

Day5 Saturday, October 29, 2016

現地時間	場所	内容
終日		ホストファミリーデー

6日目 10月30日(日)

Day6 Sunday, October 30, 2016

現地時間	場所	内容
終日		ホストファミリーデー

7日目 10月31日(月)

Day7 Monday, October 31, 2016

現地時間	場所	内容
7:45	クリントンミドルスクール	ホストスチューデントと一緒に登校後、9番教室で待機。
8:15	ウイソコンシン州都へ	ウイソコンシン州都の見学 - 州都庁舎
11:30	The World's Largest Culvers	ハンバーガー店で昼食
12:10		イースト・タウン・モールの見学
14:00		CMSへ戻る (CMSのハロウィンパレード見学)
14:20		ホストスチューデントと授業に参加
15:15		ホストスチューデントと帰宅

8日目 11月1日(火)

Day8 Tuesday, November 1, 2016

現地時間	場所	内容
7:45	クリントンミドルスクール	集合
8:00		シカゴ空港に向けて出発。
	シカゴ空港着	到着後、出国手続き

13:15	シカゴ空港発	UA881で成田空港へ
		日付変更線通過

9日目 11月2日(水)

Day9 Wednesday, November 2, 2016

現地時間	場所	内容
16:30	成田空港着	到着後、入国手続き→税関審査
18:15	成田空港駅発	成田エクスプレス44号で東京駅へ
19:40	東京駅発	新幹線はやぶさ105号で新花巻へ
22:11	新花巻駅着	到着後、解散式



## 派遣研修先プレゼンテーション資料





派遣研修先プレゼンテーション資料

ホットスプリングス市

# Student Exchange Program 2016



## Hanamaki-Hot Springs

みなさん、こんにちは。 Hello, everyone.

私たちは、姉妹都市の花巻市から来ました。これから、私たちの自己紹介をします。

We're from your sister city, Hanamaki, and we would like to introduce ourselves.

内容は趣味や特技と、ホットスプリングス市でやりたいこと、そして花巻市の紹介です。

We'll talk about our hobbies, skills, what we want to do in Hot Springs, and tell you about Hanamaki.

どうぞお聞きください。 So, let's start...

# Kazuya Takahashi

- Seinan Junior High
- 14 years old
- Hobbies : Calligraphy, basketball
- Favorite word : Effort
- What I want to do in Hot Springs : Play real basketball
- What I like best about Hanamaki : Many kinds of Onsen (hot springs)



↑ Me



★私の名前は高橋一矢です。

Hi. My name is Kazuya Takahashi.

★14歳です。西南中学校の生徒です。

I'm 14 years old, and I go to Seinan Junior High School.

★私の特技は習字です。6歳からずっと習字教室に通っています。

My specialty is calligraphy, which I have been practicing since I was 6 years old.

★好きな字は「努力」です。趣味はバスケットです。

My favorite word is "Effort," and my hobby is playing basketball.

★派遣先では、本場のバスケットボールをやりたいです。

During this trip, I hope to play basketball with the local people.

★花巻にはたくさん温泉があるところが好きです。

What I like most about Hanamaki is that we have lots of onsen, which are hot springs.

★秋に露天風呂に入ると紅葉した木々の葉が見えて、とてもきれいです。

I think they have lots of beautiful views, especially when you can see the fall colors while relaxing in an open-air bath.

# Haruka Hasegawa

- Hanamaki Kita JHS
- 14 years old
- Hobbies : Piano, badminton,  
Captain of our badminton club
- What I want to do in Hot Springs : Learn about US schools  
Talk a lot with my host family and new friends
- What I like best about Hanamaki : Many kinds of Matsuri  
(festivals)
- My favorite Matsuri : Hanamaki Matsuri



★私の名前は長谷川遥香です。

Hi, my name is Haruka Hasegawa.

★14歳です。花巻北中学校の生徒です。

I'm 14 years old, and I go to Hanamaki Kita Junior High School.

★私は、ピアノを弾いたり、バドミントンをするのが好きです。学校ではバドミントン部の部長をしています。

I like playing the piano, and badminton. I'm also the captain of our school badminton club.

★派遣先では、アメリカの学校の特徴について学びたいです。また、ホストファミリーの皆さんとたくさん会話をして、交流を深めたいです。

I would like to learn about US schools, and I also hope to talk a lot with my host family and deepen exchange.

★花巻市で一番好きなところは、祭りがたくさんあるところです。中でも9月に開催される花巻祭りがすきで、毎年友達と浴衣を着ていきます。

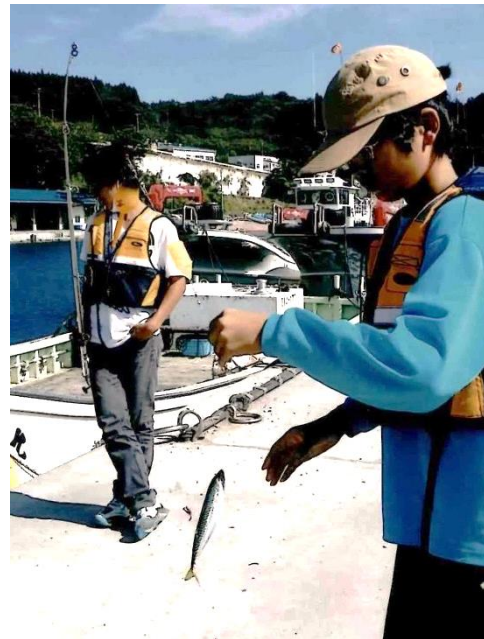
What I like most about Hanamaki is that we have lots of festivals, which are called "matsuri."

My favorite festival is Hanamaki Matsuri, which is in September. Every year, I wear a yukata and hang out at the festival with friends.

By the way, a yukata is a kind of lighter kimono.

# Kaito Kumagai

- Hanamaki JHS
- 14 years old
- Hobbies : **Fishing.**
- What I want to do in Hot Springs : **Learn about famous things in the US, and local food.**
- What I like best about Hanamaki : **Many kinds of traditional foods.**
- My favorite : **Wanko soba.**



Hanamaki's traditional foods

★私の名前は熊谷快斗です。

Hi. My name is Kaito Kumagai.

★14歳です。花巻中学校の生徒です。

I'm 14 years old, and I go to Hanamaki Junior High School.

★私の趣味は釣りです。小さいころからずっとやっています。大きな魚が釣れた時は、とても楽しいです。

My hobby is fishing, which I have been doing since I was a little kid. I'm always really happy when I get a big catch.

★派遣先では、たくさんの人から有名なものや伝統的な食べ物を教わりたいです。

During this trip, I would like to learn about famous things in the US, and about local food.

★花巻市にはたくさんの郷土料理があるところが好きです。一番好きなのは、わんこそばです。

What I like about Hanamaki is that we have good local food. My favorite is Wanko soba, which has a unique way of eating, so if you want to know about it, please ask!

# Hiyori Tanaka

- Hanamaki Kita JHS
- 14 years old
- Hobbies : **Basketball**
- What I want to do in Hot Springs : **Learn about local food in the US.**
- What I like best about Hanamaki : **Beautiful nature.**





★私の名前は田中日和です。

Hi. My name is Hiyori Tanaka.

★14歳です。花巻北中学校の生徒です。

I'm 14 years old, and I go to Hanamaki Kita Junior High School.

★私の特技はバスケットです。小学校3年生から習っています。上手ではありませんが、バスケットをすることが好きです。また、私は体を動かすことも好きです。

I like playing basketball, and I started when I was 3rd grade. I'm not a very good player, but playing basketball is fun.

Really, I like to exercise.

★ホストファミリーから伝統的な料理を教わりたいです。私は食べるのが好きなので、派遣後は家族に自分で作ってあげたいです。また、私の一番の得意料理の「しょうが焼き」をホストファミリーに作ってあげたいです。

I hope to learn about local food from my host family.

I like eating, so after this trip, I'm hoping that I can come back home and make something for my family.

I also want to make my specialty, "shouga yaki," which is a kind of grilled pork and ginger dish, for my host family.

★花巻市にはたくさんの自然があるところが好きです。野生動物やたくさんの植物があります。一番好きなところは満点の星空がみられることです。

その景色は私の心を癒してくれます。

What I like the most about Hanamaki is that we have some beautiful nature.

A lot of animals and plants also live there.

My favorite part is the starry night sky, which I find really relaxing.

# Sakura Kikuchi

- Hanamaki JHS
- 14 years old
- Hobbies : **Handcrafts**
- What I want to do in Hot Springs : **Fold origami with my new friends.**  
**Learn how to make local dishes.**
- What I like best about Hanamaki: **Great historical figures, such as Kenji Miyazawa**

My little family member,



↓Chako↓



↑ made this!



★私の名前は菊池さくらです。

Hi. My name is Sakura Kikuchi.

★14歳です。花巻中学校の生徒です。

I'm 14 years old, and I go to Hanamaki Junior High School.

★私の趣味は裁縫をすることです。最近では、バドミンントンの使い古したシャトルをデコレーションしてキーホルダーを作りました。

My hobby is sewing, and I recently made a key ring out of an old badminton shuttlecock.

★新しい友達と一緒に折り紙を作りたいです。一枚の紙から様々なものを作ることができる楽しみを、新しい友達に知ってもらいたいです。それから、現地の伝統的な料理の作り方を教わりたいです。

During this trip, I hope to make Origami with my new friends, and show them how fun it can be to make things from just one piece of paper.

Also, I hope to learn how to cook some local food.

★花巻市は、宮沢賢治などの偉人のゆかりの地です。花巻では、彼らの作品に多くかかわることができます。

What I like most about Hanamaki is that we have some great historical figures, like Kenji Miyazawa.

There's a lot of places in Hanamaki that we can experience their works, as well.

# Erina Fujitate

- Towa JHS
- 14 years old
- Specialty : **Playing with and teaching little kids.**
- What I want to do in Hot Springs : **Learn about recent trends in Hot Springs, Teach my host family Japanese.**
- What I like best about Hanamaki : **Rich agricultural products.**



あいうえお  
は  
こんにちは

★私の名前は藤舘英梨菜です。

Hi. My name is Erina Fujitate.

★14歳です。東和中学校の生徒です。

I'm 14 years old, and I go to Towa Junior High School.

★私の特技は、小さい子どもと遊ぶことです。勉強を教えることも好きです。滞在中は、ホストファミリーに現地で今流行しているものを聞いてみたいです。それから、日本語も教えてあげたいです。

My specialty is playing with little kids, and I also enjoy teaching.

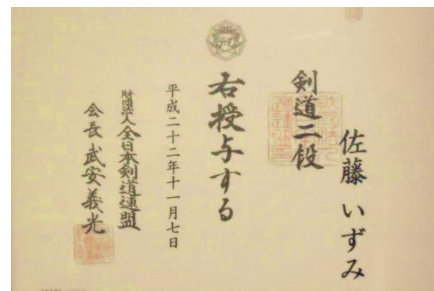
During this trip, I hope to learn about some recent trends in Hot Springs, and also to teach my host family some Japanese.

★花巻にはたくさんの恵まれた農作物があります。季節ごとに旬の食材を食べることができます。

What I like most about Hanamaki is that we have lots of great agricultural products, and there's always ingredients available that fit the season.

# Izumi Sato

- Science teacher, Hanamaki Kita JHS.
- Hobbies : **Photography, Kendo.**
- What I want to do in Hot Springs : **Learn about science education in the US. Play some sports together.**
- What I like best about Hanamaki : **Natural environments, onsen.**



★こんにちは。佐藤いずみです。

Hello. My name is Izumi Sato.

★私は、花巻北中学校で理科を教えています。

I teach science at Hanamaki Kita JHS.

★写真は、鉄と酸素を結びつけ、酸化鉄をつくる実験の様子です。

This photo, tied the iron and oxygen, is the state of the experiment to make the iron oxide.

★剣道は二段をもっています。

I'm a ni-dan rank in Kendo.

★花巻市と姉妹都市のホットスプリングスで、どのような科学教育を行っているのかを学びたいです。

I hope to learn about what kind of science curriculum they have in our sister city, Hot Springs.

★そして、自分の授業に生かしていきたいと考えています。

And, I hope to take what I learn back to my own class.

★よろしく願いいたします。

Thank you.

みなさん、いかがでしたか？ **So, what do you think?**

私たちの紹介をきっかけに、私たちと花巻市に興味をもっただけであれば嬉しいです。

**We would be very happy if you become interested in us and Hanamaki.**

ありがとうございました。 **Thank you.**



派遣研修先プレゼンテーション資料

ベルンドルフ市

# Student Exchange Program 2016



## Hanamaki - Berndorf

みなさん、こんにちは。 Hello, everyone.

私たちは、友好都市の花巻市から来ました。これから、私たちの自己紹介をします。

We're from your friendship city, Hanamaki, and we would like to introduce ourselves.

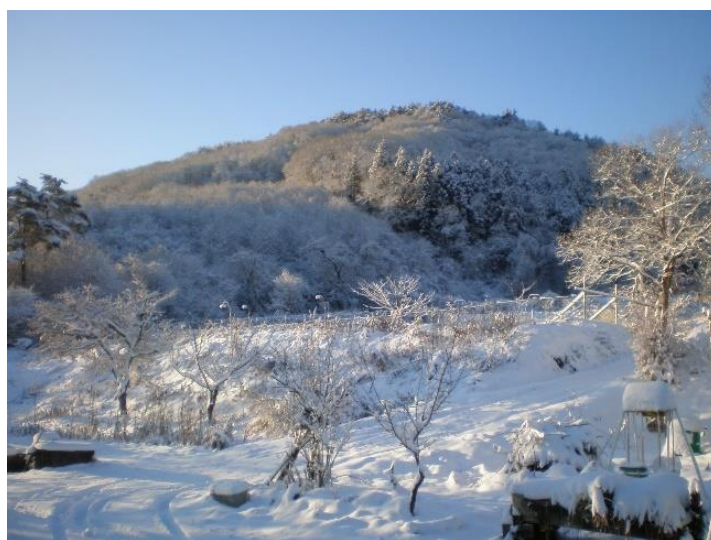
内容は趣味や特技と、ベルンドルフ市でやりたいこと、そして花巻市の紹介です。

We'll talk about our hobbies, skills, what we want to do in Berndorf, and tell you about Hanamaki.

どうぞお聞きください。 So, let's start...

# Himeko Higaki

- 8th Grader at Ohasama JHS
- 13 years old
- Interests and skills : **Hyakunin Isshu (traditional card game).**
- What I want to do in Berndorf : **Learn about traditional events.**
- What I like best about Hanamaki : **Rich nature.**



★私の名前は檜垣媛子です。

**My name is Himeko Higaki.**

★大迫中学校の2年生、13歳です。

**I'm 13, and I'm an 8th grader at Ohasama Junior High.**

★私の趣味は、百人一首です。いところに紹介されて興味をもちました。速く札をとれるととても嬉しいです。私が一番好きな句は「みちのくの しのぶもぢずり だれゆえに みだれそめにし われならなくに」です。

**My hobby is Hyakunin Isshu, which is a traditional Japanese card game.**

**My cousin told me about it, so I became interested. It feels good to be able to quickly take cards. Each card has a poem on it, and my favorite one is**

**“みちのくの しのぶもぢずり だれゆえに みだれそめにし われならなくに”.**

★派遣先では、ベルンドルフに伝わっている伝統芸能について教わりたいです。また、ホストファミリーの方とかるたをしたいと思っています。

**During this trip, I hope to hear about the traditional performing arts of Berndorf, and I also want to play Karuta with my host family, which is another type of Japanese card game.**

★私は、花巻市の自然が豊かなところが好きです。四季折々で変わる景色がとても素晴らしいです。中でも一番好きな季節は冬です。

**What I like about Hanamaki is that we have rich nature. I really like the changing scenery throughout each season, and my favorite season is winter.**

# Momoka Sato

- 8th Grader at Towa JHS
- 13 years old
- Interests and skills : **Baking and Sado (tea ceremony).**
- What I want to do in Berndorf : **Learn about music history.**
- What I like best about Hanamaki : **Onsen (hot springs)**  
**with nice views.**



★私の名前は佐藤百華です。

**My name is Momoka Sato.**

★東和中学校の2年生、13歳です。

**I'm 13, and I'm an 8th grader at Towa Junior High.**

★私の趣味は、お菓子作りをすることです。得意なことは茶道で、小学2年生から茶道を習っていました。

**My hobby is making pastries. My specialty is Sado, which is tea ceremony, and I have been practicing since I was a second grader.**

★派遣先では、現地の音楽の文化や歴史を学びたいです。

**During this trip, I hope to learn about Berndorf's music culture and history.**

★花巻市で一番好きなのはとても景色がきれいな温泉がたくさんあるところです。

**What I like about Hanamaki is that we have lots of onsen, which are hot springs bath houses, and they have really nice views.**

# Saya Yokota

- 8th Grader at Hanamaki JHS
- 14 years old
- Interests and skills : **Music, Piano, Clarinet, and Trumpet.**
- What I want to do in Berndorf : **Origami and Learn a song.**
- What I like best about Hanamaki : **Nature and Igrisu Kaigan.**



★私の名前は横田紗弥です。

**My name is Saya Yokota.**

★花巻中学校の2年生、14歳です。

**I'm 14, and I'm an 8th grader at Hanamaki Junior High.**

★私は音楽が大好きです。ピアノとクラリネットとトランペットができます。  
「渚のアデリーヌ」という曲が好きです。

**I LOVE music. I play the piano, clarinet, and trumpet. My favorite song is  
Ballade pour Adeline.**

★派遣先では、折り紙を一緒にしたいです。また、ベルンドルフの歌を教わり  
たいです。

**During this trip, I hope to do Origami together, and I also want to learn a local  
song.**

★花巻市で一番好きなのは、豊かな自然です。特に有名なイギリス海岸が  
好きです。

**What I like about Hanamaki is that we have rich nature. My favorite place is  
Igirisu Kaigan, or English Coast, which is an area on the western Kitakami  
riverbank.**

# Saki Ito

- 8th Grader at Hanamaki Kita JHS
- 14 years old
- Interests and skills : **Baking and Handball.**
- What I want to do in Berndorf : **Learn about schools.**
- What I like best about Hanamaki : **Delicious food (Wanko soba, grains).**





★私の名前は伊藤咲希です。

**My name is Saki Ito.**

★花巻北中学校の2年生、14歳です。

**I'm 14, and I'm an 8th grader at Hanamaki Kita Junior High.**

★私の趣味はお菓子を作ることです。よく休日に作ります。

中学校ではハンドボール部に所属しています。

**My hobby is baking, and I often make pastries on weekends.**

**At school, I'm in the handball club.**

★派遣先では、日本とオーストリアの学校の違いについて学びたいです。

**During this trip, I hope to learn about the difference between Japanese and Austrian schools.**

★花巻には、わんこそばや雑穀など、おいしい食べ物がたくさんあるところが好きです。

**What I like about Hanamaki is that we have a lot of really good local food, such as Wanko soba and different kinds of grains.**

# Rina Sugawara

- 8th Grader at Towa JHS
- 14 years old
- Interests and skills : **Piano and Japanese calligraphy.**
- What I want to do in Berndorf : **Learn about traditional events.**
- What I like best about Hanamaki : **Festivals (Tsuchizawa Maturi).**



★私の名前は菅原里奈です。

My name is Rina Sugawara.

★東和中学校の2年生、14歳です。

I'm 14, and I'm an 8th grader at Towa Junior High.

★私の趣味は、ピアノを弾くことです。今は習っていませんが、家ではいつも弾いています。あと、小学二年生のころから習っている習字が得意です。

My hobby is playing the piano. I used to take piano lessons, but I still play at home. My specialty is Japanese calligraphy, which I have been practicing since I was in second grade.

★派遣先では、ホストファミリーから、古くから伝わる伝統行事を教わりたいです。

During this trip, I hope my host family can teach me about some traditional events in Berndorf.

★花巻市には、たくさんのお祭りがあり、その中でも一番好きなのが、地元の東和町で行われる土沢祭りです。小さい祭りですが、小中学生がたくさん参加していて私は好きです。

What I like about Hanamaki is that we have lots of festivals. My favorite one is Tsuchizawa Matsuri, which is held in my hometown, Towa. It's a small festival but lots of school kids participate, and I love it.

# Roku Yaehata

- 8th Grader at Ohasama JHS
- 14 years old
- Interests and skills : **Baseball**
- What I want to do in Berndorf : **Learn about traditional food.**
- What I like best about Hanamaki : **Festivals (Andon Matsuri).**



★僕の名前は八重畑陸です。

**My name is Roku Yaehata.**

★大迫中学校の2年生、14歳です。

**I'm 14, and I'm an 8th grader at Ohasama Junior High.**

★僕は、9歳から野球をやっています。今は、キャッチャーをやっていて、バッティングが大好きです。

**I have been playing baseball since I was 9. Right now, I'm a catcher, and I also love batting.**

★派遣先では、ホストファミリーから現地の伝統的な料理を教わりたいです。

**During this trip, I hope to learn about the traditional food of Berndorf.**

★花巻市にはたくさんのお祭りがあります。

僕の住んでいる街にはあんどん祭りがあります。僕も参加しています。

**What I like about Hanamaki is that we have a lot of festivals.**

**My town holds a festival called Andon Matsuri every year, and I always participate.**

# Yoshio Ueda

- Teacher at Sasama-Daiichi ES
- 37 years old
- Married with two sons
- Interests and skills : **Volleyball.**
- What I like best about Hanamaki : **Onsen (hot springs).**
- What I want to do in Berndorf : **Learn about the differences in culture.**



★私の名前は上田佳穂です。私は笹間第一小学校の教員です。  
My name is Yoshio Ueda, and I'm a teacher at Sasama Daiichi Elementary School.

★私は37歳です。私は結婚していて2人の息子がいます。  
I'm 37 years old. I'm married with two sons.

★私の趣味はスポーツで、バレーボールが好きです。  
私は数年前から花巻の子供たちのバレーボールチームを指導しています。  
私は子供たちと色々なスポーツをすること、そして彼らをサポートすることが好きです。  
My hobby is sports. I like volleyball.  
I have directed a volleyball team for the children of Hanamaki for several years.  
I like to play any sports with young children, and I like supporting them.

★花巻には温泉が多くあるので、よく週末に家族と入りに行きます。  
In Hanamaki, we have a lot of hot spring bathing facilities, so I usually go there on the weekends with my family.

★私はオーストリアと日本の文化の違いについて学びたいです。  
ありがとうございます。  
I'd like to learn about the differences in culture between Austria and Japan.  
Thank you.

以上です。楽しんでいただけたでしょうか？  
ありがとうございました。

**So, that's all!**

**We hope you enjoyed our introduction to Hanamaki.**

**Danke schön!** (ダンケシェーン) ※ドイツ語で「ありがとう」



派遣研修先プレゼンテーション資料

ラットランド市

# Student Exchange Program 2016



## Hanamaki - Rutland

みなさん、こんにちは。 Hello everyone.

私たちは、姉妹都市の花巻市から来ました。これから、私たちの紹介をします。

We're from your sister city, Hanamaki, and we would like to introduce ourselves.

内容は趣味や特技と、ラットランド市でやりたいこと、そして花巻の紹介です。

We'll talk about our hobbies, skills, what we want to do in Rutland, and tell you about Hanamaki.

どうぞお聞きください。 So, let's start...

# Hinata Fujiwara

- 8th Grader at Hanamaki JHS
- 14 years old
- Hobbies : **Sports (handball).**
- What I want to do in Rutland : **Learn about traditional games. Origami.**
- What I like best about Hanamaki : **Wanko Soba.**



★私の名前は藤原ひなたです。

**My name is Hinata Fujiwara.**

★花巻中学校の2年生、14歳です。

**I'm 14, and I'm an 8th grader at Hanamaki Junior High.**

★私の特技はスポーツです。中でも、特にハンドボールです。

**My specialty is sports, especially handball.**

★派遣先では、ホストファミリーや現地の人から、現地に伝わっている伝統的な遊びについて教わりたいです。

**During this trip, I would like to see if there are any traditional games played in Rutland.**

★またホストファミリーと一緒に折り紙をしたいです。

**I also hope to do origami with my host family.**

★私は、たくさんのおいしい郷土料理があるところが好きです。

**What I like best about Hanamaki is we have lots of really good local foods.**

★中でも、一番好きなのは、わんこそばです。

**I especially like Wanko Soba, and the Wanko Soba eating tournament.**

# Aoi Tsunokake

- 8th Grader at Miyanome JHS
- 14 years old
- Hobbies : **Volleyball.**
- What I want to do in Rutland : **Play sports with my host family**  
**Learn about events in the U.S.**
- What I like best about Hanamaki : **Hanamaki Matsuri**  
**(Festival).**



★私の名前は角掛碧です。

**My name is Aoi Tsunokake.**

★宮野目中学校の2年生、14歳です。

**I'm 14, and I'm an 8th grader at Miyanome Junior High.**

★私の趣味は、バレーボールです。バレーボール部に所属しています。

**My hobby is volleyball, and I'm in the volleyball club at my school.**

★私はホストファミリーと運動したり、買い物をしたりしたいです。私はアメリカのイベント（ハロウィンなど）について学びたいです。

**I hope to play volleyball and go shopping with my host family, and, I'd like to learn about events in the U.S.**

★私は9月に開催される花巻祭りが好きです。

**I like the Hanamaki Matsuri festival, which held in September.**

★友達と一緒に屋台を見て歩いたり、神輿や山車を見るのがとても楽しいです。

**It's a lot of fun to walk around friends to food stalls, and watch the parade floats and mikoshi portable shrines.**

# Towa Sasaki

- 8th Grader at Ohasama JHS
- 13 years old
- Hobbies : **Listening to music and Cooking.**
- What I want to do in Rutland : **Play basketball, Cook Japanese food,agura(traditional performance).**
- What I like best about Hanamaki : **Rich nature.**



★私の名前は佐々木永遠です。

**My name is Towa Sasaki.**

★大迫中学校の2年生、13歳です。

**I'm 13, and I'm an 8th grader at Ohasama Junior High.**

★私の趣味は、音楽を聴いたり、料理をすることです。

**My hobbies are listening to music and cooking.**

★好きな歌手は、ジャスティン・ビーバーです。

**My favorite singer is Justin Bieber.**

★派遣先では、ホストファミリーとバスケットボールをしたり、日本食や神楽を披露したいです。

**During this trip, I would like to play basketball with my host family, and make Japanese food.**

**And I also want to show people the Kagura dance, which is traditional Japanese Shinto performance.**

★花巻の良い所は、自然があふれている所です。

**What I like best about Hanamaki is that we are surrounded by rich nature.**

# Yuki Tamura

- 8th Grader at Miyanome JHS
- 13 years old
- Hobby : **Soft tennis**
- What I want to do in Rutland : **Learn about culture**
- What I like best about Hanamaki : **Onsen (hot springs),  
Kenji Miyazawa (famous author)**





★私の名前は田村祐葵です。

**My name is Yuki Tamura.**

★宮野目中学校の2年生、13歳です。

**I'm 13, and I'm an 8th grader at Miyanome Junior High.**

★私の特技はソフトテニスです。部活でも、ソフトテニス部に入っています。ポジションは前衛です。

**My hobby is soft tennis, and I'm in the soft tennis club at school, where I play the forward position.**

★派遣先では、ホストファミリーから、暮らしの文化を教えてもらいたいです。また、伝統的な料理も知りたいです。

**I want to learn about people's way of life in Rutland, and about local food.**

★花巻市にはたくさんの温泉があるところが好きです。

**What I like best about Hanamaki is that we have a lot of onsen.**

★また宮沢賢治の精神を大切に受け継いでいるところも好きです。

**I also like that people carry on the spirit of Kenji Miyazawa, a famous author from Hanamaki.**

# Marina Yoshimizu

- 8th Grader at Ishidoriya JHS
- 14 years old
- Hobbies : Ice skating, Reading, fashion magazines.
- What I want to do in Rutland : Learn about the differences and similarities between Japan and the US.
- What I like best about Hanamaki : Ishidoriya Matsuri (Festival).



★私の名前は吉水真理奈です。

**My name is Marina Yoshimizu.**

★石鳥谷中学校の2年生、14歳です。

**I'm 14, and I'm an 8th grader at Ishidoriya Junior High.**

★私の特技は7才から続けているフィギュアスケートです。またたくさん  
のファッション雑誌を読むことが好きです。

**My hobby is figure skating, which I have been practicing since I was 7 years old.**

**I also like reading fashion magazines.**

★派遣先では、学校について日本と違うところ同じところを、ホストファミリー  
などから聞きたいです。

**During this trip, I would like to learn about the similarities and differences between schools in Japan and the US.**

★私の住む花巻市石鳥谷町では9月に「石鳥谷祭り」が開催されます。

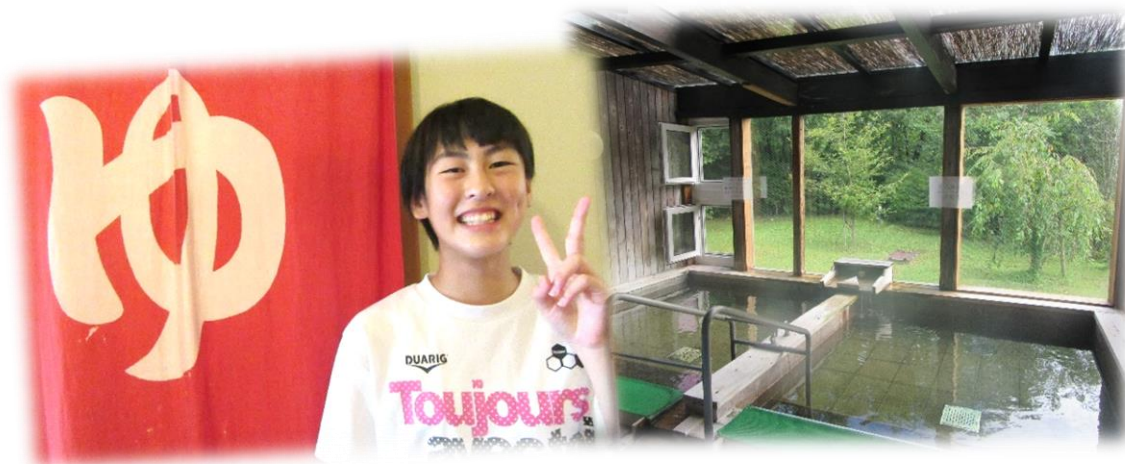
**We have the Ishidoriya festival, which is held in September.**

★美しい人形やたくさん屋台がありとても楽しいです。

**There are beautiful dolls on the floats, and lots of food stalls, so it's a lot of fun!**

# Asuka Kamada

- 8th Grader at Ishidoriya JHS
- 14 years old
- Hobbies : Sports (basketball, table tennis,swimming), Piano.
- What I want to do in Rutland : Play sports, cook,  
Have fun during Halloween.
- What I like best about Hanamaki : Onsen (hot springs).



★私の名前は鎌田あすかです。

**My name is Asuka Kamada.**

★石鳥谷中学校の2年生、14歳です。

**I'm 14, and I'm an 8th grader at Ishidoriya Junior High.**

★私はスポーツとピアノをするのが趣味です。

**My hobbies are playing sports and the piano.**

★特にスポーツでは、バスケットボールや卓球、水泳が好きです。

**I really like to play basketball, table tennis, and swimming.**

★派遣先では、スポーツをしたり、料理をしたいです。

**During this trip, I want to play sports and cook together.**

★また、本場のハロウィンを楽しみたいです。

**Also, I hope we have fun during Halloween!**

★花巻には花巻温泉郷と言って、たくさんの温泉があります。

**In Hanamaki, we have the *Hanamaki Onsenkyo*, which means "onsen village," where there are lots of hot springs.**

★一番好きな温泉は「健考館」です。みなさん、ぜひ来てみて下さい！

**My favorite onsen is *Kenko-kan*. If you get the chance to visit Hanamaki, definitely stop by there!**

# Hisashi Yamane

- Teacher at Ishidoriya Junior High School
- Hobbies : **Driving, watching volleyball**
- What I want to do in Rutland : **Learn about cultural differences, See the sights.**
- What I like best about Hanamaki : **I love my students.**



★私の名前は山根寿です。石鳥谷中学校で英語の教師をしています。

**My name is Hisashi Yamane. I'm an English teacher at Ishidoriya Junior High.**

★私の趣味はドライブに行くことと、バレーボールの試合観戦です。私は審判の資格を持っています。

**My hobbies are driving and watching volleyball games. I have a referee license in Japan.**

★派遣先では、異文化について学びたいと思います。また、有名な場所を見たいです。

**During this trip, I'd like to learn cultural differences and see the sights.**

★花巻では私の生徒が大好きです。彼らはいつも私を疲れさせますが、彼らとの時間はとても貴重なものだと私は思っています。

**In Hanamaki I love my students in my school. They always make me tired but I think the time we spent is very precious.**

私たちの紹介をきっかけに、私たちと花巻市に興味を持っていただければ嬉しいです。

**We hope you enjoyed our introduction to Hanamaki.**

ありがとうございました。

**Thank you.**



派遣研修先プレゼンテーション資料

クリントン村

# Student Exchange Program 2016

## Hanamaki - Clinton

みなさん、こんにちは。 Hello everyone.

私たちは、姉妹都市の花巻市から来ました。これから、私たちの紹介をします。

We're from your sister city Hanamaki, and we would like to introduce ourselves.

内容は趣味や特技と、クリントン村でやりたいこと、そして花巻の紹介です。

We'll talk about our hobbies, skills, what we want to do in Clinton, and tell you about Hanamaki.

どうぞお聞きください。 So, let's start...

# Manaka Sugawara

- 8th Grader at Hanamaki Kita JHS
- 13 years old
- Interests and skills : **Piano, calligraphy.**
- What I want to do in Clinton : **Sing local songs, play musical instruments.**
- What I like best about Hanamaki : **Kenji Miyazawa, the Restaurant of many orders (Fairytale), Star Circling Song.**



**Me**



★私の名前は菅原舞永です。

**My name is Manaka Sugawara.**

★花巻北中学校の2年生、13歳です。

**I'm 13, and I'm an 8th grader at Hanamaki Kita Junior High.**

★私の特技はピアノと書道です。どちらも子供の頃から習っていて大好きです。ピアノはたくさんの大会に出て、毎日かかさず弾いています。書道は日本の文化で、「筆」を使って文字を書いて表現します。

**My skills are playing the piano and calligraphy. I love doing both, and have been practicing since I was a child. I play the piano every day and I have participated in many contests. Calligraphy is part of Japanese culture. We express letters with writing brush.**

★派遣先では現地の伝統的な歌を歌ったり、楽器を奏でたりしたいです。

**During this trip, I hope to sing some local songs in the US, and play some musical instruments.**

★花巻市には、詩集や童話集を出版した宮沢賢治さんが有名です。私は、彼の「注文の多い料理店」という童話と「星めぐりの歌」という歌が好きです。

**Kenji Miyazawa is a very famous person in Hanamaki, because he has written and published many poems and fairytales. My favorites are the Restaurant of Many Orders and the Star Circling Song.**

# Nanami Miyakawa

- 8th Grader at Yuguchi JHS
- 14 years old
- Interests and skills : **Badminton, Track and field, Piano.**
- What I want to do in Clinton : **Play sports.**
- What I like best about Hanamaki : **Lots of flowers.**



★私の名前は宮川奈那美です。

**My name is Nanami Miyakawa.**

★湯口中学校の2年生、14歳です。

**I'm 14, and I'm an 8th grader at Yuguchi Junior High.**

★私の趣味は体を動かすことです。特にバドミントンと陸上が好きです。  
また、ピアノも大好きです。

**My hobby is exercising. I also really like badminton, and track and field.  
And I like to play the piano.**

★派遣先ではいろいろなスポーツをしてみたいです。

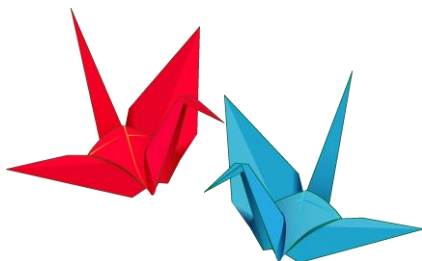
**During this trip, I would like to play many kinds of sports together.**

★花巻市には花がたくさん咲いているところが好きです。  
私の学校にもたくさん花が咲いていてとてもきれいです。

**What I like about Hanamaki is that there are lots of flowers.  
My school has a beautiful flower garden.**

# Kotomi Obara

- 8th Grader at Towa JHS
- 14 years old
- Interests and skills : **Calligraphy.**
- What I want to do in Clinton : **Origami.**
- What I like best about Hanamaki : **Kenji Miyazawa, Stories and poems.**



★私の名前は小原琴美です。

**My name is Kotomi Obara.**

★東和中学校の2年生、14歳です。

**I'm 14, and I'm an 8th grader at Towa Junior High.**

★私の趣味は習字です。8歳から習字を続けています。一番いい作品ができたときは、とても嬉しいです。

**My hobby is calligraphy, and I have practiced it since I was 8 years old.**

**I'm really happy when it comes out good.**

★派遣先では、ホストファミリーと一緒に日本の折り紙をやりたいです。

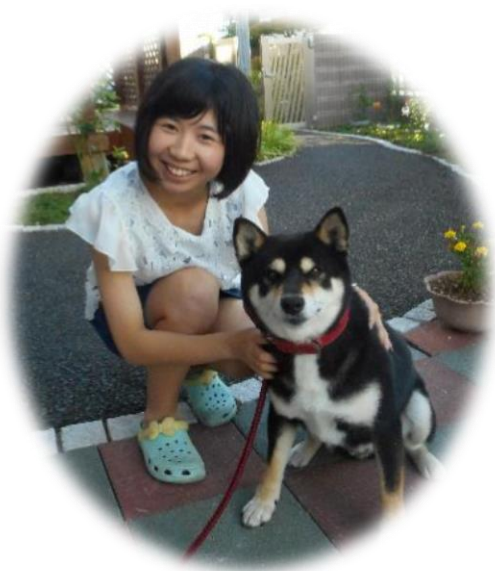
**During this trip, I hope to do origami with my host family.**

★花巻市は、宮沢賢治が有名です。彼は、たくさんの物語や詩を書いていてそれらはとても面白いです。

**Kenji Miyazawa is famous in Hanamaki. He wrote many story and poems, and they're really interesting.**

# Honami Araya

- 8th Grader at Miyanome JHS
- 14years old
- Interests and skills : **Playing the trumpet and Making pastries.**
- What I want to do in Clinton : **Learn about American school life.**
- What I like best about Hanamaki : **Lots of flowers, Hanashobu.**





★私の名前は荒谷帆南です。

**My name is Honami Araya.**

★宮野目中学校の2年生、14歳です。

**I'm 14, and I'm an 8th grader at Miyanome Junior High.**

★この写真に写っているのは姉の真穂と私です。彼女はアメリカにある別の姉妹都市を訪れたことがあります。

**This picture is of my sister Maho and I. She has visited one of our other sister cities in the U.S.**

★私の趣味はトランペットを吹くこととお菓子作りです。よく、クッキーやドーナツを作ります。

**My hobbies are playing the trumpet and making pastries. I often make cookies and doughnuts.**

★派遣先では、現地の学校に行って、日本の学校生活との違いを知りたいです。

**During this trip, I hope to experience American school life and find out the difference between American and Japanese schools.**

★花巻はきれいな植物がたくさん咲いているところが好きです。その中でもハナショウブという花が一番好きです。

**What I like about Hanamaki is that there are lots of beautiful flowers, and my favorite is Hanashoubu, which is a type of iris.**

# Kota Katsuyama

- 8th Grader at Ishidoriya JHS
- 14 years old
- Hobbies : **Basketball**
- What I want to do in Clinton : **Learn about local culture.**  
**Learn about popular sports.**
- What I like best about Hanamaki : **Onsen (hot springs)**



★私の名前は勝山耕太です。

**My name is Kota Katsuyama.**

★石鳥谷中学校の2年生、14歳です。

**I'm 14, and I'm an 8th grader at Ishidoriya Junior High.**

★私はバスケットボールが得意です。

**My hobby is playing basketball.**

★3Pシュートが得意です。石鳥谷中学校バスケ部は県優勝しました。

**I'm good at taking three-point shots, and our team has won the Iwate championship.**

★派遣先では現地の文化や人気のスポーツを教わりたいです。

**During this trip, I hope to learn about local culture and popular sports.**

★花巻市で私が一番好きなのはたくさん温泉があるところです。

**What I like the best in Hanamaki is that we have a lot of onsen.**

★とても気持ちがいいです。

**Going to the onsen feels really good.**

# Kanna Yaegashi

- 8th Grader at Seinan JHS
- 14 years old
- Interests and skills : **Basketball.**
- What I want to do in Clinton : **Sing songs with piano.**  
**Play street basketball.**
- What I like best about Hanamaki : **Hanamaki Matsuri.**



★私の名前は八重樫環那です。

**My name is Kanna Yaegashi.**

★西南中学校の2年生、14歳です。

**I'm 14, and I'm an 8th grader at Seinan Junior High.**

★私の特技はバスケットをすることです。新チームでキャプテンとしてがんばっています。

**My specialty is basketball, and I'm doing my best as the captain of our team.**

★派遣先では日米どちらも知っている歌をピアノを使って歌いたいです。また、ストリートバスケットを試してみたいです。

**During this trip, I hope to sing songs that are popular in both countries with piano. Also, I would like to try playing street basketball.**

★花巻市で私が一番好きなのは祭りです。一番好きなのは花巻祭りです。

**What I like about Hanamaki is the festivals. My favorite is Hanamaki Matsuri.**

# Hironobu Terui

- Teacher at Towa ES
- Hobbies : Refereeing for basketball
- What I want to do in Clinton : Play sports. Learn local songs.
- What I like best about Hanamaki : Seasonal scenery.  
Can enjoy all four seasons.



★私は照井裕悦です。東和小学校の教員です。

**My name is Hironobu Terui, and I'm a teacher at Towa elementary school.**

★私の趣味は、バスケットボールの審判をすることです。ミニバスケットボールのコーチをしています。

**My hobby is refereeing for basketball, and here is me, coaching a kids basketball team.**

★派遣先では、ホストファミリーのみなさんとスポーツをしたり、現地に伝わる歌を教わりたいです。

**During this trip, I hope to play sports with my host family, and learn some local songs.**

★花巻で一番好きなのは自然の景色が綺麗なところです。

**What I like about Hanamaki is that we have beautiful scenery.**

★四季折々の風景が楽しめるところが好きです。秋には稲穂の風景が広がり、黄金色になります。麦畑と似ています。

**I really enjoy the four seasons, so that's my favorite point. I also like when the rice fields turn gold in the fall and look similar to wheat.**

**So, that's all !**

私たちの紹介をきっかけに、私たちと花巻市に興味を持っていただければ嬉しいです。

**We hope you enjoyed our introduction to Hanamaki.**

**Thank you.**



# 派遣報告書



# 平成28年度青少年海外派遣研修事業 ホットスプリングス市派遣報告書



平成28年10月28日～11月6日

## ホットスプリングス市派遣団

### 派遣生

花巻中学校	きくち さくら 菊池 さくら
花巻中学校	くまがい かいと 熊谷 快斗
花巻北中学校	はせがわ はるか 長谷川 遥香
花巻北中学校	たなか ひより 田中 日和
西南中学校	たかはし かずや 高橋 一矢
東和中学校	ふじたて えりな 藤館 英梨菜

### 引率教諭

花巻北中学校	きとう いずみ 佐藤 いずみ
--------	-------------------



## 1 研修テーマ

アメリカの食事について調べる。

## 2 テーマ設定理由

日本では、米を主食にする和食が多く食べられているが、アメリカではどのようなものが多く食べられているのか疑問に思ったため。

## 3 テーマについての事前調査

本やインターネットを使って調べた。

ホットスプリングス市の属するアーカンソー州は「アーカンソー米」という米の産地である。「アーカンソー米」は日本の米とは異なり「長粒米」。生産方法も陸稲方式で縦長でパサパサした米が作られる。付け合わせの野菜感覚で食べられている。

## 4 研修報告

食事について

朝食

パンケーキ、ドーナツなどが多い。店に食べに行くこともある。

私のホストファミリーの皆さんは、家のテラスで食べることもしばしばあった。

昼食

ピザ、ハンバーガー、チキン、パスタ、サンドイッチなど。

学校がある日は、学校の学食か弁当。

夕食

ステーキ、ピザ（←デリバリーも）

アメリカの食事は量が多いのが特徴。お店で S サイズを頼むと、日本の L サイズぐらいの量だった。また、味がしっかりしている料理が多く、ソースも濃く、お菓子もとても甘いものが多い。さらに、ケーキのクリームなどの色もカラフルで、様々な色の着色料が使われている。

## 5 まとめ

今回の研修では、初めはホットスプリングスの皆さんと上手く英語でコミュニケーションをとることが出来るか不安でした。しかし、翻訳ソフトや写真、ジェスチャーなどをつかって分かり易いように対応してくれました。特にホストファミリーの皆さんは、「疲れた？」や「大丈夫？」など常に私を気遣ってくれたり、優しく話しかけてくれました。とてもフレンドリーで明るく、本当の家族のようでした。私もホスト

ファミリーの皆さんのような周りを見て行動でき、相手のことを考えられる人になりたいです。

また、分からないことなどは自分で聞いて解決しなければいけないなど、自分から行動を起こさなければ何も始まらないことも改めて痛感しました。

今回の貴重な経験で学んだことを日頃の学校生活などに生かし、将来につなげていきたいです。

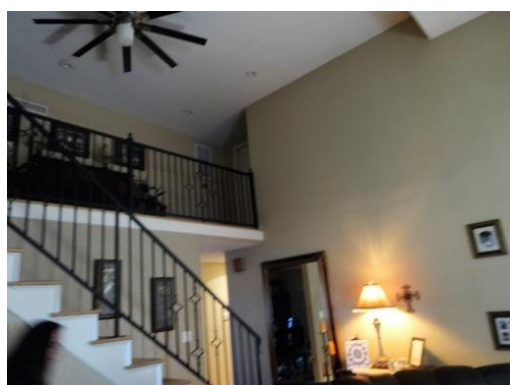
今度ホットスプリングス市を訪れる時は、英語をたくさん勉強して皆さんともっとコミュニケーションをとりたいです。



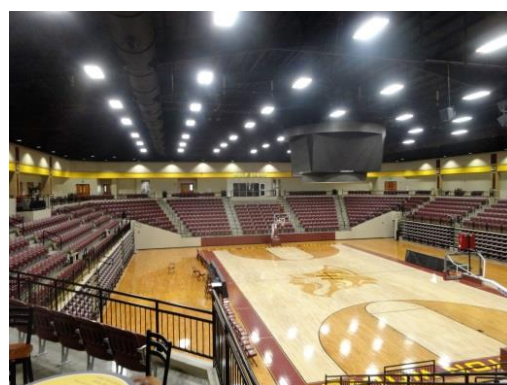
ホストファミリーとの最後の食事



ホストファミリーと一緒に作ったケーキ



家の中の様子



学校の設備(バスケットボールコート)

## 1 研修テーマ

日本とホットスプリングス市の店内の様子と接客の仕方の違い。  
(働き方や清潔か、商品の置き方などを重点的に)

## 2 テーマ設定理由

日本は、よく接客がよいと言われていますが、どこが外国人に良いと思われているのか自分の感覚で調べてみたいと思ったから。

## 3 テーマについての事前調査

日本人の礼儀正しさが賞賛されていることやおつりを渡す時にレシートと一緒にグシャグシャで渡されることがあること、他の店員と談笑しながらレジを打っていること、そして日本人なら快く思わないようなこともあるということです。

## 4 研修報告

店に連れて行ってもらい、写真を撮ったり、前に日本に来た派遣生に「日本とアメリカの店の違い」について尋ねて調べました。その結果、アメリカの店は日本の店より物価も高く量もはるかに多く、物が乱雑に置かれているところもありました。またクレジットカードを使う、使えるのが当たり前で、どんな場所でもクレジットカードを使っていました。そのため、まとめ買いが普通でした。

日本と照らし合わせて感じたことは、アメリカと日本では考えられないくらい違うところがたくさんあるということです。

日本の良さはサービスがよいところ、店がとても整頓されているところです。日本では「客を尊重するサービス。」客に認めてもらう、そのために何が何でもするというサービスです。それに対しアメリカは日本のようなサービスではなく店の商品も乱雑です。

しかしそれも良いことなのだと思います。アメリカのサービスは「客も同じ目線のサービス」で客と仲良く触れ合えるし、どんな時でも楽しそうにされていて、思っていた雰囲気とは違いました。

アメリカの方が正直気に入りました。しかし、日本には日本の良さが、アメリカにはアメリカの良さがあります。「隣の芝は青く見える」とは全くそのとおりだと思います。しかし、これだけは言えます。その場所に行って感じないことには、いくら想像しても全く違うということです。

## 5 まとめ

私が研修をしていて感じたことは、人と人の結びつきは計り知れない、大切なものということです。その理由は、この研修でアメリカへ行き、家族とさえ呼べるような人達に大切にしてもらい、たった一週間で別れたことにあります。

この1週間という期間でこんなにも大切にできる人ができたのは、人生で初めてのことだと思うからです。

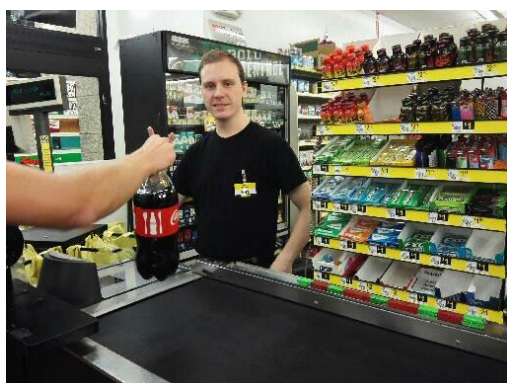
おそらく、1、2年前の私は、このような体験をするなんて想像もしていなかったと思います。1回の派遣、1週間の滞在で、大切にできる人、ましてや家族だとも思えるくらいの人々にたくさん出会えました。正直、私は、海外に行くのなんてパッと行ってパッと帰ってきて終わりと思っていました。しかしそこには別れもあります。別れの時はこの上ないくらい胸が苦しくなりました。みんなの前では言えないのですが、結構泣きました。今となっては良い思い出です。次も、絶対に会えると約束してきたので絶対に会いに行きたいと思います。



お店の外観



袋の開いている商品も



気さくな店員さん



日本より容量の大きい食料品ばかり



## 1 研修テーマ

私はアメリカの学校の特徴を学びたいと思いました。主に、授業の受け方や学校生活の違いについて詳しく調べたいです。

## 2 テーマ設定理由

普段何気なく通っている学校ですが、国が違くと授業の受け方や学校生活がどのように変わるのか現地で実際に見聞きして調べたかったのでこのテーマを設定しました。

## 3 テーマについての事前調査

インターネットを使用して調べました。

- ・学校と家が離れている家庭が多く、ほとんどの生徒がスクールバスを利用したり親に送迎してもらっている。
- ・授業の時間が長い
- ・アクセサリーを身に付けたり化粧をしてもよい
- ・お菓子を持ってきてもよい

## 4 研修報告

〈調べ方〉

学校訪問の時、実際に見たり説明してもらったことをもとに調べました。また、ホストスチューデントの子に質問して答えてもらったことも参考にしました。

〈わかったこと〉

～学校とハロウィン～

学校は小学校から高校まで一貫校になっており、幼稚園と小学校低学年の生徒は先生も含めハロウィンのコスチュームを着て授業を受けていました。また、教室や廊下もカラフルな飾り付けがたくさんしてあり、学校全体が行事に積極的だなと感じました。

～授業の様子～

授業は選択授業で、時間割は毎日変わりませんでした。教科によってそれぞれ教室が決まっており、授業と授業の間は生徒たちの移動で人がたくさんいました。学校の敷地がとても広いので、たくさん歩くことになりました。授業は約50分間でほとんどの人が静かに授業を受けていましたが、中には携帯電話を使用したり、お菓子を食べている人もいました。また、服装も自由でアクセサリーや化粧をして

もよいなど、日本と比べて自由なところがたくさんありました。しかし、チャイムがなく全て時計を見て行動するなど、自由なところも多い分、生徒一人ひとりの責任が大きいのだなと感じました。

## 5 まとめ

私は、今回の海外派遣研修が初めての海外で、不安なこともたくさんありましたが、ホストファミリーの方々はとても優しく、いつも笑顔で接してくれました。

また、研修テーマにしていたアメリカの学校の特徴についても、学校訪問やホストスチューデントとの関わりを通して十分に学ぶことができたので良かったです。

私は、アメリカに行く前から前もって会話の練習をしていましたが、現地に行ってみると自分から話しかけることがあまりできず、ホストファミリーから話しかけられて会話することがほとんどでした。今思えば、もっとたくさんのかたを話したかったなと思います。だから、今まで以上に英語の勉強に熱心に取り組み、会話のバリエーションを増やしていきたいです。また、留学などを経験して将来は国際関係の仕事に就きたいです。



学校のみんなと



小学校の授業の様子



理科の実験の様子



スクールバス

## 1 研修テーマ

私は、ホットスプリングス市の生活の様子を学びたいです。学校の様子や普段どのように生活しているのか学びたいです。特に、掃除についてや生活の工夫を学びたいです。

アメリカの学校では掃除をしないようなので、誰がしているのか、なぜ生徒たちが行わないのか、生活の工夫では、日本の風鈴や水まき、二重玄関のような暑さや寒さをしのぐための工夫があるのか知りたいと思います。

## 2 テーマ設定理由

私がこのテーマを設定した理由は、普段何気なく過ごしている生活が、ホットスプリングス市の生活と何が違うのかと興味を持っていたからです。また、このテーマについて、多くの方にお伝えしたいと思いました。日本だけでなく、ホットスプリングス市のことについて触れてもらい、「もっと知りたい」など興味をもってもらいたいと思いました。

## 3 テーマについての事前調査

調査方法 インターネット

生活習慣について

【温泉】 ダウンタウンのいたるところに温泉の源泉がくめるところがある

【季節】 四季があり、とても過ごしやすい

【その他】

- ドアは基本的に開いている
- 外と同じ靴で生活している
- 入浴後裸足だった
- 野菜はほとんど食べない
- 女子は学校に化粧をして通っていた
- 学校のスクールバスで登校
- 家のおいが甘いところが多い
- 服はカジュアルなものから派手なものまである

## 4 研修報告

私は、テーマについてホストファミリーの様子を見て学びました。

一日の過ごし方は、それほど私たちと変わりませんでした。家事をして、仕事や学校に行き、一日が終わりました。家事は、主に洗濯と皿洗いでした。洗濯機が2台ありました。私たちは1台で足りませんが、ホストファミリーは1日に着る服の量が多く、まとめて洗うため、2台必要なのだと思いました。

家の中では、スリッパを履かず、靴や裸足で生活していました。

食べ物や物を買う時、たくさん買っていました。お店も物も大きかったです。

日本のスーパーやコンビニエンスストアのような小さいお店はほとんどありませんでした。この理由として、アメリカは人が多く国が大きいこと、また、ホストファミリーの家のようにお店から遠くても、たくさんの品物が買えるように大きいのだと思いました。

学校の掃除では、専門の職員の方がいました。この方々は学校の掃除が仕事だと知りました。ホットスプリングス市の学校はとても大きいので、生徒が掃除をするのは大変なのだろうなと思いました。しかし、自分で生活しているところを自分で掃除することは、まわりがきれいになると共に、自分の心もきれいになるので、ホットスプリングス市の生徒にも知ってほしいと思いました。

ハロウィンやメキシコの死者の日という日などがあり、学校でお菓子を配ったり、死者の日に関する授業をしていました。学校でハロウィンをしたり、老若男女問わずイベントを楽しんでいることがいいと思いました。

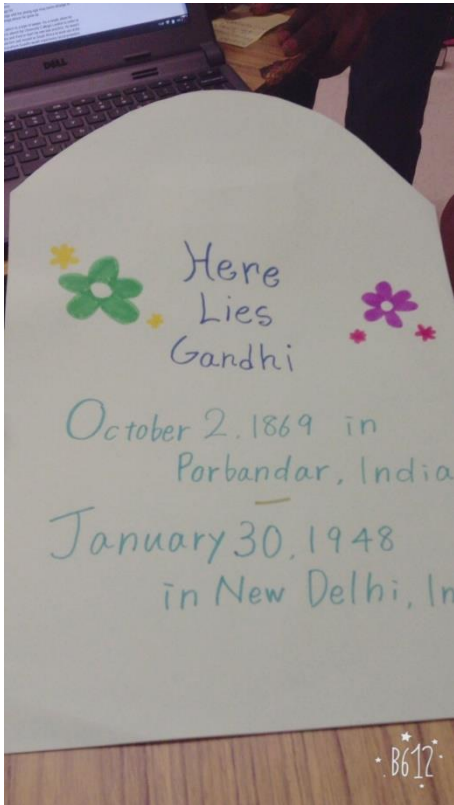
時間があれば家族と出かけていました。日本では、友達と出かけることが多いですが、ホットスプリングス市では家族との時間を第一に考えていると思いました。私も友達と遊ぶことが多いので、ゆっくり家族と過ごしたいと思いました。また、毎日家族に感謝の気持ちを伝えていることに感激しました。気持ちを伝えることは大切なことです。私も見習いたいです。

## 5 まとめ

私は、この海外派遣事業に参加して、ホットスプリングス市の方々がフレンドリーで、笑顔にあふれていることに感銘を受けました。町や学校を歩いていると、声をかけてくれました。このことは、私にとって大きな支えでした。上手く会話ができなくても、話をたくさんしてくれて嬉しかったです。このフレンドリーに誰にでも接してくれることは、日本に足りないところだと思いました。日本は礼儀が良いと言われています。この良さを生かし、さらに初対面の方に対してフレンドリーにするといいと思います。フレンドリーになることで、相手と仲良くなるきっかけとなり、仲を深めることができるかもしれません。

私は、数えきれないほどの学習と思い出ができました。英語での会話は、慣れるまで大変でした。しかし、会話ができないと落ち込む気持ちより、もっと会話ができるようになりたいという気持ちが強くありました。だから、慣れてからは積極的に質問などをするようになりました。おかげでホストファミリーと本当に幸せな時間を過ごすことができました。

これから、将来の夢に向けて、特に英語を上達させたいです。そして、もっと多くの外国のことを学び、多くの方々にお伝えしたいと思いました。



## 1 研修テーマ

派遣研修で調べたいことは、温泉についてです。日本では温泉を、入って楽しむものとしていますが、ホットスプリングス市では、温泉をどのように活用しているのかを調べたいです。温泉を利用している店などがあつたら、積極的に調べたいです。現地の人々は、どのような時に温泉に入りに行くかを、ホストファミリーに質問したいです。

## 2 テーマ設定理由

温泉について調べたいと思ったのは、花巻市との共通点だと思ったからです。小さい頃から、家族と温泉に入りに行っていて愛着のある温泉について、詳しく知りたいと思いました。それに、アメリカではお湯に浸かる習慣があまり無いと聞いたので、ホットスプリングス市ではどのように温泉を活用しているのかと、疑問に思っていて興味が湧いたからです。日本では、温泉を楽しむものと考えている人が多いですが、現地では何のために温泉に入るのかも質問して、より詳しく知りたいです。

## 3 テーマについての事前調査

ホットスプリングス市の温泉について、インターネットを使って調べました。ホットスプリングスという市名が示す通り、市は温泉で知られており、アーカンソー州きっての観光都市・保養都市となっています。しかし温泉は元々は湯治のためのものであり、日本の多くの温泉街とは異なり温泉そのものには歓楽的な要素は少なかったようですが、第二次世界大戦後に湯治が下火となっていった後、2000年代以降は温泉リゾートとして再生・発展を遂げているそうです。街の中には、温泉水が飲める場所や、噴水に利用している場所を設けてあるようです。ホットスプリングス市には47もの源泉があつて、平均温度が62度の熱めのお湯が湧いているそうです。しかし、温泉ではぬるい湯が多いそうです。入浴の時には、水着を着用して入るそうです。

## 4 研修報告

研修テーマの温泉について、ホストファミリーのお父さんのケヴィンさんにホットスプリングス市の温泉について質問して調べました。インターネットを使った事前調査で、沢山の温泉があつて、ホットスプリングス市の人々は、頻繁に温泉に入っているのだと思っていましたが、実際は、温泉に入る事は無いとは言いきれませんが、ほとんど入らない事を知って、驚きました。しかし、ホットスプリングス市の街中には、温泉の小さな噴水や、誰でも自由に温泉水を持って帰れて、飲料水に使ったり、

生活用水として使ったりできる、水道管のようなものが設置されているなど、温泉に関わるものが沢山ありました。ケヴィンさんの話によると、温泉はとても古く、今はアメリカの国立公園の中にあるようで、最初は連邦政府の土地にあって、元米大統領ビル・クリントンの家にもあったそうです。また、ホットスプリングス市には、温泉の歴史館があって、そこにあった資料を見て歴史を学びました。ホットスプリングス市では、サウナのような1人用の鉄製の箱に入り、蒸気で体の疲労をとっていたようです。昔の人たちは、湯にも浸かっていた事が分かりました。しかし、今のアメリカの人々からすると、裸で温泉に入る事を、不思議に思ったり、奇妙に思っているようで、日本で今の当たり前が全く通用しない事にびっくりしました。



上：サウナのような鉄製の箱 下：個別のバスタブ

## 5 まとめ

今回の派遣は人生初の海外で、外国と日本との文化の違いや、日常生活での行動など、たくさんの事に驚き、関心を持つことができました。いちばん驚いた事は食文化です。全ての食べ物がとにかく大きくて、ピザなんて人の顔の2倍くらいはあって、見ただけで食欲が満たされた気分でした。ドリンクは、ほとんどがドリンクバーで、そうでなくても、店員さんが勝手に継ぎ足してくれるのが、日本との大きな違いでした。店で何かを注文する時や、ホストファミリーと話している時に、聞き取れない事があって、会話を止めてしまう事が何回かあったので、もっと英語を聞き取る力を付けたいです。しかし、伝えたいことがあったら、ジェスチャーを使ってしっかり思いを伝える事が出来たので良かったです。これからは、もっとリスニングの力を伸ばして、現地の人たちと困ることなく、笑顔で会話出来るようになりたいです。



温泉水を持ち帰ることのできる場所



滞在中に食べた大きなピザ

## 1 研修テーマ

日本とアメリカの中学生の将来の夢・今流行しているもの  
自分と同じ中学生、そして同世代の人々の考え方、将来どのような仕事につきたいのか（どんな仕事があるのか）聞いてみたいです。そして、同じ中学生の目から「日本」はどのようにみられているのかを聞いてみたいです。

## 2 テーマ設定理由

自分たちは何気なく学校に通っているけれど、アメリカの中学生は、私たちと同じ生活スタイルではないと思います。だから、考え方も捉え方も日本人とは正反対かもしれない。

将来、自分の夢をもっている人達は、日本とはなりたい職業が違うのではないか。外国の方々にとっては、日本のイメージはいろいろあるのではないか。私はこの派遣で日本が尊敬されるような態度を示していかなければならないと思います。自分が成長するためにも、そして、日本の未来について考える機会にもなると思い、このテーマにしました。

## 3 テーマについての事前調査

事前にインターネットで調べたところ、日本とアメリカの学校は、カフェテリアでお昼を食べたり、教科書がレンタルで家に持って帰ってはいけなかったり、入学式がないなど、日本と全然違うことが分かりました。一番驚いたことは、夏休みが3ヶ月で宿題がないことでした。数ヶ月ごとに部活が変えられることにも驚きました。

アメリカの職業で人気なのは意外にも歯科医でした。ランキング上位には、医療関係の仕事が多かったです。自分も医療関係の仕事に就きたいと思っているので勉強になるなと思いました。

## 4 研修報告

私は現地で実際に「職」について、ホストファミリーや学校の友達にインタビューをしました。

一番人気だったのは、「バスケットプレイヤー」と「幼稚園の先生」でした。バスケットプレイヤーになりたい子の中には女の子もいました。バスケットボールを習っている女の子も多く、その夢はぴったりだと思いました。近所の子が集まり、バスケットボールやバレーボール、キックベース、サッカーなど、たくさんのスポーツをしてコミュニケーションをとることができました。

他にも将来の夢について聞きました。人気の職業は、「消防士」・「医師」でした。



どれも、人のために働く職業だということがわかりました。

私のホストファミリーは「学校の先生」ですが、先生という職業も人気でした。全体の人口に対して学校の先生という職業の割合はとても高かったです。生徒が多ければ多いほど先生はたくさん必要だということがわかりました。私のホストファザーは、小学校の先生で、毎朝車からおりてくる生徒を出迎えたり教室へあたたかく誘導したり、ハロウィンの時は子供達と同じくコスチュームを着たりしていました。ホストマザーは、学校の英語の先生で、生徒たち一人一人に一生懸命教え、一人一人に寄り添う先生でした。

私は1つの職業だけでなく、いろんな仕事の仕方を見ることができました。一人ひとりが一生懸命になり、人のために頑張る人々を見ることができました。

この体験で私は一人ひとりが努力し、自分の力を発揮できる働き方はいろいろあり、人それぞれに「一番良い働き方」があると思いました。自分の進路選択にも役立つ体験でした。

## 5 まとめ

私が現地で気づいたことは、「アメリカのお・も・て・な・し」です。私たちが来ることを楽しみに待っていて、また会えることを楽しみに見送ってくれました。

私のホストマザーは、毎日朝早く起きて朝ご飯を作ってくれたり、忙しくても最高の夕ご飯を作ってくれたりしました。ホストファザーは、学校に毎朝送ってくれて、ホストスチューデントの兄弟は、学校でたくさん案内をしてくれました。ホストスチューデントは、私と2歳も違いましたが私と同じ女の子で私のことを人一倍気にしてくれました。その対応は一生忘れません。

ホストファミリーは、私を本当の家族のように優しく接してくれました。休日には観光名所に連れて行ってくれ、特に私たちはダウントウンという大きな街に行きました。そこは清楚な街並みで、ホットスプリングス市を代表する観光名所でした。足湯の温泉やオシャレなお店などがたくさんありました。

私はアメリカ本場の美術も見ることができました。日本とは違う描き方や鑑賞の仕方を学びました。夜には家族みんなで夕ご飯を食べ、楽しい会話もたくさんできました。また、「日本語を教えて！」と言われ、100語以上の日本語を教えました。みんなとても嬉しそうにノートに書いている姿をみてとても感動しました。

私は、まだまだ完璧ではない英語を話しても諦めずに最後まで聞いてくれ、何事にもやさしく教えてくれる方々にもとても感動しました。

私たちは今日、たくさんの文化の中で生きています。その中でも大きな声で「こんにちは!!」「Nice to meet you!!」など、少しでもコミュニケーションをとろうと笑顔で声をかけてくれたホットスプリングスの人たちにとっても感謝しています。

英語が話せるだけでは、国際交流とは言えません。自分自身がどれだけ他の文化を

知ろうとするか、どれだけ外国の方々に笑顔で接することができるかが一番大切なことです。その中でも、勇気を出してたくさんの方々に教えてくれたり、たくさんの方に連れて行ってくれたり、積極的に話してくれたら、いろんな場面で助けてくれたりし、たくさんの方々に心から感謝しています。

私の経験は、一生忘れない思い出になり、一生忘れない宝物をつくることができました。

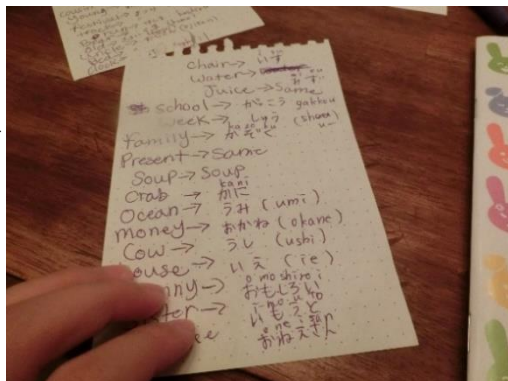
ありがとう、そして、See you again!!



学校中がハロウィン一色



ハロウィンパーティーのためみんなで仮装



ホストファミリーに教えた日本語



空港のフードコート

## 1 研修のテーマ

「ホットスプリングスの学校を訪れ、どのように科学教育を行っているか学びとる。」中学校理科の授業を参観させていただき、授業の構成はどうであるか、どのような実験を行っているのか、生徒たちがどのようなことを考え、発言しているのかを知りたい。また、アメリカの理科の教科書や生徒たちのノートを見てみたい。さらに、家庭学習でどのようなことを行っているのか知りたい。

## 2 テーマ設定理由

採用から6年、教員となり10年目を迎えた。中堅教員として新たな授業のスタイルを確立しなければならないと考えていたところ、海外派遣のお話をいただき、スキルアップのチャンスと捉えた。日本の教育から離れ、ホットスプリングスの科学教育にふれることで凝り固まったものを切り崩し、新たな教育観が芽生えることを期待した。また、海外派遣研修事業に参加させていただけることで、教育に対するモチベーションが高まった。英語を勉強し直し、ホットスプリングスの生徒が花巻を訪れたとき、英語で理科の授業ができたらおもしろいだろうと考えた。

## 3 事前調査

「第2回事前研修資料ホットスプリングス市」に『ASMSA アーカンソー文理数高校』について載っており、インターネットで検索し、翻訳サイトで翻訳して調べた。

『ASMSA アーカンソー文理数高校』では、ロボット工学、量子力学、天体物理学、免疫学、人工知能などについて学べ、専門家を育成しているとのことだった。

「ホットスプリングス 科学教育」と入力し、インターネット検索をすると、ウィキペディアでホットスプリングスの教育について見つけた。ホットスプリングスには小学校8校、中学校2校、高校(中高一貫校含む)5校、私立学校8校があることが分かった。また、過去のホットスプリングス派遣研修報告書を見つけた。報告書を読むと、授業でiPadを使っていることが書かれていた。

ホットスプリングスの科学教育について十分な事前調査資料を探すことができなかったため、現地に訪れ、自分の目でホットスプリングスの科学教育をしっかりと見て来たいと思った。

## 4 研修報告

実際に、4つの学校を訪れて、ホットスプリングスの教育について分かったことを報告したい。訪れた学校は、「ASMSA アーカンソー文理数高校」、「レイクサイド高校」、「レイクハミルトン校」、「カッターモーニングスター校」である。「レイクハミルトン校」、

「カッターモーニングスター校」は、幼稚園、小学校、中学校、高等学校が広い敷地内に隣接されていた。

#### 「ASMSA アーカンソー文理数高校」

今年度、花巻を訪れたジョー君が所属している学校であり、通訳を兼ねて学校見学の案内人を行ってくれた。校内は騒がしさが全くなく、落ち着いた雰囲気であった。寮もあり、世界から優秀な生徒が集まり、学業に励んでいるようだ。校内を歩いていると偶然、生徒会長に出会い、台湾出身と教えてくれた。ジョー君のお父さんが日本で英会話の講師をしていたこともあり、ジョー君は日本語が堪能である。将来は、日本の大学に進学したいと話してくれた。また、特に優秀な生徒たちが東京大学に進学したいと考えているようだ。

化学研究室と生物研究室を見せてもらうと、日本の大学並みの機器があった。高校生から高度な研究を行っていることが素晴らしいと思った。

この学校に日本語の授業があり、みんなで参加させてもらった。ホットスプリングスに日本語教師として赴任している三部ひさえ先生の授業である。ラジオ体操や忍者体操を行ったり、言葉ゲームをしたり、外国人は日本語で日本人は英語で話してコミュニケーションをとったりした。また、用意していたプレゼンテーションを行ったが、英語の発音が悪かったようで、上手く伝わらなかった。しかし、この人は何を伝えたいのだろう？と一生懸命聞いてくれる姿が見られた。申し訳なさと同じにありがたさを感じた。多くの生徒が日本語を学んでくれており、私たち日本人も外国語の勉強をしっかりと行い、世界の人たちと交流できるようにしなければならないと強く思った。

#### 「レイクサイド高校」

理科室を覗くと、アメリカンフットボールのユニフォームを着た生徒が見えた。教室に入り、何をしているのか先生に尋ねると、「サイエンスクラブ」という名称で、様々な科学について学習する時間と教えてもらえた。その日は、宇宙についての問題を解いていた。教科書を使った授業とは違い、「サイエンスクラブ」のような時間をとれば、日本でも科学に興味をもつ生徒が増えるのではないかと考えた。

#### 「レイクハミルトン校」

訪れた日が10月31日でハロウィンだった。そのため、児童たちも先生たちも仮装し、授業を行っており、楽しそうな雰囲気であった。どの教室にも電子黒板が完備されており、先生たちは全員使いこなしていた。小学校では、電子黒板の前には絨毯が敷かれ、そこに児童たちが座って勉強しており、集中して先生の言うことを良く聞いていた。

ベストティーチャーに選ばれたサラ先生の美術の授業が素晴らしかった。電子黒板を巧みに使い、説明が分かりやすかった。セメントを使ってモザイク作品を作ると話し、町にあるモザイク作品の写真を見せた途端、「Woow!!」と児童たちから歓声が上がったのを今でも鮮明に覚えている。サラ先生のように感動のある授業を行いたいと強く思った。

驚いたことは、児童生徒一人ひとりにパソコンが用意されていたことだ。小学1年生の児童たちがパソコンで勉強しているところを見て、進んでいると感じた。小学校4年生が「owl pellet」というフクロウの吐き出したものを解剖し、レポート作成していることが分かった。日本では高校生になって本格的な解剖を行うため、小学生が解剖を行っていることが分かり、科学が進んでいるなどと思った。

「かぼちゃの飴は溶けるか」という実験を行っているところを見学できた。使う溶液は、水、お湯、酢、牛乳、コーラ、ダイエットコーラ、ペプシなどであった。水、お湯、酢、牛乳はどの班も共通で実験しており、ソーダ類は班で選んで実験していた。共通のものと選択するものを使っての実験は日本の理科の学習と似ていると思った。生徒たちは記録をノートに行っていた。私は、プリントを作り、それに書かせてしまっているため、ノートに書くことを大切にしたい授業改善をしていきたいと思った。

#### 「カッターモーニングスター校」

高校化学の先生に話を聞くことができた。教科書は電子化しており、一人一台所有しているパソコンで電子教科書を見ることができるようになっているそうだ。家庭学習はパソコンを使い、授業の復習を行ったり、テスト勉強を行ったりしているらしい。また、学習ノートの作成にもパソコンが使われ、電子教科書に掲載されている文章から自分が大事だと思う部分をドラッグして、パソコン上の自分のノートに貼り付けられるようになっていた。授業の始めに前時の学習のテストをすることが多く、そのテスト問題は先生のパソコンから生徒のパソコンに転送され、生徒がパソコンに答えを入力すると自動で丸付けができるようにプログラムされていた。採点のために多くの時間を使わずに済むため、家族や友人と過ごす時間が確保できると思った。

派遣生のためにスーパーボールを作る実験を行ってもらえた。時間がなくて途中までの参加であったが、授業の構成について知ることができた。授業の構成は日本と似ていた。まずは、本時の実験について自分で理解することから始まった。先生が用意したプリントを見ながら、高校生たちは、実験の目的、使用する器具、実験の方法を自分でノートに書いていた。書き終えたら実験がスタートする。私は、実験の目的は生徒に書かせるが、使用する器具と実験の方法を書いたプリントを用意してしまっていた。小・中・高の授業を見させてもらって、一貫された指導を

していることが分かった。一人一台のパソコンを使用しながら、書くべきことはノートに書かせることで、技術の発展に対応する力と昔ながらの書く力の両方を培っているのだと思った。見習っていききたい。

今回の研修で、特に素晴らしい授業を行っていると感じたのは、これから先生になろうとしている20歳の大学生のカール先生の授業であった。小学4年生にテクノロジーを教える授業を見させてもらった。その授業は、回路を作らせることから始まった。児童たちは、カール先生の指示通りに回路を組み立てていった。「次の操作をしたら魔法がかかるよ。」と言われると、わくわくしている様子が窺えた。スイッチが入った瞬間、豆電球に灯りが点ると、「Wooooow!!!!!!」と、とても驚き感動していた。そして、「いろいろなつなぎ方をして、気付いたことがあったらみんなに教えて。」と発見の時間を作った。児童たちはとても楽しそうで、その笑顔を見て、理科の授業はこうあるべきだなと感じた。次は、雪、<sup>みぞれ</sup>霽、霜の説明と、どのようにして雪、霽、霜になるかを児童たちに教えていた。一旦説明が終わると、自分の言葉で説明するよう促した。児童たちは実際に雪、霽、霜を見たことがあるため、説明しやすかったと思う。気温のことも交えながら説明できていた。そして、「教室で雪を作ろう！」と、イミテーションスノー作りが始まった。「助手をしてくれる人？」とカール先生が聞くと、児童の多くが手を挙げた。微笑ましい光景であった。挙手した児童から一人を選び、スノーパウダーに水を入れてもらっていた。水を入れたただけだが、児童はとても嬉しそうだった。スノーパウダーに水が入ると、もくもくと大きくなっていき、児童たちは驚きと喜びを表していた。次に、「この雪に色を付けよう。」と、赤色、青色、緑色、黄色のインクを児童たちに見せ、「何色がいいかな？好きな色2つに手を挙げてね。」と、児童たちに選択させていた。多くの児童が選んだ青色と赤色にインクを入れると、色づいた部分ができて見た目にも美しいイミテーションスノーができた。色を選ばせることで児童全員が挙手し、発言できていない児童も授業に参加している気持ちになれる。さらに、出来上がったイミテーションスノーを全員にプレゼントした。実物が手元にあるとどンドン科学が好きになっていく児童の心を良く分かっているなと感心した。カール先生の授業の構成は本当に素晴らしかった。充実した体験活動があり、説明を聞いて少し考えれば自分の言葉で話せることを選び、児童たちに話させていた。どの児童も嬉しさや楽しさを感じた授業であったと思う。

## 5 まとめ

ホットスプリングスには科学博物館があり、科学が身近なものと感じた。人の電気を通電するおもちゃを買い、使ってみると「フィア～」と音が鳴り、ライトも点いた。アメリカのおもちゃは五感に働きかけていると思った。幼い頃から科学に親しんで

おり、さらに学校での教育も一貫されているため、優秀な人材が育っていくのだなと実感した。

また、どこに行っても日本の理科教師だと自己紹介すると「cool!」と言ってもらった。ホストファミリーのヘザーもブライアンも、その友人たちも「日本の科学は素晴らしい。先生という職業は地位が高い。」と言ってくれた。ホットスプリングスの方々と交流することで、科学教育のあるべき姿に迫ることができ、理科教師としての自分に自信がもてた。

私が高校生の時、ホットスプリングスへの海外派遣研修が決まっていたが、9.11に続く炭疽菌被害のため、海外派遣研修が白紙になってしまった。教師になった今、ホットスプリングスへの海外派遣研修に参加させていただけたことは、ご縁だと思う。これから、教師としての使命を果たしていきたい。

協会の皆様、コーディネーターの方々、ホストファミリー、出会った皆様、本当にありがとうございました。

### かぼちゃの飴は溶けるか



### カール先生



### 科学博物館 プラズマとLED



### ホストファミリー





# 平成28年度青少年海外派遣研修事業

## ベルンドルフ市派遣報告書



平成28年11月6日～11月15日

## ベルンドルフ市派遣団

### 派遣生

花巻中学校	よこた さや 横田 紗弥
花巻北中学校	いとう さき 伊藤 咲希
大迫中学校	や えはた ろく 八重畑 陸
大迫中学校	ひがき ひめこ 檜垣 媛子
東和中学校	さと う ももか 佐藤 百華
東和中学校	すがわら りな 菅原 里奈

### 引率教諭

笹間第一小学校	うえだ よしお 上田 佳穂
---------	------------------



## 1 研修テーマ

ベルンドルフ市の産業の特徴について調べる。

## 2 テーマ設定理由

ベルンドルフ市と花巻市は、どちらも美しい自然に囲まれており、友好都市になったのも花がきっかけだということを知って、自然を使った産業があるのかと気になったので調べたいと思いました。歴史にも興味があったので、昔から続く代表的な産業について詳しく調べたいと思いました。

## 3 テーマについての事前調査

ベルンドルフの産業について、資料とインターネットで調べました。代表的な産業として銀食器と松ヤニがあります。

銀食器は 19 世紀半ばにクルップ家が金属洋食器工場を建設し、大きな成功をおさめ発展しました。銀食器は国内外で愛されています。また近年では、ステンレスという合金鋼の特性を生かした製品にも力を注いでいて、ステンレス製プールについては、国内はもちろん、国外からも注目され、多数輸出されています。

松ヤニは、弦楽器の弦への塗布用として、また香辛料や薬品にも使用されています。

## 4 研修報告

オーストリアの産業の特徴は、大きく分けて二つあります。

一つ目は昔ながらの製法や伝統を大事にしたものであるということです。

例えば、金属工房では、一つ一つの作業工程がそれぞれの職人の手作業によって行われていました。昔は業者用の鉄製品を多く作っていましたが、現在ではガーデニング用のインテリアなどを作っています。

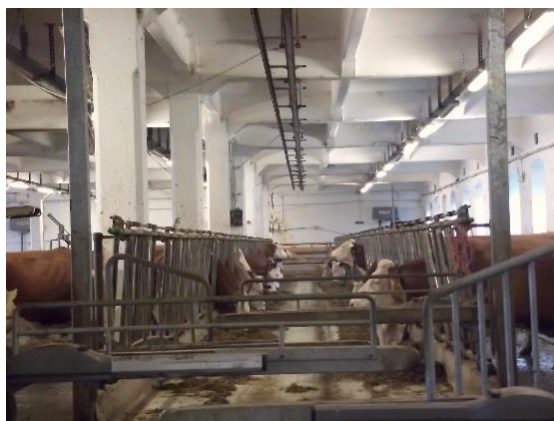
木こりミュージアムでは、木こりの歴史や仕事について学びました。木に登って樹液をとる映像や雨の時に避難する小屋などを見ることができました。樹液は松ヤニだけでなく、マッサージ用クリームや動物の健康を保つ薬としても使われていることを知りました。また、現在木こりという仕事についている人がいないことも分かりました。



金属工芸工房の様子

二つ目は伝統を守りつつ、新しいことを取り入れているということです。

私たちが見学に行った畜産が行われている牛舎は 19 世紀ごろにクルップ家が建てたものです。牛一頭一頭のデータが保管してあり、いつ、何を、どのぐらい食べたのかが記録されています。そのデータをもとに、機械が自動的にえさをやることで人件費を削減していました。また、牛の消化についての研究も行われています。



ウィーン大学畜産課研究所牛舎

オーストリアの産業は、伝統を大切にしながら新しいことを取り入れることで、発展し続けていることがわかりました。

日本や花巻でも職人さんによる素晴らしい技術や製法が今もなお大切にされています。これからは、昔ながらの伝統を守り伝えながら、新しいことへもチャレンジし、さらに発展させていくことが大切だと思いました。

また、ベルンドルフの産業と町の発展にはクルップ氏が大きく関係していることがわかりました。

事前調査でもあったようにクルップ氏は金属洋食器工場をつくりました。その他にも市民劇場や旧女子学校・男子学校をつくり、町の発展に貢献しました。クルップ家は貴族ではありませんでしたが、これらをすべて自分のお金でつくったそうです。旧女子学校・男子学校は、現在小学校と中学校として利用されています。教室の扉には、「人生において重要なのは働くことと祈ることである。」と書いてありました。クルップ氏は、働くことと産業の発展に高い意識を持っていたのだと感じました。

私は、今回の研修でベルンドルフの産業について分かったので、次は外国の人が日本に来た時に花巻の素晴らしい伝統を伝えられるように調べたり、体験したりしていきたいです。

## 5 まとめ

私は英語に自信がなかったため、ホストファミリーに自分で伝えられるかとても不安でした。現地では自分から動いていかなければ何も伝わらないと思ったので、積極的にコミュニケーションをとろうと努力しました。ホストファミリーもわかりやすいように話してくれたり、ジェスチャーや写真を使ったりしてくれて、一緒に過ごすのが本当に楽しかったです。

一番の思い出は、ホストファミリーのライブに行ったことです。お父さんがピアノを弾きながら、私たちのことを見て手を振ってくれたのがとても印象的でした。

日本との違いに驚くこともたくさんありました。

特に学校生活は、日本とは全く違っていて少し戸惑いました。校則で禁止されていないのか、アクセサリを付けていたり髪を染めていたりとおしゃれをしている人が多かったです。また、校内に自動販売機や購買のようなものがあり、授業中に食べている人などもいてとても自由だと感じました。普段当たり前だと思っていましたが、日本の学校はルールがとても細かく、厳しいものなのだと感じました。

楽しいことがたくさんありすぎて、10 日間は本当にあっという間でした。日本ではできない貴重な体験を通して感じたことがたくさんありました。伝えようとする気持と笑顔が大切だということ、そして助け合える仲間がいることがどれだけ大切かということ。このことを忘れず今後の学校での生活に役立て、将来へつなげていきたいです。



グーグルツィップフ展望台

## 1 研修テーマ

オーストリアと日本の学校の違いについて

## 2 テーマ設定理由

自分にとって一番身近な学校生活を比べ、日本とオーストリアの学校の相違点を見つけないかと思ったから。

## 3 テーマについての事前調査

髪を染めたり、ネックレスやピアスをつけたりする生徒もいる。また、制服がない。

## 4 研修報告

オーストリアのギムナジウム校では、日本の学校との相違点が大きく分けて3つありました。

1つ目は、教育制度の違いです。オーストリアでは、四年制の基礎学校（グランドシューレ）を卒業後に、五年制の基幹学校（ハウプトシューレ）、六年制の実科学校（リアルシューレ）、八年制のギムナジウムのいずれかに進学します。（今回はベルンドルフ市のハウプトシューレとギムナジウムの見学に行ってきました。）

2つ目は、授業についてです。日本では授業中の携帯電話の使用、飲食はありえないことですが、ギムナジウムでは、それらに加えて私語、立ち歩きもそれほど厳しく注意されていませんでした。席は自由席で、日本のように自分たちの決まった教室はなく、授業の度に移動教室を繰り返していました。

3つ目は休み時間についてです。授業は8時間目まであり、授業の合間の休憩は通常5分間で、3時間目の後に15分間の長休憩を挟みます。その長休憩のうちに売店でピザやパン、お菓子などを買い、軽食を取ります。5分間の休憩のうちに軽食をとる生徒もいますが、ほとんどの生徒が長休憩のときに食べるので売店には長い列ができます。軽食をとるのは、昼食時間が13時を過ぎ、遅いためです。さらに、日本では授業に遅れることは許されませんが、ギムナジウムではチャイムが鳴っても教室に入らない生徒がたくさんいました。



休み時間に売店に並ぶ生徒たち

事前調査については、調査通りに髪の毛を色々な色に染めたり、アクセサリーを身につけたり、制服がない分、生徒の服装も様々でした。事前調査通りと言えます。

また、ハウプトシューレにも見学に行きました。ハウプトシューレは、アルテュール・クルップ氏が建設したもので、アルテュール・クルップ氏の父であるヘルマン・クルップ氏も 19 世紀半ばに金属洋食器工場を設立するなど、クルップ一家はベルンドルフの発展に大きな功績を残しました。ハウプトシューレの他にも市民劇場やマルガレーテン教会なども建設しました。特に、ベルンドルフ市のハウプトシューレの内装は世界史上の主要な建築様式を模したものであり、ベルンドルフ市の名所になっています。教室にはそれぞれのテーマがあり、教室ごとにテーマの時代と建築様式が異なります。エジプト様式、ドーリア様式、イスラム様式など、全部で 12 の様式がありました。

学校見学を通して、オーストリアの学校には、日本の学校にない自由さがありました。実際に異国の学校で生活してみると、日本人の真面目さや几帳面さを再確認できました。オーストリアでは授業に対して「楽しく参加する」ことが重視されており、日本は「規律を守って参加する」ことが重視されていると考えました。これらの点が文化の違いなのかと感じました。



テーマ：イスラム



ギムナジウム校での美術の授業の様子

## 5 まとめ

今回の研修では、オーストリアの文化や生活習慣の違い、人の温かさを見て、聞いて、感じる事が出来ました。

公用語はドイツ語ですが、ホストファミリーは私が理解できるように簡単な英語やジェスチャーを交えたりして話してくれました。最初の方は全然英語が聞き取れなかったのですが、段々と自分の要望を言ったり、積極的に話しかけたり、反応出来るよ

うになりました。また、公用語のドイツ語も勉強してみたいと思いました。快くホームステイを受け入れてくれたホストファミリーには本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

さらに、学校の生徒さんたちはあたたかく、「Hello!」と挨拶してくれたり、ウェルカムパーティーを行ってくれたりしました。ウェルカムパーティーではオーストリアについてのプレゼンテーションやクイズ、日本のことや好きなものについてたくさん話せました。少しの英語が話せるだけで他国の人々と友好関係が築けることは本当に素晴らしいことだと思ったのでこれからはもっと英語の勉強をして他国についての知識をたくさん得たいです。

最後に、この派遣研修事業に参加できてよかったです。この10日間は私の一生の思い出となり、心の中に残り続けると思います。



左：ホストファミリーデーに行ったウィーン（首都）のクリスマスマーケット  
右：ホストファミリーとクリスマスクッキーを作った。



## 1 研修テーマ

ぼくがこの研修をとおして学びたいことは、二つあります。

一つ目は、オーストリアと日本の食生活や食文化の違いについて、調べ、学んできたいです。

二つ目は、ほかの国の人々とのコミュニケーションの方法について学んできたいです。

## 2 テーマ設定理由

ぼくは、食事が好きで、日本とは全く違う、歴史や文化があるところでの食に対する意識の違いを見つけてきたいと思い、このテーマを設定しました。

そして、コミュニケーションについては、どちらも母国語同士ではない言葉話すので、簡単な会話ぐらいしか出来ず、ほとんど言葉は通じないと思いますが、そんな中でのコミュニケーションの方法をみつけ、実践してきたいと思います。

## 3 テーマについての事前調査

- ・オーストリアの主食は特に決まっていない。パンを朝食に食べる人は多いが昼と夜は食べないことも多い。
- ・海の近くの国ではないので、肉中心の料理となっている。
- ・三食をしっかりと食べる習慣はほとんどなく、家庭によって違いはあるが夜はほとんど食べない。

## 4 研修報告

### (1) 食生活、食文化の違いについて

事前調査の通り、朝は毎日パンでした。昼や夜は特に決まりがないようでした。僕のホストファミリーの家ではほとんどがパンでしたが、ほかの家では日本という米のような食べものが出たり、レストランでパスタを食べたりもしました。

日本では、朝、昼、夜と毎食しっかりと食べていますが、オーストリアでは、朝ごはんは夜ごはんを軽くすませている印象を受けました。特に、朝食は、僕のホストファミリーの家ではトーストしたパン、サラミ、ハム、チーズ、ジャムといった同じメニューのものが毎日出ました。軽くすませるのはいいのですが、ぼくは、「これで、昼までおなかのすかないのだろうか。」という疑問を抱きました。夜も家では軽くすませています。



朝食の様子

しかし、家では軽く食べているにもかかわらず、外食に行くと普通にたくさん食べていたので、決まった習慣があるわけではないように感じました。昼食はジムナジウム校や外食ばかりだったので、家での様子はわかりませんでした。ジムナジウム校の人たちは3～4時間目の間の15分間休憩の中で、自分で持ってきたものや、売店で買ったものなどを食べていました。日本では、栄養士さんが考えたバランスの良い給食が当たり前のように食べられていますが、オーストリアでは、給食という時間がなく、好きな物を好きなだけ食べる、といった食生活に感じました。日本より、食に対する意識が低いんだと感じましたし、日本では当たり前のことが外国では当たり前ではないということがわかりました。また味付けの好みに関して、似ている部分はたくさんありましたが、特に野菜の味付け、ドレッシングなどは、好みの違いを感じました。日本人は薄味の料理や、煮込んだり、漬けたり、時間をかけてつくったりするものが好きですが、オーストリアでは、味が濃く、時間のかからないものが好きなように感じました。日本の伝統料理はすごく歴史があるし、外国から見ればすごいものなんだと思いましたし、これからも受け継いでいかなければならないなという気持ちになりました。

## (2) コミュニケーションの方法について

やはり、ぼくが思っていた通り、簡単な会話などは理解しあうことができました。しかし、ホストスチューデントが年下だったということもあり、二人で話しているとどちらも、わからなくなってしまう時がありましたが、そんな時は、ジェスチャーをしたり気持ちを表情に出すことで、理解しあうことができました。

オーストリアの人は、日本人より感情の表現が豊かだと思いました。ホストスチューデントはお母さんに「宿題をきなさい！」といわれるといやな顔をこちらにみせて、宿題をやりに行きました。またUNOをしていて、負けた時には「もう一回やろう！」と言われたり、勝った時には全身を使って、サッカーでゴールを決めたような喜びかたをしていて、とても面白かったし、日本にはない良いところだと思いました。

## 5 まとめ

ぼくは、この研修の中でいろいろなことを体験し、経験し、沢山思い出を作ることができました。ホストファミリーの方々はとても優しく温かい人でした。いつも、ぼくに「何か手伝うことはある？」と声をかけてくれたり、夕食に一度だけですが、イチゴのクレープと野菜のスープを作ってくれたことがありましたが、すごく嬉しかったです。またいつか会って恩返しができればいいなと思いました。

ぼくのこの研修の中で一番の思い出は、ウィーンでのショッピングです。日本では木を使って造っている建物も多いですが、ウィーンの建物は、木は使わずレンガや

石造りの建物ですごくオシャレでした。また、クリスマスに向けて売っているものなどが多く、見ているだけでもすごく楽しかったです。しかし、スリに注意するようにみんなで呼び掛けあったり、街中でお金をもらおうとしている人たちがいたので、とても怖かったですし、日本の治安の良さが分かった瞬間でもありました。

ぼくは、この研修を通してオーストリアの食生活や街並みなど、良いところや悪いところも含め日本との違いをたくさん見つけることができ、とてもうれしいです。また、それと同時に、日本という国の偉大さ、ほかの国の人とのコミュニケーションの仕方、そして、いつも自分たちのために時間をかけて、おいしいごはんを作ってくれる人たちに感謝の気持ちを持ってこの研修を終えることができました。ぜひ、この研修で学んだこと、感じたことをこれからの生活や将来の夢につなげていきたいと思えます。



夕食で食べたクレープ



シェーンブルン宮殿より集合写真

## 1 研修テーマ

ベルンドルフ市に伝わる伝統芸能

## 2 テーマ設定理由

大迫と同じように語り継がれてきたものがあるか知りたいと思ったから

## 3 テーマについての事前調査

調べてみましたが、特に見つからず、現地の方に直接聞いてみようと思いました。

## 4 研修報告

大迫では歴史の継承方法の一つとして、早池峰神楽という伝統芸能を受け継いでいます。形に残らない「芸能」という方法で昔からの文化や歴史を継承しています。

ベルンドルフ市では、市の発展に貢献したクルップ氏について「クルップミュージアム」という博物館を設立し、市民や観光に訪れた人に紹介していました。また、修道院、旧女子学校・男子学校、市民劇場などの歴史ある建物には、外壁や内装として絵が描いてあったり、装飾が施されたりしています。それらの絵や装飾はほとんど造られた当時のものでした。しかし、火事などでだめになってしまったものもあり、それらは修復しようとしたとき、当時の技術が高かったことがわかり、再現することができなくなってしまったそうです。今の技術では、同じように絵を描いても、壁に定着せず、何度も塗り直しが必要だそうです。



市民劇場の壁画

私は大迫にあるような伝統芸能がベルンドルフ市にもあると思い、このテーマを設定しましたが、実際に来てみるとそういうものはありませんでした。しかし、偉人の功績や、歴史的建造物を本当に大切にしていました。

古くからのものを伝えたいと思う根本的な気持ちはベルンドルフ市でも大迫でも変わらないと思いました。形に残るものを継承していくことも、メンテナンスなど大変なこ



クルップミュージアム

とがありますが、神楽のように形がないものを残していくことも、後継者の減少や技術を維持することなどが大変で、努力が必要だと、改めて感じました。

## 5 まとめ

私は教科としての英語は好きでしたが、実際に日本語が通じず、英語でコミュニケーションを取らなければならないことは初めてで、言いたいことを伝えられるかとても不安でした。しかし、ホストファミリーの方々は私たちにも分かるように何度も繰り返し話してくれました。それどころか、あいさつなど、簡単な日本語を覚えてくれていました。最初は相手の話を理解することさえできず、単語しか返すことができませんでしたが、英語が聞き取れるようになると、自分の思っていることを伝えたいと思うようになり、自分から話しかけられるようになりました。

ホストファミリーデーや夜の空いた時間にはオーストリアのカードゲームを教わったり、日本の折り紙やカードゲームを教えたりなど、会話以外のコミュニケーションも取れるようになりました。

授業で習った文法や、発音はほとんどできませんでしたが、それでも相手に伝えることができ、とても嬉しかったです。また、言語が違っていても、伝えたい気持ちがお互いになれば、伝えることができるのだと感動しました。また、ホストファミリーの皆さんがとても親切にしてくださり、うれしかったです。

私は今回、ドイツ語と英語の二つの外国語に触れることができました。ドイツ語は、英語より難しく感じましたが、勉強してみたいと思いました。今度は自分の思っていることを確実に伝えられるようになってから、またいつかベルンドルフ市を訪れてみたいです。



ホストファミリーと

## 1 研修テーマ

派遣先では、音楽の歴史や文化を調べてみたいです。日本とは違う歴史や文化があるのか、音楽にかかわる建築物や歴史上の人物を現地で調べたいです。また、現地で有名なアーティストや人気のある音楽家も調べたいです。

## 2 テーマ設定理由

私は音楽がとても大好きで、音楽は英語と同じように国境のない言語だと思います。そこで、海外と日本とでは、曲の好みにどのような違いがあるのか、どのような時に音楽とかかかっているのか現地で調べてみたいと思ったのがきっかけです。

## 3 テーマについての事前調査

オーストリアには、ウィーンという音楽に深く関わりのある場所があるということがわかりました。ウィーンでは日常的にクラシック音楽などいろいろな音楽に親しみがあるそうです。そのため、私は、隣のベルンドルフ市にはどのように影響しているのか現地で調べてみたいと思います。

## 4 研修報告

音楽の世界で有名な音楽家モーツァルトのグッズやお菓子、オルゴールなどがウィーン空港に入った瞬間から目に入りました。産業としても、とても音楽は大切にされているんだなと感じました。

ベルンドルフ市では市内観光の時に市民劇場を訪れ、その歴史やどのように使われているのかについて学びました。クルップ氏というベルンドルフの歴史には欠かすことのできない人物が大きく関わっていることがわかりました。クルップ氏が自分の資産で建築した建物はとても昔から多くの市民に愛されてきたそうです。



ベルンドルフ 市民劇場

日本（花巻）と比べるとウィーンなどでは音楽についての建築物やオペラハウスなどが多くあり、たくさんの人々が音楽に親しんでいるように感じられました。一方、ベルンドルフ市では音楽とのかかわりというよりも、昔ながらの建築物を大切にしているように感じられました。

また、ギムナジウム校では、歓迎会での楽器の演奏や合唱の披露など音楽を通して生徒の子たちと交流ができました。

ベルンドルフ市では、建築物などでは音楽でのかかわりはあまりありませんでしたが、交流などを通して音楽を大切にしていることが伝わってきました。



ギムナジウム生と交流

## 5 まとめ

私は海外派遣に行く前にはしっかり英語を勉強しているつもりでした。しかし、オーストリアに行ってみてドイツ語を標準語としていたので、通じない言葉もありました。ですが、少しずつ英語を通してドイツ語や日本語の交流をすることができました。日本語が通じない国でも、一生懸命に自分が知っている日本語で話してくれたり、日本語を教えてほしいと言ってくれたことがとても嬉しかったです。

また、音楽についてをテーマにしていたのですが、ホストファミリーやギムナジウム校での授業などで英語の歌を歌うことでたくさんの交流ができました。改めて、音楽は世界の国境を越えた言語なんだなと感じました。

今回海外派遣に参加できたことはとてもいい経験になったと思います。これからは、もっと英語を勉強し、さらに日本の文化を海外のたくさんの人に伝えていきたいです。



クルップミュージアムにて



市内展望台にて

## 1 研修テーマ

建物から見るオーストリア

## 2 テーマ設定理由

オーストリア、ヨーロッパの建物は日本との違いが見た目からわかります。それがどのようにして造られ、今現在まで残っているのか知りたいと思ったからです。

## 3 テーマについての事前調査

自分でインターネットを使って調べました。

有名な建築物にはガラスと鉄でできているモダンな建築物が多いということがわかりました。

## 4 研修報告

オーストリアの建物は、日本ではあまり見られないデザインの建物が多いです。デザインの細かい部分まで丁寧に造られている印象でした。かなり昔に建てられたものが今も使われているのには、いくつか理由があります。

一つ目は、「塗装」についてです。古代に使われていた色を分析してその当時に使われた技法で修復するには、かなりの労力があるそうです。現在の技術では、修復できないくらい高い技術力で描かれているため、大切に保存されているようでした。

二つ目の理由は、オーストリアでの建物に対する考え方です。オーストリアでは、建物が古くなったからといって壊して新しく建ててはいけないという法律があるそうです。昔からの建物を修復しながら大切に保存していこうというオーストリア国民の考え方に共感できます。観光地であるウィーンでは、税収のかなりの割合を建物の修復などに使っているそうです。

ベルンドルフ市の建物に限らず、オーストリアの多くの建物は力のある（財力のある）人が建てました。建物の大きさや豪華さからかなり力のあることが伝わってきました。ベルンドルフ市の場合、クルップ氏という偉人が市民のために様々な建物を造り町の発展に貢献してきました。その偉人に対する感謝の気持ちから大切に使用され修復していることが分かりました。日本の場合は、国、県、市が住民のために公共施設を建てていることが多いです。オーストリアでは、個人がこんな豪華な建物を建てていることを知り、驚きと、なぜそこまで町人のためにするのかという思いが湧いてきました。

オーストリアの建物の考え方について調べていくうちに日本の建物の良さも再確



認することができました。東和町にも古くからの建物が当時のまま残されています。私は、その建物の歴史やその建物に対する思いについてあまりわかっていないことに気づきました。普段、私たちが住んでいるこの花巻にも先人が大切にしてきた建物が沢山あります。それについても、今後調べたりして今度は外国の人たちにその建物の良さや、その建物にこめられている思いを伝えていけたら良いと思いました。

建物の他にも、生活、学校、街並みなどオーストリアと日本との違いが大きく、今回の海外派遣で沢山学ぶことができ、良い研修になりました。



ウィーン ペーター教会



ベルンドルフ 市民劇場

## 5 まとめ

今回の海外派遣のホストファミリーでは、9月にギムナジウム校から来た生徒を受け入れた時のホストファミリーと過ごすことができました。メールなどで連絡を取り合い、受け入れが終わった後も繋がりを持つことができ良かったです。その他にも、花巻に来た時の生徒やギムナジウム校に行った時一緒に授業をうけた生徒と仲良くなることができて良かったです。

また、今回の私たちのベルンドルフ市の研修では、日本出身の通訳の方が一緒についてくれました。1週間一緒に過ごしていくうちに通訳さんの生き方や考え方に触れることが多くなっていきました。さまざまなめぐりあわせで今現在、通訳として人と人とのコミュニケーションの手助けをしたり、日本料理を現地の方に教えたりしているそうです。外国語を話す日本人は、英語を話す人なら見る機会も多かったですが、ドイツ語という普段聞かない言語の通訳をしているということに興味を持ちました。そのため、世界共通語である英語の他にもドイツ語も勉強してみたいと思いました。ドイツ語は英語と綴りや発音が似ているものがあったり、日本語とも共通点があり、このように3ヶ国語の似ているところなどを発見しながら勉強していくのも楽しいと思いました。来年も、ギムナジウム校からの生徒が来ると思います。その時には、

少しの挨拶くらいはドイツ語でできると良いなと思いました。

今回の海外派遣では、日本では経験できないユニークな経験をしました。今回自分が実際に行ってみたことで、これからも沢山のの人に国境を越えた世界に興味を持ってもらいたいと思いました。今回海外派遣研修に行かせてくださった花巻市の協会の方、両親、そして現地でお世話になったベルンドルフ市の協会の方、通訳さんに感謝します。沢山のひとと出会い、言語が違う国の人たちと繋がりを持つことができ嬉しく思います。ベルンドルフ市へ研修しに行き、私は沢山の夢を持つことができました。

Ich bedanke mich herzlich. (心から感謝します)



ウィーン市庁舎前のクリスマス市



ホーフブルク宮殿 (新宮殿)

## 1 研修課題

日本とオーストリアの文化の違いを知る。

## 2 課題設定の理由

ヨーロッパには一度も行ったことがなく、生活の仕方や物事への考え方も日本とは全く違うと予想される。ホームステイを通して、日常の生活の仕方の違いを知り、ギムナジウム校では、教育事情の違いを学んできたいと思う。

## 3 研修報告

### (1) ベルンドルフ市の概要

ベルンドルフ市は、オーストリア共和国ニーダエスタライヒ州にあり、首都ウィーンから車で1時間程の距離にある山間部の文化都市である。人口は約9,000人。四季があり、花巻市とよく似ている。美しい自然に囲まれているため、景色の変化で季節を感じることができる。寒暖の差が大きく花巻市に比べて冬の寒さは厳しい。



ハヤチネウスユキソウ（早池峰の花）とエーデルワイス（アルプスの花）がよく似ているという縁もあり、昭和40年10月に、旧大迫町と国際友好都市提携。以来51年間の交流が続いている。昨年は、記念すべき50周年の年であった。

ベルンドルフ市の主な産業の一つに、銀食器がある。19世紀半ばにドイツ出身のクルップ家によって発展し、今でも国内外で多くの人に愛用されている。また、近年ではステンレスの特性を生かした製品にも力を注いでおり、国内はもとより、国外からも注目されている。

ベルンドルフ市は、12世紀の記録にもその名がある歴史ある都市で、現在でも築後100年以上の建物が多くある。そのほかにも美しい建造物がたくさんあり、前述のクルップ家が私財を寄付して作られた校舎、市民劇場、大聖堂などは市の宝としてなお市民から愛され続けている。



## (2) 日本とオーストリアの文化の違い

### ＜教育に関する違い＞

オーストリアの教育制度は、日本とは異なる教育制度で、4年制の基礎学校を卒業した後、大学進学準備をする8年制の中高一貫校（10～18歳）か、職業訓練を受けるための4年制の基幹学校（10～14歳）で学んでいる。ギムナジウム校は大学進学を目指す学校で、日本の小学5年生から高校3年生までが同じ校舎で学習をしていた。

オーストリアの学校は留年制度があり、その学年の学習をしっかりと身につけなければ進級できない。そのため、同じ教室に異年齢の生徒が在籍していることもめずらしくない。自己責任で、きちんと学習していかないと進級・進学ができない。

しかし、学校自体は割と自由な雰囲気、全体的に明るく元気な子どもたちが多かった。



教育カリキュラムも日本とは大きく異なっている。

始業は朝8時。8時間授業で3時間目と6時間目の間に15分の休憩がある他は、教室移動のための5分間を授業の合間に挟むだけである。つまり、日本のように給食時間も、外で遊んだりする休み時間もないということである。

15分の休憩の間に、パンやクッキー等をそれぞれ好きな場所で食べ、また授業に参加する。

日本は栄養バランスよく食事を取るよう、学校でも指導をしているが、オーストリアは、食事についてはとくに深く考えていないように感じた。

### ＜建築様式の違い＞

日本とオーストリアの違いの一つに建物の建築様式の違いがあげられる。右の写真はシュテファン大聖堂で800年以上の歴史を誇る、まさにオーストリアの顔である。12世紀半ばのロマネスク様式の小さな教会が建設されたのが始まりで、14世紀にハプスブルク家のルドルフ4世によってゴシック様式の大教会に建て替えられたものである。



主祭壇の北側へ行くとモーツァルトの葬儀が行われた場所があり、その旨が記されている。1791年に35歳でなくなったモーツァルトはここへ運ばれ、簡単な葬儀の後市外の共同墓地に埋葬された。

オーストリアは、全体的に古くからの建物が多し。それだけ人々に大切にされているということである。日本も、物を大切にしようとする気持ちはあるが、やはりヨーロッパの、こういった建物の歴史も大変素晴らしいものである。



#### 4 感想

今回の研修で感じたことは、中学生や高校生の、大きな成長である。

派遣前も数回生徒と交流しているが、コミュニケーション能力はかなり高まったと思う。言葉の壁も最初はかなり戸惑っていたが、2日もたてばドイツ語でコミュニケーションをとるようになっていた。

ホストファミリーとはもちろんのこと、ジムナジウムに通う生徒とも積極的に交流し、英語やドイツ語で会話し合う姿を見て、大変頼もしく感じた。

また、日本語を教えている生徒もいた。ジムナジウムの生徒も、日本語を見て興奮していたし、とても喜んでた。

やはり、言葉は大切なコミュニケーションの大事なツールであり、言葉が通じなくても身振り手振りで気持ちを表現できることも学べたと思う。しかし、言葉が通じることで、もっともっと自分の考えや相手の考えを理解しあえることも体感できたと思う。



この研修を通して、今後の学校や家庭での学習も変わってくると思う。一人でも多くの生徒に、この事業に参加してもらい、これからの花巻をさらに発展してもらいたいと感じた。



もちろん、私自身の変化もかなりあった。

ホストファミリーの優しさや思いやりがとてもうれしかった。私もドイツ語によるコミュニケーションに挑戦してみた。現地の言葉を話そうとすると、すごく喜んでくれた。

そして、日本語も教えてほしいと頼まれ、お互いの国の言葉で会話し合った。

お互いが、その国の文化や言葉を尊重し合うことは、お互いを理解し合ううえでとても大切なことである。

今回の研修で、改めてオーストリアのよさ、そして日本のよさ、花巻のよさに気付くことができた。

公益財団法人花巻国際交流協会の方々や現地国際交流協会の方々、そしてホストファミリーのサムス夫婦、現地で通訳をしてくださった一色様等、大変多くの方にお世話いただき無事に研修を終えることができました。ありがとうございました。



# 平成28年度青少年海外派遣研修事業

## ラットランド市派遣報告書



平成28年10月25日～11月2日

## ラットランド市派遣団

### 派遣生

花巻中学校

ふじわら  
藤原 ひなた

宮野目中学校

つのかげ あおい  
角掛 碧

宮野目中学校

たむら ゆうき  
田村 祐葵

石鳥谷中学校

よしみず まりな  
吉水 真理奈

石鳥谷中学校

かまだ  
鎌田 あすか

大迫中学校

ささき とわ  
佐々木 永遠

### 引率教諭

石鳥谷中学校

やまね ひさし  
山根 寿





## 1 研修テーマ

「アメリカに古くから伝わる伝統的な遊び」や「アメリカで現在流行っている遊び」について

## 2 テーマ設定理由

私は幼稚園に通っていた頃こまを習ったり、小学生の時は行事でたこ揚げやかると、すごろくをしたりしました。休み時間や学校が休みの日には、外で友達とおにごっこや、ドッジボール、野球、縄跳び、缶蹴りなど、日本に古くから伝わる伝統的な遊びをたくさんしました。今回ラットランドに派遣されることになった時、アメリカではどのような伝統的な遊びや流行っている遊びがあるのか気になったため、このテーマに設定しました。

## 3 テーマについての事前調査

出発する前にインターネットでアメリカの遊びについて調べたところ、日本で親しまれている遊びに似たものがあることを知りました。例えば「だるまさんがころんだ」に似ている「What time is it, Mr. Wolf?」や「レッドライト・グリーンライト」、「かくれんぼ」に似ている「hide and seek」、「ハンカチ落とし」のような「ダックアンドグース」、「おにごっこ」に似ている「tag」などです。

## 4 研修報告

事前調査で調べたことについてホストスチューデントのマヤに聞きました。「What time is it, Mr. Wolf?」と「ダックアンドグース」は知っていましたが、他のものは知りませんでした。特に「tag(おにごっこ)」はマヤが日本に来た際に、花巻の中学生から教えてもらったそうです。遊びについても地域によって異なるのかもしれない。

また、アメリカの伝統的な遊びについてマヤに教わって、実際に遊んでみました。1つ目は「Peg Board」という遊びです。「Peg Board」は、一辺が10cmほどの正三角形の木製の板に15個の穴があいていて、そのうちの14個にくぎがささっています。その釘を穴から穴へ違うくぎをはさむように動かします。そして、そのはさんだくぎを取っていきます。これをどんどん繰り返していき、残り1本にすればあがりです。私とマヤで何度も挑戦しましたが、1回も1本だけ残すことはできませんでした。マヤは「これをクリアするのは難しい。私も数回しかクリアしたことがない。」と言っていました。「Peg Board」は、ルールは単純なパズルゲームですが、とても頭を使う難易度の高いゲームでした。

2つ目は、「ジャックス」という遊びです。ジャックスは、6本の棒が立体的に飛び出た小さなコマのことを指します。遊び方は、まず先攻・後攻を決めます。先攻は、地面にばらまいておいたジャックスから少し遠いところでボールを地面に弾ませます。そして、そのボールが落ちてくる前にジャックスを1つ拾います。それができたら2つに、それもできたら3つに…というようにジャックスの数をどんどん増やしていきます。ミスをしたら後攻にまわします。より多くのジャックスを拾えた方が勝ちです。私とマヤで勝負をしてみました。私は5個拾い、マヤは3個しか拾えなかったのので、私の勝ちでした。実はマヤも初めてやったそうです。伝統的な遊びなので、私と同世代の人はやったことがなかったようです。

私は日本から折り紙を持っていき、マヤと一緒に鶴を折りました。マヤは日本の伝統的な遊びに触れることができ、とても喜んでいました。

次にアメリカで流行っている遊びについて紹介します。

1つ目は「Fashion drawing」という遊びです。これは日本のぬり絵に少し似ています。ノートに女の子の全身の絵が描いてあって、その絵に自分で好きなように色鉛筆やペン、シールを使って服を描いていきます。マヤは「アメリカの女の子の間で流行っている」と言っていました。ちなみに私は着物を描きました。するとマヤはとても喜んでいました。

2つ目は「レインボールーム」です。これは日本でも流行っている遊びです。レインボールームは、小さな輪ゴムのようなものを編んでいき、ブレスレットなどを作る遊びです。日本で私たちが楽しんでいる遊びがアメリカでも流行っていて驚きました。日本でもアメリカでも楽しいと思うことは世界共通なのだと思います。

また、ラットランドの子どものほとんどがスマートフォンやタブレット端末を持っており、SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)を使っていました。日本ではLINEが主流ですが、アメリカの子どもの間では「スナップチャット」という写真共有アプリで会話をしていましたし、日本と同じように「インスタグラム」や「Facebook」も使用しているようです。渡米前にマヤのFacebookを見ることができ、どんな子かイメージすることができました。学校をはじめとする公共施設にはWi-Fi設備があり、授業中でも自由に使用することが認められていました。先生がホワイトボードに書いたことを写真に撮ったり、課題演習が早く終わった人はスマートフォンなどをいじったりしていました。日本の学校ではスマートフォンやタブレット端末を授業中に使うことはもちろん、持って行ってはいけない決まりです。アメリカでも授業中にスマートフォンばかりいじっている人はいません。むしろ、授業に集中し、必要な時にスマートフォンを利用していました。アメリカの子どもは日本の子どもに比べて分別がついているような印象を受けました。

## 5 まとめ

私は日本を発つ前、アメリカに行ったらどんなことが待っているだろうというワクワクした気持ちと、現地の人と上手くコミュニケーションがとれるのだろうかという不安が入り交じった複雑な気持ちでした。ラットランドに着き、実際に現地の人と話してみたら、少しではありますがコミュニケーションをとることができました。その時は本当に嬉しかったです。それから中学校の英語の授業で習った文法や自分が知っている言葉、身振り手振りを使って積極的に会話をするよう心がけました。初めはほとんど会話を聞き取ることもできず、話したいことが思うように伝わらないことも多く、とても大変でした。しかし、数日経つとネイティブの話す会話がハッキリ聞こえるようになったり、私の言葉が通じるようになったりと、自分自身成長していることを実感できました。

私が一番研修中で大変だったことは、食文化の違いです。まず、朝食は日本では朝ご飯はしっかり食べようと教えられていて私自身しっかり食べていますが、ホストファミリーの家ではシリアルのみで日中お腹がすいて死にそうになりました。昼食や夕食はラザニアやピザ、肉料理など、とても脂っぽいものばかりで、胃がもたれた日もありました。日によって3食だったり2食だったり和不規則だったので、生活リズムがくるってきつかったです。アメリカ滞在中はお米を食べる機会がありませんでした。帰国後、成田空港で食べたおにぎりの味は今でも忘れることができません。

今回の研修ではいろいろな人と出会い、いろいろな人とコミュニケーションを取ることができました。これらの貴重な経験を通して、成長することができたと思いますし、自信もつきました。これらの経験を活かして今後は、周囲の大人に自分の意思をはっきり伝えられる人になりたいです。私は周囲の大人に対して自分の意見を言うことが苦手です。アメリカの子ども達は自分の意見を誰にでもはっきり言っていました。彼らを見習って、花巻の代表として海外に行ってきたという誇りを胸に、これから生活していきたいと思います。

最後に、今回の派遣に対してたくさんの方からご指導と激励をいただきました。本当にありがとうございました。



ホストスチューデントのマヤ（中央）



伝統的な遊び：Peg Board



ハイスクールの授業の様子



流行の遊び：レインボールーム



肉料理



肉料理②



マヤと折り紙をして楽しみました

## 1 研修テーマ

～アメリカの家での過ごし方～

- ・学校から帰った後は何をしているのか
- ・休日は何をしているのか
- ・パーティーはどれくらいのペースでしているのか

## 2 テーマ設定理由

〈放課後〉

日本は部活動をしているがアメリカでは何をしているのか気になったから

〈休日〉

日本と同じように出かけるのか気になったから

〈パーティー〉

日本はあまりパーティーをしないので、アメリカではどれくらいするのか気になったから



ラットランド市内の教会

## 3 テーマについての事前調査

アメリカの生活習慣についてインターネットで調べた。

- ・アメリカには部活動がない。
- ・イベントがあるとパーティーをする。

## 4 研修報告

私は現地で、まず、学校から帰ってきたら何をするのかを調べました。

アメリカには、日本と違い、部活動というものがなくスポーツをしたい人は地元のスポーツクラブに入っていました。そして、家に帰ってきたら、宿題がとても多いので、宿題をやっていました。お風呂は、朝入る人が多かったです。夕飯を食べ終わってからは、テレビを見たり、友達とフェイスタイムをしたりすることが多かったです。テレビは、日本でも見たことのある海外のドラマを見るが多かったです。

休日は、家族でショッピングをしに行きました。普段の休日でもショッピングをすることが多いそうです。ラットランドはニューヨーク州の隣にあるので電車でニューヨークまでショッピングに行くこともあるそうです。アメリカのショッピングモールは日本のショッピングモールよりも広く、一日ではまわりきれないほどでした。そして、ドライブに行くことも多いそうです。私は、ホストファミリーのローレンと、ひなたさんとそのホストファミリーのマヤと一緒にドライブに行きました。ドライブでは、

湖、滝などに行きました。ちょうど紅葉の季節でとてもきれいでした。

パーティーはどれくらいのペースですのか聞いたところ、何かのイベントがない限りあまりしないそうです。

## 5 まとめ

今回の海外派遣研修は、初海外ということで見るものすべてが新鮮でとても輝いてみえました。アメリカの方々はとても優しく、行く先々で歓迎していただきました。そして、些細なことでも『Thank you』や『Hi』、『You're welcome』などと言っていました。日本人もそういうところは見習わなければいけないと思いました。

本場の英語は、とてもはやく、発音もきれいで最初はとても大変でしたが、話しているうちに聞き取れるようになり、たくさん話すことができました。

お別れのときは、アメリカにずっと居たいのと、ホストファミリーと別れるのが嫌でたくさん泣きました。しかし、2020年、東京オリンピックの際に、絶対に会うと約束しました。その時までには、もっと英語が話せるようにします。

今回の海外派遣では、海外の文化を学ぶことで、日本のいいところや逆に見習わなければいけないところも知ることができました。今回学んだことを活かし、将来は、日本だけでなく世界で活躍できる人になろうと思います。

このような貴重な体験をさせていただき、有難うございました。



食事として出されたハンバーガー



みんなでボーリングに行った時の写真



湖に行った時の写真

## 1 各自のテーマ

アメリカではどのような食べ物が親しまれ、食べられているのか。  
また、日本の文化との違いはどのくらいあるのか。

## 2 テーマの設定理由

日本では主に米やみそ汁を中心とした食事をしますが、アメリカでの主食やおかずは何だろうと疑問に思ったからです。



## 3 共通テーマについての事前調査

簡単に食生活についてインターネットで調べました。アメリカでは主に、ハンバーガーが人気で様々な人に食べられているようでした。

レストランで食べたハンバーガー

## 4 研修報告

僕たちが現地で食べたものは、基本的に小麦を主とした食べ物でした。朝食は、日本ではだいたいお米かパンを主食として食べますが、アメリカではパンはもちろん、ワッフルやシリアル、パンケーキなども朝食として食べられていました。サイズはとても大きく、完食することができませんでした。小麦を使った料理は腹持ちが良いのか、それとも1食の量がとても多いのか、朝食を食べると昼食の時間帯になってもお腹が空かず、夕飯まで何も食べないという日がわりとありました。つくづく、アメリカでの食事は1日2食で十分だな、と感じました。

アメリカで唯一「米」として食べたものは、細長い形状で、パサパサして粘り気のないものでした。僕はアメリカの方々が、この米をサラダ感覚で食べていたのが、とても印象的でした。近年、日本食がヘルシーだということで海外の人々に人気があるらしいのですが、その様子を垣間見たような気がしました。

学校の昼食は、校内にあるカフェテリアでとりました。食事の内容はハンバーガー、サラダ、パスタなどが多く、おかわりが自由のように見えました。その場で食事の料金を支払っているようには見えませんでした。アメリカにも日本の学校での給食費のようなものがあって、各自納めているのかな、と思いました。給食がバイキング形式だと、たくさん食べたい生徒にはとても良いだろうと思いましたが、逆にあまり食べられない生徒にとっては残念だなと思いました。

また、各家庭で食事をするというよりは派遣生たちとそのホストファミリーが集まって、皆で食事に行くという機会が多かったように感じました。ハンバーガーやサン

ドイツが多く、チリソースなどで味付けが濃いように感じました。アメリカ人が好む味付けなのかな、と思いました。食事の飲み物は、ジュースや炭酸飲料でした。主にアップルジュースやオレンジジュースを出してくれました。僕が飲み物を注文する前に、店員から「飲み物は何にしますか」と聞かれ、おかわりが自由だったので、もしかしたら飲み物代は料理代に含まれているのかな、と思いました。

## 5 まとめ

アメリカは日本と違って、とても自由な国でした。僕が一番驚いたことは、学校の授業中に生徒たちがスマートフォンを使ったり、お菓子を食べていたりしたことです。先生は、そのような生徒を見ても一切注意しませんでした。むしろ、お菓子を食べながら授業をする先生や、生徒にお菓子を配る先生もいました。授業は、生徒を指名して発言させる形ではなく、挙手制でした。なので授業にきちんと参加するか、それともスマートフォンばかりいじって参加しないかは生徒の判断に任せられるのです。しかしそのような環境の中でも、生徒たちはきちんと学習をしていたので、その「自由さ」に甘えず各自が自己管理をしっかりしているのだな、と思いました。

僕は初めて海外に行きホームステイをするので、現地であまくコミュニケーションをとり、生活できるのかとても不安でした。しかし、アメリカの方は大らかな性格で、僕を心から歓迎してくださいました。そのおかげで、僕は安心して研修を進めることができましたし、とても居心地よく生活することができました。

日本人は、世界に誇れるような繊細な技術を持ち、美しいものを敏感に感じとるきれいな心を持っています。アメリカ人は、他人を拒まない大らかな気持ちを持ち、周囲と違うことを決して非難せず、それぞれの個性を尊重します。両国とも良い点を持っていますが、僕が日本の中に留まったままでは、これらのことに気付くことができなかったでしょう。このような貴重な体験は、僕の大きな財産になりました。本当にありがとうございました。



ホストスチューデントのケルと 感謝祭での写真



サンドイッチと  
紫いものフライドポテト





## 1 研修テーマ

姉妹都市である花巻市(石鳥谷町)とラットランド市の繋がりについて

## 2 テーマ設定理由

私はこれまで何度かラットランド市からの学生、引率の方の受入れに参加し、たくさんのお思い出を作ってきました。また、私の住んでいる石鳥谷町は、花巻市と統合する以前からラットランド市と姉妹都市提携を結び、今日まで深い交流を続けています。提携30周年を迎えた今はどのような交流をしているのか知りたいと思い、このテーマに決定しました。

## 3 テーマについての事前調査

ラットランド市は、アメリカ合衆国バーモント州南西部ラットランド郡の郡庁所在地で、人口は約16500人。大理石やメープルシロップなどで知られる歴史ある街です。

インディアナ州のアラム大学を訪れた当時の石鳥谷町長が担当教授からバーモント州訪問を勧められ、その教え子がラットランド市長と懇意の間柄であったことから両市町長が意気投合して姉妹都市提携の機運醸成を図り、昭和61年(1986年)10月8日に旧石鳥谷町と国際姉妹都市の提携を行いました。

昭和63年(1988年)からは、お互いの中学生を対象として「青少年交換留学研修」を行っており、5年おきに周年事業を展開して姉妹都市としての絆を強めてきました。平成18年10月には、花巻市長をはじめとする訪問団がラットランド市を訪れ、合併後の花巻市と姉妹都市提携更新調印式を行うとともに、姉妹都市提携20周年式典に出席しました。そして、姉妹都市提携30周年を迎えた2016年10月に約30名の花巻市民訪問団がラットランド市を訪れ、記念行事に出席しました。

## 4 研修報告

現地では、様々な場所を訪問する中で、花巻市(石鳥谷町)とラットランド市の繋がりを感じることができました。

ラットランド市に到着して、最初に市庁舎を訪問しました。市長のクリストファーローラスさんは初めてのラットランドに緊張していた私たちを明るく歓迎し、ラットランド市や市庁舎についてわかりやすく説明してくださいました。また、花巻市がラットランド市に贈ったタペストリーを掲げて写真を撮りました。ローラス市長はタペストリーをととても気に入っていました。

ホストファミリーに初めて会った日の夜は、ラットランドのみなさんがウェルカム

パーティーを開いてくださいました。私たちの顔写真、名前、「ようこそ」と入ったボードも用意されていました。食事をしながらみんなで話して、楽しい時間を過ごしました。

海外派遣中に2回訪れたラットランドハイスクール(高等学校)の庭には、ラットランドの名産品である大理石で作られたイスが置かれていました。このイスは石鳥谷中学校の玄関にも置かれてあり、姉妹都市提携30周年を記念してラットランド市で作られた世界に2つだけの特別なイスです。これからの交流で大切にしていけるべきものの1つだと感じました。

ラットランドハイスクールでは、昼休みの時間を利用してラットランドと花巻の交流会のようなものが開催されました。ハイスクールに通っている私たちのホストチューデントと一緒に、1人ずつ事前に準備したプレゼンテーションを行いました。私たちのホストは2016年6月の花巻での研修について報告し、「食べ物がとてもおいしかった」「学校を訪問し、生徒がたくさん話しかけてくれた」「ホストファミリーとの別れは寂しかった」などと話していました。私たちは自己紹介と花巻の魅力について発表しました。たくさんの人を前に、英語での発表は緊張しましたが、見に来てくれた学校のみなさんは、私たちの話に真剣に耳を傾けてくれました。日本や花巻に興味をもってくださり、とても嬉しく感じました。

現地では行く先々でお土産やプレゼントをいただきました。特に嬉しかったのが、ホストファミリーのみなさんからいただいたジャケットです。これは私たちのホストとお揃いのもので、「Rutland Ishidoriya Student Exchange 2016」という刺繍のほか、それぞれ自分の名前が入っています。私たちはいただいた次の日から、毎日ジャケットを身につけました。

今回の研修で、ラットランド市と花巻市の交流は昔も今も深く、互いに尊重していることが分かりました。この関係をこれからさらに深め、ずっと交流を続けていこうと感じています。

## 5 まとめ

今回ラットランドを訪れて一番強く感じたことは、出会った方々全員があたたかく、ラットランドと花巻の関係を大切にしていたということです。ホストファミリーをはじめ、ローラス市長や学校の生徒のみなさん、街でお会いした現地の皆さんまでもが日本から来た私たちを明るく歓迎してくれました。そんな方々との交流だったからこそ、最高の形で研修を終えることができたのだと思っています。

この研修で、国際姉妹都市提携30周年を迎えた今も、ラットランド市と花巻市は深い交流を続けていることを肌で感じる事ができました。それは30年という長い歴史の中で、花巻とラットランドの方々が互いの関係を尊重し、「交流したい」「お互いについてもっと知りたい」という強い気持ちがあったからこそ、今日まで交流を続

けることができたのだと思います。そして今後は、私たち花巻市民がもっと海外やラットランド市に目を向け、興味を持ち続けることが大切です。それと同時に、私たちが住んでいる花巻市や日本はどのようなところなのか知り、ラットランド市や他の国に誇れる花巻市にしていくことが、これからの国際交流に繋がっていくのだと感じています。

私は今回の研修で出会った方々とのつながりを大切に、これからも様々な形で国際交流に携わっていきたいと思います。そしてより深い交流のために、日々の英語の学習にも力を入れていきたいです。



市内の幼稚園を訪問、朝の会の様子です。子供達と積み木やおしゃべりをして、楽しい時間を過ごしました。



おみやげの店で、ホストの Zoe (左)、妹の Lia (中) と写真を撮りました。短い期間ではありましたが、たくさん話し、色々なことを楽しんで、とても仲良くなりました。



市庁舎の写真です。ここではローラス市長にお会いし、支庁舎の中を案内していただきました。普段は入ることのできない部屋には、何年も前の戸籍や選挙用紙などが保管されていました。



家族みんなでハンバーガーを食べました。自分の好きな具を組み合わせで作ります。お母さんが作ったハンバーグはとてもおいしく、すぐになくなってしまいました。

## 1 研修テーマ

- ・ハロウィンについて(日本とアメリカの違い)
- ・ラットランド市と石鳥谷町の交流について

## 2 テーマ設定理由

日本の一部では仮装をしてハロウィンを楽しんでいるが、アメリカの人はどのようにハロウィンを楽しんでいるのか、そして、私が住んでいる石鳥谷町とラットランド市のつながりを調べてみたいと思ったから。



ホストファミリーと作ったランタン

## 3 テーマについての事前調査

インターネットで調べた。

<ハロウィン>

子供たちが仮装をして、近くの家々を訪れて「トリック・オア・トリート!」と言ってお菓子をもらう。かぼちゃの中身をくり抜いてジャック・オー・ランタンを作る。

<ラットランド市と石鳥谷町>

今年で姉妹都市提携30周年記念

ハロウィンの仮装の写真

## 4 研修報告

<ハロウィン>

アメリカのハロウィンでは、家の庭にクモの巣やお化けを飾っていた。玄関には、かぼちゃを置いていた。仮装は、海賊・バットマンなどキャラクターが人気だった。

ハロウィンパレードでは、ハイスクールやミドルスクールの人達が演奏したり、消防士はミニオンズの仮装をしたりと、町の人がたくさん集まっていた。私達は袋を広げて、パレードを歩いている人がお菓子を袋の中に入れた。とてもにぎやかで楽しかった。感謝祭で、ジャック・オー・ランタンをつくった。顔の形やクモの巣の形にくり抜いたり、くり抜かずにかぼちゃに絵の具を塗ったり、それぞれいろんなランタンを作った。

<ラットランド市と石鳥谷町>

ラットランド市の市長が石鳥谷町との交流について教えてくれた。当時の石鳥谷町長が、教師派遣でインディアナ州アーラム大学を訪れ、大学の教授の教え子が当時の



ラットランド市長と知り合いであることを知った。当時の町長と市長がお話をし、姉妹都市交流が話題になり、昭和61(1986)年10月8日、ラットランド市と石鳥谷町は姉妹都市提携を結んだ。今年に姉妹都市提携30周年を記念し、世界に2つしかない大理石のベンチが石鳥谷中学校に贈られた。もう一つは、ラットランドハイスクールに置いてある。



市長と石鳥谷まつりの山車の  
タペストリーを掲げ記念撮影

## 5 まとめ

- ・食べ物の味が濃く、ホストファミリーとお菓子をつくったときの砂糖とバター量がとても多かった。／スーパーマーケットでは、野菜など食品の大きさ、メッセージカードの売り場の広さに驚いた。食品の量り売り、会計のとき自分でカゴから買うものを出すなど、日本と違う点がたくさんあった。
- ・挨拶としてハグをするなど、スキンシップが多かった。／大統領選挙で自分の支援する人の看板を飾っており、自己主張をはっきりとしていた。
- ・朝食は主にオムレツ、パンケーキ、ワッフル、シリアルだった。／室内で飼っている犬がとても大きく、朝食を食べている時にじゃれてきて驚いた。
- ・道路はカーブが少なく直線だった。交通事情が日本とは逆で、車は右側通行・左ハンドルだったため、最初は慣れなかった。／ラットランドの人の移動手段は、ほとんど車だった。(電車やバスはあまり使わない)
- ・自分の学校にアメリカ人が来ると珍しく感じるけど、アメリカの学校に行ったときは、いろんな人種の人が出ていたので、違和感を感じなかった。／学校では、授業中に飲食やトイレに行くのも服装も自由で我慢することが少なく、何事にも自己責任で自立していると感じた。／ハイスクールの図書室に日本の漫画があった。
- ・Wiiなどの日本のゲームで遊んでいた。／トイレの水の流れる量が多かった。便座が大きくて足がつかなかった。／シャワーが固定されており、体についている泡を流すことに苦戦した。

最初は、ナイフとフォークを上手に使って食べるができなかった。言葉も上手に伝えることができなかったが、ジェスチャーを使い、表情に意識してコミュニケーションをとった。アメリカの人達はとても積極的で明るく、優しく声をかけてくれた。  
<今後の目標>

日常的な英語、自分の思い・考えを英語で話すことができるようになりたい。そのために、毎日英語に触れ、今回の研修で友達になった人とインターネットを通じてコミュニケーションをとっていききたい。また、ホストファミリーがラットランドの良さを伝えてくれたように今度は私が花巻の良さを伝えていきたい。

## 1 研修テーマ

私は「アメリカと日本の学校の共通点と異なる点」というテーマにしました。このテーマにした中で、具体的には、生活時間やスタイルや食事、授業内容や受け方などについて調べたいと思います。

## 2 テーマ設定理由

昨年の派遣事業の発表会で、アメリカと日本の学校とでは、行事、生活、授業、食事とあらゆる部分で正反対な部分が多いと聞いたので、具体的にどう違うのかが気になり自分の目で確かめてみたかったのでこのテーマにしました。

## 3 テーマについての事前調査

インターネットなどでアメリカの学校のことを調べ、昼ごはんはカフェテリアでバイキング形式で食べ、制服が無いなど自由なことが多い、成績が悪いと留年することなどが分かりました。

## 4 研修報告

私がまず一番に気づいたのは、小学校・中学校・高校の学年が、日本は6・3・3でアメリカは、5・3・4または6・2・4だということです。私達より実質1年早く高校生になることになります。

1日目にミドルスクールに行ったのですが、学校に着いてまもなくお昼ご飯を食べました。食事はランチルームのようなカフェテリアと呼ばれるところでバイキングのような形式で食べ、日本のようにみんなで同じものを食べる感じではありませんでした。私達は特別に図書室で生徒会の皆さんと会話をしながら食べていたのですが、昼ご飯はサンドイッチとポテトチップスとコーラで、自分がイメージしていたアメリカらしいものでしたが、日本ではポテトチップスはお菓子と考えられるので学校で食べることには驚きました。授業はスペイン語、数学、社会に参加しました。もちろん説明も英語なので難しかったのですが社会の授業では1人1台パソコンを用意し自分で調べレポートを書いていくという作業をされていてすごいと感じました。普段は日本クラブの活動があるようですがその日はなく授業が終わるとすぐ帰りました。

また私達はハイスクールにも行き理科、数学、体育、スペイン語の授業に参加しました。授業では積極的にスクリーンなども使われていて、そして3時間目が終わると各自ご飯を食べたりその前にクラブでコーラスやオーケストラ、軽音楽を楽しんだり、陶芸など色々な活動をしてからお昼を食べる人がいたり結構自由でした。お昼はミドルスクールの時と一緒に、カフェテリアでハンバーガーやピザ、野菜などが色々置

いてあり、それらを自分で買ってみんなで食べていました。

## 5 まとめ

まず、テーマについて調べた中で私はミドルスクールとハイスクールの生活を体験し以下のことに気が付きました。

### ① 制服が無い

全員私服で派手な服装の人もたくさんいた

### ② 授業中に飲み物を飲んだりお菓子を食べたりしている人も多い

日本ではあり得ない授業中の飲食

### ③ 朝や帰りの短学活などがない

朝はすぐ授業、終わったらすぐ帰る

### ④ 昼ご飯はカフェテリアでみんなで食べるが時間が違う。

昼ご飯の決まった時間が無い

①に関しては、その通り制服はなくみんな私服で、それに加え下駄箱も無く体育も外靴でした。②は、教室の後ろなどにクッキーやジュースが置いてあり、先生も食べながら教えていました。③は、短学活やホームルームが無く授業が終わるとすぐ帰っていました。④については、昼食の時間が大まかにしか決まっておらず、昼食の前の活動が終わった人から食べるというシステムでした。

これらのことから私はアメリカと日本の学校とでは共通点はあまりなく、異なる点が多いと思いました。

そして私は今回の派遣事業でアメリカに行き、気になったことがあります。それは、食べ物をすぐ捨ててしまうことです。アメリカで生活してきた中で学校での食事、レストランでの食事、家での食事と色々ありましたが、アメリカでは食べ物が半分くらい残っていても捨ててしまっていて、もったいないと思いました。これは日本も共通していることだと思います。食べ物だけではなく、まだ日常で使える物を簡単に捨てたり、水や電気を使い過ぎたりしています。世界では食べ物が十分になく水も飲めなく困っている人もいます。私達は思ったときに美味しい物が食べられて、水が飲める幸せな環境にあります。だからこそ私達は物やある資源を大事にしていかなければなりません。このことはアメリカだけではなく、日本や世界中が考えるべきことだと改めて思いました。

私が空港でトイレの使い方がわからない時アメリカの人は優しく教えてくれ、ホテルでは困ったときうまく英語で話せない私に従業員さんは親切に教えてくれ、学校では生徒のみんなが笑顔で迎えてくれ、廊下で会うと声をかけ握手をしてくれました。そしてなによりホストファミリーは私のことを、本当の家族のように大事にして美味しい料理を作ってくれ、みんなが私のことを迎え親身に接してくれました。

私は将来このような素晴らしい体験をいかして、海外や世界で活躍できるような人

になりたいと思いました。



授業でパソコンを使用していた



ラットランド、ダウンタウンの写真



ホストファミリーと一緒に



## 1 はじめに

英語科教員としていつかは海外派遣の引率があると思っていました。とうとうその時が来ると正直不安に思いました。その上、今年度石鳥谷町とラットランドは姉妹都市提携30周年というアニバーサリーイヤーに自分には何が出来るのだろうかと事前研修を進めながら考えていました。私が生まれた年にラットランドとの交流が始まり、今年お話頂いたことも運命だと思います。せつかくのこの機会を十分に生かし、今後の教員人生の為に学んでこようと思いました。

## 2 研修の概要

### (1) 様々な体験活動

#### 1日目

バーリントンからラットランド市内に移動し、市役所、警察署、消防署を周りました。市長さんをはじめ、会う方全員が気さくで私たちを温かく迎えてくれました。警察署では普段は絶対入ることのない場所にも立ち入ることができました。牢屋にも閉じ込められました。昼食では英語のメニューに戸惑いましたが、初めての本格的な食事と積極的に話しかけてくれる元気な店員さんとの会話で笑顔が溢れました。一度ホストファミリーごとに別れ、再集合。ウェルカムディナーを高校のカフェテリアで食べました。量も多く、大変でした。

#### 2日目

幼稚園とミドルスクールを見学しました。幼稚園ではおもちゃで遊んだり数の勉強をしたり、可愛い園児に癒されました。ミドルスクールでは生徒会のメンバーに案内してもらいながら授業はもちろん、ブラスバンドや合唱のコンサートを開いてもらいました。学校生活や授業スタイルの違いに驚くばかりでした。夜はボーリング大会でした。外国の雰囲気やホストファミリーとの出会いに不安と緊張が続いていましたが、これを境に一気に壁を超えることができました。

#### 3日目

ラットランド高校への訪問でした。それぞれのホストスチューデントについていき、授業を参観しました。前日とは違った学校の雰囲気や授業の様子に興味を持ったようでした。美術のクラスでは轆轤ろくろを使って陶器を作った生徒もいました。フランス語のクラスも参観しました。日本人にとってはフランス語の授業を英語で聞き、日本語で考えるというとても混乱する体験でした。英語のクラスでは他国のステレオタイプについて意見を交わす授業でした。ある生徒が思っていた日本人から見るアメリカ人のステレオタイプについて話をすると、笑われてしまいました。この日は日本クラブの活動はなく、早めの帰宅になりました。

#### 4日目

ホストファミリーデーでしたが、朝食はシュガー&スパイスで一緒にとりました。大きな皿に4枚重ねのパンケーキ、オムレツやベーコンなど豪華な朝食でした。日中は別行動で、夜は楽しみにしていたハロウィンパレードでした。思い思いの仮装をした人たちや大きな車の行列を楽しみました。ある生徒はペンギンに仮装して臨みました。バケツに入らないくらいのお菓子をもらいながら楽しみました。



#### 5日目

午後まではホストファミリーとともに過ごしました。15時にコドニックセンターに集合し、サンクスギビングデーを体験しました。またまた豪華な食事に大満足です。ジャック・オー・ランタン作りや木に吊るされたドーナツを食べるなど貴重な体験が出来ました。ここで私たちが発表した「PPAP」が最終日まで流行するとは誰も思っていなかったと思います。



#### 6日目

最終日です。朝は荷物をまとめ、笑顔でバーリントン市内に移動しました。シャンプレーン湖や水族館、ショッピングモールでの買い物など、疲れも見せずにホストスチューデントとの時間を楽しみました。行くところ行くところでお土産をたくさん買いました。最後の夕食ではRISEプログラムに多大な協力をしてくださっている、王覚非博士にも着ていただき、素敵な時間を過ごしました。夕食が終わるといよいよお別れの時です。ホテルまでの数分の車の中で感情が込み上げてしまい、なかなか車から降りられませんでした。そこからは全員大号泣。その姿を見かねたTimさんが「PPAP」で場を盛り上げてくれました。5日間の短いホームステイでしたが、精一杯言葉でも心でもコミュニケーションを楽しんだからこそ得られた喜びや悲しみだと思います。この経験は必ず今後の糧となるはずです。この研修で一番良い光景でした。

#### (2) ホームステイ

私は以前にもホームステイの経験はあるものの、さすがに緊張しました。普段から英語を使っていますが、やはり常に聞いていないとリスニング能力は格段に落ちていました。数日すると耳も慣れ始め、笑い合うこともできるように

なりました。日本との生活様式や食生活の違いを感じながら楽しく過ごしました。ホストファミリーデーではラットランド内外の観光名所や州の議会場、アイスクリーム工場、ビール工場などたくさん連れて行ってもらいました。歴史的背景がもう少し分かっていたらさらに楽しめたと思います。

### (3) 生徒たちの様子

初日から仲良く、話も途切れずに過ごしていました。新幹線では座席を回し、対面にしていたほどです。騒がしくなるかと思えばそうでもなく、派遣団員として自覚し過ごしました。現地でも全員が積極的に見聞きしたり体験したりしていました。最初は英語に戸惑ってはいましたが、自分の知っている単語を並べながらコミュニケーションしている姿は素晴らしかったです。ホームシックを感じることもなく、過ごしたようでした。日本食が恋しくなり、「フードシックだあ」と言いながら毎日を過ごしていたのが印象的ですが、毎朝の様子を見ても充実して過ごせたようで安心して引率できました。

## 3 おわりに

ラットランドは街並みがとても美しく、自然が豊かで誰もが「いいなあ」と思える街だと思います。しかし、それは花巻でも同じことが言えると思います。今回の派遣を通して派遣団員には広い視野を持つことも大事ですが、自分のふるさとの良さにも気づき、それを発信出来るような人になって欲しいと思います。派遣されたみなさんは「花巻市の宝」です。ぜひ、地元の為に何か成し遂げられる人になって欲しいと思います。

最後にこのような機会を下さった花巻市、国際交流協会、諸関係機関の皆様へ深く感謝申し上げます。ありがとうございました。





# 平成28年度青少年海外派遣研修事業

## クリントン村派遣報告書



平成28年10月25日～11月2日

## クリントン村派遣団

### 派遣生

花巻北中学校	すがわら まなか 菅原 舞永
宮野目中学校	あらかや ほなみ 荒谷 帆南
石鳥谷中学校	かつやま こうた 勝山 耕太
西南中学校	やえがし かな 八重樫 環那
湯口中学校	みやかわ ななみ 宮川 奈那美
東和中学校	おぼら ことみ 小原 琴美

### 引率教諭

東和小学校	てるい ひろのぶ 照井 裕悦
-------	-------------------



## 1 研修テーマ

- ・ クリントンの音楽文化について
- ・ 代々伝わる伝統的な行事
- ・ 人と人とのつながりについて

## 2 テーマ設定理由

音楽文化を学びたいと思った理由は、私は音楽が大好きで音楽の知識も普通の人よりはあと思っています。ですので、研修に行ったら自分からも好きな音楽を教え、クリントン村の伝統的な歌や楽器、出会った皆さんの好きな音楽を知り、たくさん勉強したいからです。

クリントン村の伝統的な行事について学びたい理由は、花巻には花巻まつりや宮沢賢治さんなどといった昔から伝わる行事や偉人がいますが、クリントン村の伝統を知り、他国の伝統とはどのようなものか学びたいと思ったからです。

人と人とのつながりを学びたいと思った理由は、クリントン村は人口が少ない地域ですが、その中で、生活していく時の助け合いは日本にはあまり無いことだと思うので、フレンドリーなアメリカ人の助け合いを見て、帰ってきてからの生活に生かしたいと思いました。

## 3 テーマについての事前調査

音楽文化を調べるというテーマについては、アメリカの民族楽器をインターネットで調べました。1つ目は、「フィドル」というヴァイオリンに似ていますが、楽器の持ち方、奏法、音色などが異なる楽器です。元々はスコットランドやアイルランドの民族音楽に根ざした楽器でしたが、移民がアメリカに伝えました。2つ目は、「バンジョー」という起源はアフリカの楽器です。片面だけに皮を張った平べったい太鼓のような胴に長い棹を付け、弦を張っています。そして3つ目は、「マンドリン」というイタリア起源の小さな弦楽器です。表は平らで、裏は丸く膨らんでいるのが主流ですが、アメリカのカントリー音楽では背が平らなタイプが用いられます。

クリントン村があるウィスコンシン州の歌は、「進め、ウィスコンシン！」です。

## 4 研修報告

### (1) 現地の音楽について

クリントンミドルスクールの音楽の授業は、歌や楽器などで内容は花巻と同じような活動でした。しかし、花巻の学校よりも自由に音楽を楽しんでいるように見えました。それは、とても素敵だなと思いました。

驚いたのは、授業で吹奏楽を行っていることです。部活だけでなく授業でも一人ひとり楽器を持って全員で合奏しているのです。このことは、仲の良さや協力性にもつながっていると感じました。ホストファミリーに好きな音楽を聞いたところ、残念ながら音楽に詳しくないということでした。ホストスチューデントの妹はトランペットを吹き、家に持ち帰って練習していました。その姿勢は、花巻でもクリントン村でも変わらないと思いました。これらのことから、学校での音楽では、花巻よりもクリントン村の方が進歩していますが、根本的な音楽を楽しむ姿勢は、同じだということが分かりました。

## (2) 伝統行事について

伝統行事は、毎朝のお祈りや10月31日のハロウィンなどがありました。人と人とのつながりは、予想した通り、子供同士も親同士もほとんどが知り合いで仲が良く、結びつきが強いと思いました。

## 5 まとめ

1日目・2日目辺りは、とても不安で、たくさん失敗もしました。ホストファミリーには、たくさん迷惑をかけてしまいましたが、私が慣れてきて少しずつ心を開いていくと、楽しんで生活できました。ホストファミリーは、物や食事だけでなく、たくさんの経験を与えてくださいました。私が英語下手でも、日本人でも、そんな隔たりはなく、本当の家族のように可愛がって下さいました。ホストスチューデントは、本当の兄弟のように遊んでくれました。それが本当にうれしかったです。そして、ホストファミリーは最初から心を開いてくれていたので、私も最初からもっと心を開いていればもっと早く慣れることができたと思いました。

アメリカ人は、表情が豊かで、言葉をしゃべるにつれて表情がめまぐるしく変わるという特徴に気がつきました。私が相手の話したことをうまく聞き取れなかった時は、表情に助けられた部分も多くありました。

あまり英語の知識も無い中、英語だけの生活でたくさん困ることもありましたが、それを自分なりに解決していく力を高めることができました。また、たくさんの友情や絆を深められました。そして、もっと積極的に自分から話しかけたり、意見・考えを伝えたりすればと後悔しています。高まった力や反省を、これからの生活に取り入れ、視野を広くして生活していきたいです。





クリントンミドルスクールの教室案内板  
(音楽室)



音楽の授業で吹奏楽の合奏中



ハロウィンで、みんな街をねり歩いている



朝、スクールバスを待っている時の朝日

## 1 研修テーマ

日本とアメリカとの生活（学校生活）の違いについて

## 2 テーマ設定理由

日本と14時間もの時差がある離れた地域でも、日本と同じような生活リズムで過ごしているのか知りたかったです。また、日本の学生は平日、多くの時間を学校で過ごしており、体にも日本の学校生活が身についていると思うので、実際にアメリカの学校で過ごしてみることで、より小さな変化にも気がつくことができると思いました。

これらの違いに気がつくだけでなく、その違いは現地の方のどのような物事の考え方や人柄からくるものなのか詳しくみてくると思いました。

## 3 テーマについての事前調査

～日本と学校生活の違い～

- ・掃除時間がなく、生徒が学校の掃除をしない。
- ・文化祭、体育祭がない  
→文化祭、体育祭のかわりに、何か行事があるのか。
- ・1日15時前に授業が終わる  
→1日の授業の数が少ないのか、1つの授業時間が短いのか  
それとも、その分登校時間が早いのか
- ・学校から帰宅後、ショッピングに出かけたり、友達と遊んだりしている。

事前調査をして、新しく疑問に思うことや今までとは違う新しい考えが出てきました。

## 4 研修報告

### (1) 学校生活について

7時45分に登校します。日本では自転車通学が多いのに対し、バス通学の方がとても多いです。その後、全校集会がありました。日本と同じく体育館で行います。そして、8時前にアメリカへの忠誠を誓うお祈りをします。胸に手を当てて行います。

8時10分から授業が始まります。一日6時間で、1時間の授業は45分から55分などややばらつきがあり、毎時間教室移動があります。廊下にある各自のロッカーで授業道具を取り替えます。授業ごとにクラスメイトが変わり、多くの生徒と交流する時間があり

ます。授業は基本パソコンを使います。

昼食は給食とお弁当の人がいました。給食はバイキング形式で、給食を食べる人が多いです。授業が終わっても清掃時間がなく、清掃員の方が掃除していました。15時15分過ぎに帰宅します。帰宅時間が早いことで、長い時間ショッピングに出かけたり、遊んだりできます。

現地の学校生活を体験して、全校朝会や授業数、何の教科を勉強しているかなどは日本とほとんど同じでしたが、朝のお祈りや授業の様子、清掃をしないことなど、日本と違う点も多く見つけられました。髪を染めている人、授業でパソコンを使う、授業中に生徒だけでなく先生までもガムやお菓子を食べたりするなど、日本にないことが多くてとても驚きました。そして、特に印象に残っているのは、廊下ですれ違うたびに、気軽に「Hi！」と笑顔で声をかけてくれたことです。日本ではあまりないことで本当に嬉しかったです。

## (2) 家での生活 (休日) について

起床時間、平日は6時、休日は6時半です。朝食はシロップをたくさんかけたパンケーキやチョコのマフィンなど甘いものです。

朝食後は、ショッピング、アメリカンフットボール観戦、ゲーム、テレビを見ました。外に出かけることが多かったです。

昼食は、12時ごろです。ハンバーガーやピザなどが多く、サイズも日本の食べ物よりも大きいです。

夕食は、19時ごろです。昼食と同じような食べ物でした。

就寝時間は、21時過ぎです。

起床時間、就寝時間など生活リズムは日本とほとんど一緒でした。しかし、食事が日本よりとても甘いもの、大きなものが多く慣れませんでした。

## 5 まとめ

今回、初めての海外でホームステイをして、はじめは言葉の壁に困惑していましたが、正しい英語だけで伝えようとして、うまくコミュニケーションがとれませんでした。そこで、自分の分かる単語をつなぎ合わせたり、身振り手振りで伝えたりした方が分かり合えました。今の自分ができることをし、そして、何よりも伝えようとする気持ちが大切なことに気がつきました。

日本では制服を着なければいけない、髪型に指定があるなどの校則があります。しかし、現地の学校は私服で生活したり、髪の毛を染めている人も多くいたりして、はっきりと日本との違いがありました。日本は集団の美を重視し、アメリカは個々の輝きを重視しているのだと感じました。それぞれの国の良さを感じることができました。

また、ホストファミリーとショッピングに出かけたとき、ホストファミリーはあまり迷いなく買うものを決めたりしていました。私が迷っていると、「どっちにする？」と聞かれました。さらに、いろいろな場面で、はっきりした答えを求められることが多かったで

す。日本にいると気がつかない日本人の優柔不断さに実際に海外で暮らしてみること、日本独特の考え方にも気がつくことができました。

今回の体験では、現地の人を持ち前の明るさ、優しさに本当に助けられ、人と人との和を感じました。

また、両国独特の考え方や良さを感じることができました。これからは、この貴重な体験を生かし、もっと色々な人に発信していきたいです。そして、英語を今よりもっと勉強して、またホストファミリーに会いに行けるようにします。



授業中の様子



授業で使っているパソコン



給食



派遣生とホストチューデント

## 1 研修テーマ

《スポーツ》

- ・クリントン村で人気のあるスポーツについて
- ・アメリカの中学生のスポーツへの取り組み方、取り組み体制の日本との違いについて

## 2 テーマ設定理由

僕は、中学の部活でバスケットボールをしています。バスケットボールが始まったのはアメリカです。今、バスケットボールが活発なのもアメリカです。そこで、アメリカと日本の学校におけるスポーツの取り組みに、違いがあるのかと疑問に思ったので、調べたいと思いました。また、小学生の頃、アメリカの体育はとても自由で、遊びのようだと聞いたことがありました。学校の体育の授業のやり方なども現地で見たいと体験して来たいと思いました。

## 3 テーマについての事前調査

《アメリカで人気のあるスポーツ》

ベースボール・アメリカンフットボール・バスケットボール

《部活動の日本とアメリカの違い》

日本とアメリカでは、どちらも全ての学校に運動部が設置されているが、日本は多種類の部を持つ学校が一般的で、アメリカではアメフトやバスケなどの代表的な部だけを持つ学校が珍しくない。また、日本は全員参加が一般的だが、アメリカでは入部に際してトライアウト（入部試験）を設けて、競技能力により入部希望者を選択する場合もある。日本は年間を通して活発に活動しているが、アメリカはシーズン制であり、年間を通して活動しているわけではない。日本は市・県・地方大会につづき、全国大会があることに對し、アメリカでは全国大会はなく、州レベルの大会に留まっている。しかし、アメリカの高校のアメフトやバスケの州大会は、多くの観客を集めるビッグイベントである。指導者は関心や経験のある教師が担う点は共通しているが、アメリカには教師とは別にやとわれるチームに属したコーチがいる。また、日本の指導は第一に人間形成を考えるが、アメリカの指導者は競技の技術向上を第一の目的としている。これらを踏まえて、アメリカの部活動の特徴を述べると、「少数エリートの競技活動」とまとめることができる。

以上はインターネットで「アメリカの中学生・部活」などで調べました。

## 4 研修報告

### (1) 人気のあるスポーツについて

人気のあるスポーツは事前調査通り、ベースボール、フットボール、バスケットボー

ルでした。特に、テレビでワールドシリーズのシカゴ・カブスが映し出されていたので、毎晩ホストファミリーと一緒に観戦しました。日本では多くのチャンネルでいろいろなスポーツを報道していますが、アメリカのテレビで放送しているのは、ベースボールかフットボールがほとんどでした。

## (2) 学校のクラブについて

クリントンミドルスクールには、体育館が2つありました。クラブはバスケットボールをしていました。クラブの活動期間はシーズン制を用いており、春は陸上やフットボール、夏はバレーやベースボールを行い、秋冬にバスケットボールをするそうです。また、日本の中学生は部活に全員が参加していますが、アメリカは自由参加でした。学校が終わる時間が3時15分ととても早く、クラブ活動をする時間も3時30分から6時前頃までと、日本の中学生の部活動時間よりも早く終わりました。活動日数は週2回程度でした。クラブの参加人数は7・8年生の2学年全体で50人弱もいました。クラブの数が少ないから参加人数が多いのだと思いました。学年で分けて2つの体育館を使い、基礎練習から、ランニング、ダッシュ、シュート練習など、日本のバスケットボールのメニューに似ていました。みんなバスケットを始めてから2・3年でしたので、自分が7年やっていると云ったらとても驚いていました。シーズン制なので、バスケットを極めるのではなく、フットボールやバレー、ベースボールなどいろいろな種目を体験できます。このため、運動能力が総合的に向上し、高校で競技の一つを選択したら飛躍的に競技技術が向上するのだと思いました。

## 5 まとめ

この事業を通して最も感じたことは、自分の意見を今できる自分の英語力とジェスチャーで伝えようと思えば、誰にでも気持ちを伝えることができるということです。最初はほとんど英語を聞き取れず、家族の会話に入れませんでした。ホストマザーが、ゆっくり身振り手振りで伝えようとしてくれ、徐々に多くの人と会話ができるようになりました。また、Yes、No、をはっきり相手に伝えることが、アメリカでは大切だと感じました。もっと英語を勉強して、またチャンスがあれば海外へ行きたいです。

アメリカの家はどの家も大きく、とても立派な家が多かったです。家には地下室があり、ハリケーン対策のコンクリートで覆われた部屋もありました。食べ物は量が多く、肉などのタンパク質も多い食事を期待していましたが、味付けが甘く量も少なく慣れませんでした。

思い出に残ったことは、昼休みにミドルスクールのみみんなとバスケットボールをして遊んだことです。シュートを決めたらハイタッチをしてくれたり、みんな優しくしてくれたりしました。学校の駐車場にバスケットコートがあり、遊ぶことができるのはよいと思いました。また、自分はバスケットボールが好きだと伝えたら、NBAに連れて行ってくれましたし、高校生のクラブに誘ってくれました。短い期間にたくさんの経験をさせてく

れた気遣いがとても嬉しかったです。

この経験を活かして、国際的な広い視野で自分の進路を考え、将来、人の役に立てるような仕事につきたいです。今回の研修で、自分を温かく迎えてくれたホストファミリーや支えてくれた方々に心から感謝しています。ありがとうございました。



レストランで食べたフィッシュフライ



高校生と一緒に3 on 3



ミルウォーキーでNBA観戦



とても大きいホストファミリーの家

## 1 研修テーマ

家での生活（食器）についてと履物（靴）について

## 2 テーマ設定理由

このテーマの設定理由は、日本とアメリカの文化は全く違うとよく聞くからです。私達は普段箸を使ったり、室内では靴を脱いで生活したりしていますが、はたしてアメリカはどうなのかとても疑問に思い、調べてみたいと強く感じました。

## 3 テーマについての事前調査

\* 家での生活（食器）について\* インターネット

フォークやナイフを使う事が少ない。主な食べ物は、ハンバーガーやポテトなどを多く食べる事が分かりました。

\* 履物（靴）について\* インターネット

靴は、脱がずにずっと履いている事が分かりました。

## 4 研修報告

### (1) 家での生活（食器）について

私は、アメリカの食事には、フォーク・ナイフ・スプーンが必ず用意されるのではないかと勝手に想像していました。しかし、ウィスコンシン州では、その料理に合わせてどれか1つを使って食べるという事が一般的であり、日本のようにテーブルを使わずソファで食べる家庭もありました。

さらに、ほとんどの家庭で飲料水を常温または冷蔵庫で保管されている事が分かりました。その水の種類もたくさんあります。理由を聞くと、アメリカは日本と違い、水道水があまりきれいではないからだと教えてくださいました。

家庭で出される食事の例は、以下のようなものでした。

朝…オートミール、シリアル、パン類

昼…ファストフード（ハンバーガー、ポテト、チキン）

夜…洋食（卵料理、パスタ、シチュー）

### (2) 履物（靴）について

アメリカの人は家の中に入っても履いている事が分かりました。しかし、絶対靴を履いていなければならないわけではなく、家族の中には靴下で家の中を歩く人もいました。しかし、家に入る時は必ずと言っていいほど、皆さんが靴を履いて中に入っていたので、下駄箱などはありませんでした。学校の中でも同じです。家の中と同じ室内とい



う点に目を向けてみました。その結果、体育館も外靴で入っていました。その影響か、床はすべるのが当たり前で、気にする人がいなかった事に私は驚きました。

## 5 まとめ

私はこの派遣に行くまではとても不安でした。現地に着いて、ホームシックというもの初めて体験しました。大丈夫かなと心配でしたが、生活に慣れていくとホストファミリーや友達と会話する事ができました。本当に楽しかったです。日本では日本語が通じますが、実際、英語で会話すると分からない事だらけでした。しかし、ジェスチャーなどの身振り手振りで相手に自分の気持ちが伝わりました。文になっていなくても単語など短い言葉でも相手がうなずいてくれましたので、少しずつ自信になっていきました。アメリカは日本と全く違う文化でしたが、共通する事は、「笑顔」のほかに、「関わり」だと私は思いました。また、ハロウィンは、日本では見た事のないほど本格的でした。仮装をしている子供が、その地域の家々をまわり、「トリック・オア・トリート」と言ってお菓子をもらっていました。

このように、日本との違いをたくさん学ぶことができました。また、異文化を学ぶという個人目標も十分に達成することができました。この体験は、本当に自分の為になったと心から思える派遣でした。何度も言われた「行ってみないと分からない」という言葉の意味が、現地に行ってみて初めて分かりました。この経験を忘れず、これからの生活に生かすと共に、日米両国で働ける理学療法士を目指して、これからたくさん勉強し、夢への一歩にしたいです。



現地のファストフード店のメニュー表



室内でスポーツをしている様子



ある日の夕食の  
パスタ・パン

## 1 研修テーマ

アメリカで人気のお菓子について学びたいです。日本のお菓子との違いや味、色、見た目など、いろいろな事について詳しく知りたいです。

特に知りたいのは、定番なお菓子や伝統的なお菓子です。「日本でいうところの和菓子のようなものは何か」「幅広い世代で愛されているお菓子はどんなものか」など、いろいろな分野について知りたいです。

## 2 テーマ設定理由

外国のドラマで聞いたことのないお菓子が出てきて、「どんな味がするんだろう」と疑問に思いました。

友達の家遊びに行った時にアメリカのお菓子をいただきました。食べてみたら初めての味で、これ以外のお菓子も知りたいと思ったのも理由の1つです。

また、私自身、お菓子が好きなので、新しい味や見た目、大きさなど、たくさん発見したいと思いました。

## 3 テーマについての事前調査

- ・ドーナツやカップケーキはよく食べられている。
- ・とても甘くて大きく、色が派手。
- ・アメリカは、国の歴史がそれほど古くない為、伝統的なお菓子はそれほど存在しない。
- ・日本では見られない色のお菓子がある。
- ・アメリカ生まれのお菓子は、「シフォンケーキ」、「ブラウニー」、「サンデー」など。
- ・定番はツウイズラズというグミ、ソングトップというアクセサリーになるキャンディー、バブルテープというテープ状のガムなど、インパクトが大きいものが多い。

## 4 研修報告

### (1) 日本との違いについて

スーパーやお菓子屋さんへホストファミリーに連れて行ってもらい、人気のお菓子、国民的なお菓子を教えてもらいました。まず、日本と一番違ったのは派手な色でした。日本では見た事の無い、原色に近い赤色、青色やそれらを組み合わせた虹色のお菓子があり、見た目のインパクトがありました。

味は、キャンディーを例にとると、甘かったと感じられました。口に含むと甘さが感じられ、日本の果汁系の甘さに比べると、日本の昔の駄菓子のような味付けに仕上げられていると感じました。

個性的なものも多く、一番驚いたのは、キャンディーの中に小さなコオロギやミミズ

が入っているお菓子(虫キャンディー)があった事です。サソリ入りの物もありました。

また、アメリカの国民的なチョコレートは「HERSHEY'S」というもので、ミルクチョコレートを食べてみましたが、酸味を感じました。日本のお菓子に食べ慣れているせいか、酸味のあるチョコレートには驚きました。

#### (2) 日本との共通点について

パッケージが工夫されている点は日本と同じでした。子供向けのお菓子を見ると、おもしろいイラストやアニメのキャラクター(スポンジボブ等)で、小さい子供の目を惹きつけるのは世界共通ではないかと感じました。商品の説明や使用されている原料が記載されている点も日本と一緒でした。

#### (3) 感じた事について

アメリカのお菓子は、色・味・大きさ・値段全てが日本と違います。海外の旅行者が日本の食料品や飲食店の品数や品質に驚いている姿をテレビで見る事があります。

美味しい物は色々ありました。パスタやハンバーガーは美味しかったです。お菓子に限っては、日本の商品が私には合っていると感じました。

## 5 まとめ

今回の派遣で日本との違いをたくさん見つけることが出来ました。学校生活・食事・家族の生活など、数え切れない位の発見が出来、とても良い経験となりました。

色々な場所にホストファミリーと訪れることが出来ました。また、ホストファミリーには、アメリカについてたくさん教えていただいて、とても楽しかったですし、嬉しかったです。さらに、アメリカの人達の優しさをたくさん感じる事が出来ました。

しかし、リスニングが弱かったと感じました。なめらかな英語で聞き取ることが出来ず、何度も聞き返してしまうことがありました。

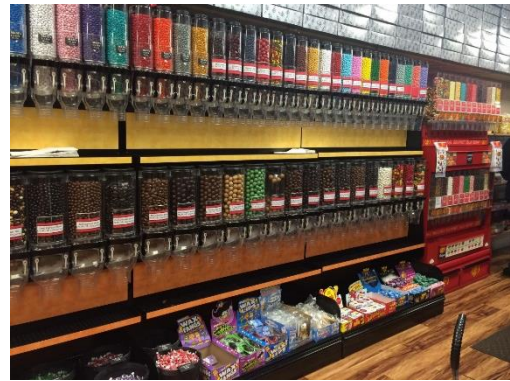
今後の目標は、スムーズな英会話が出来よう、英語力を身に付ける事です。

将来は、英語を活かし世界を渡り歩くような仕事につきたいと思います。

今回の派遣事業に携わり、サポートして頂いた協会の皆様、そして、家族にはとても感謝しています。本当にありがとうございました。



クリントンミドルスクールにて



町のお菓子屋さんにて



ハロウィンにもらったお菓子



ホストファミリーと（自宅にて）

## 1 研修テーマ

- ・アメリカの伝統食について
- ・普段の食事の栄養バランスについて

## 2 テーマ設定理由

日本の伝統食は、「寿司」「うどん」「味噌汁」「蕎麦」とたくさん種類があり、私たちはみんなそれを毎日食べています。アメリカの人々はアメリカの伝統食を毎日食べているのか、どんな種類があるのか、日本とアメリカの食べ物の味の濃さを調べたいです。

## 3 テーマについての事前調査

～伝統料理について～ インターネットで

伝統料理ではなく、郷土料理というものがあります。その理由は、アメリカは土地の面積が広いので中西部、南東部、南西部に分かれて郷土料理があります。しかし、その食事は、ピザ、コールスローサラダ、ビーフステーキ、ハンバーガーと日本でも食べたことのある食事です。

～食事の栄養バランスについて～ インターネットで

ホットドッグ、ステーキ、ハンバーガー、ピザと高カロリーで野菜が少ないため、栄養バランスは良くないようです。

## 4 研修報告

### (1) 伝統食について

ホストファミリーに「アメリカの伝統食は何ですか？」と聞いたところ「アメリカの伝統食はたくさんあるよ！」と答えてくれました。ホストファミリーが伝統食を教えてくださいましたので私が食べたものは、「アップルパイ」「ステーキ」「ハンバーガー」「ポテト」「ピザ」「ホットドッグ」「ポテトサラダ」「カップケーキ」です。

どれも共通することは、食べ物のサイズが大きいことと、味が濃かったことです。量が多く味が濃いことから私はあまりアメリカの伝統食を食べることができませんでした。

そして、ほとんどが外食だったため食べるのが大変で、残してしまうことが多々ありました。もったいないと分かっているながらも、残してしまうことを気にしていたところ、ホストマザーが、「アメリカでは、ほとんどみんな食べ物を残すから大丈夫だよ」と話してくれたので驚きました。私は「日本では、食べ物はあまり残さないよ。」と伝えたところ、ホストファミリーは「すばらしい」と言って驚いていました。これもまた一つのアメリカ文化だと実感できました。ホストマザーが作ってくれた「パン」や「ラザ

ニア」は、手作りなので味はあまり濃くなくとても食べやすい味でした。

## (2) 食事の栄養バランスについて

私がアメリカで朝食、昼食、夕食を食べていて気付いたことは、サラダをあまり食べなかったことです。サラダを食べたのは、ミドルスクールでの昼食を食べた時だけです。他は、ハンバーガーやお菓子、お肉が主でした。

また、ペットボトルの水を何本もまとめ買いをし、食事の時に、そのペットボトルの水を一人一本飲むということに驚きました。日本では味噌汁を飲みますが、日本とアメリカでは全く違うと思いました。改めて日本食の良さを実感できました。

## 5 まとめ

アメリカに行くまでは、とても不安でどんな生活が始まるのか、全く想像できませんでした。しかし、ホストファミリーと初めて会った時ホストファミリーは笑顔で挨拶をしてくれました。握手までしてくれました。とても嬉しい気持ちになりました。

夕食の時や家族での団欒の時間に、日本の文化についてホストファミリーからたくさん質問を受けました。英語はしっかりと聞き取ることができたのですが、英語で答えることができませんでした。ジェスチャーや単語で話すと納得してくれたのですが、しっかりと伝わっていないと実感しました。これから、努力して勉強していきたいです。

ハロウィンでは、仮装をして、ホストファミリーと「トリック・オア・トリート」と言いながら2時間ぐらい町を歩いてたくさんお菓子をもらうことができました。アメリカの文化を体験できました。

初めての海外での英語やアメリカでの文化を吸収することができました。今後の自分の課題も明確にすることができました。英語を話すのに一番大切なことは、「笑顔」だと感じました。私の将来の夢は国際関係の仕事に就くことです。英語を学び続け、次にアメリカに行った時は、流暢に英語を話せるようになりたいです。これからも前向きに何事にも挑戦していきたいです。



BIG サイズのピザ



外食した時のポテトとサンドイッチ



ホットケーキにかけたメープルシロップ



ホストファミリーとの団らん

## 1 はじめに

この度、花巻市内の中学生6名と共にアメリカ合衆国ウィスコンシン州クリントン村において研修を積ませていただき貴重な体験となりました。私は、恥ずかしながら海外の渡航は初めてでした。引率者としての研修ではありましたが、海外生活に対する不安は派遣生と同じ、それ以上のものだったと思います。7名は、11時間のフライト後、入国審査を経て、無事にアメリカ合衆国に入国することができました。中学生は、物怖じせず、入国審査にチャレンジしていました。シカゴ・オヘア国際空港へクリントン・ミドルスクールのベネット先生に出迎えていただき、皆、安堵していました。

クリントン・ミドルスクールに到着後、簡単なセレモニーが行われ、ホストファミリーの前で堂々と環那さん（西南中）が挨拶を行いました。全員は、緊張感を持ってホストファミリーと共に家路に向かいました。

## 2 研修報告

### (1) クリントン・ミドルスクールでの様子

二日目からクリントン・ミドルスクールでの学校生活がスタートしました。7時45分には、各ホストファミリーの車で送られてくる生徒、スクールバスで来る生徒と様々でしたが、緊張感が抜けないままの登校でした。8時15分には、体育館に案内され、歓迎会をしていただきました。校長先生からの紹介後に私たちも自己紹介を行いました。英語によるスピーチでしたが、校長先生より「私たちが話している事が分かった」と褒めていただきました。また、数名の先生からも褒めていただきました。校長先生の案内で授業を参観し、三日目からは、ホストチューデントと一緒に授業に参加しました。中学生は、英語に戸惑いもあったようですが、学校生活を楽しんでいました。

日本の学校との相違点がたくさんありました。

一つ目は、8時から授業が始まり、15時15分には授業が終わり、スクールバスに乗って下校することです。1時間の授業時間が51分、3分間の移動時間1日8時間授業でした。15時30分から17時までは、スポーツ活動をしていました。耕太君（石鳥谷中）は、バスケットボールの練習に参加することができました。



全校朝会での自己紹介の様子



図書室の様子



二つ目は、生徒が授業ごとに各教科の先生の教室に移動することです。

三つ目は、授業のスタイルは、一斉指導ではなく、グループごとの活動やディスカッション形式で進められていることです。生徒が主体的に学び活動し、教師は後押しをするような授業の展開でした。

四つ目は、技術や美術の教室では、日本で見ることのない教材機器を置いてありました。木工工場のような機材があり、より本格的な作品に仕上げられるようでありました。

五つ目は、図書室では、常に図書司書が配置され、生徒に借り方だけでなく、どんな本を読めば心が育つかという授業が行われていました。

## (2) ホームステイの様子

私自身も、生徒同様にホームステイという形でクリントンに滞在しました。お世話になったホストファミリーの構成は、父、母、長男、次男、長女、次女でした。父は、クリントンのエレメンタリーとハイスクールで教員です。ハイスクールのフットボール(アメリカンフットボール)のコーチをしています。母は、クリントンのミドルスクールの教員です。お子さんたちは独立しており、長男は別の州で教員です。父は教員に加え、牧師、農場のオーナーとして、朝早くから夕方まで休まず活動していました。

以前に東和中の生徒を受け入れたことやご自身の二人のお子さんが花巻市に滞在したことのあるご家庭でありました。

食事は私のイメージとは違い、質素でした。朝は、各自がキッチンでパンケーキ、シリアル、トースト、牛乳、バナナを食べていました。夕食もチキンライスに醤油少量をかけたシンプルなものでした。食事の前は必ず神へのお祈りは行われ、感謝の気持ちを大切にしていました。

アメリカでは、家族と過ごす団らんの時間を大事にしています。夕食後には、会話やスポーツ観戦を楽しみました。ハロウィンの焚き火や日曜の教会活動にも参加させていただきました。参加されている方々は全てファミリーと呼んでいたことに深く感動しました。



ハイスクールフットボール決勝戦の様子



農場のサイトの様子

週末には、ホストの兄や父が経営する農場に連れて行っていただきました。見渡す限りのデントコーン畑や牧草地が広がり、アメリカの広さを感じることができました。機械の大きさにも驚かされるほどの大規模な農場でした。

息子・娘ご夫妻との交流の時には、日本から持参した折り紙で楽しみました。

食事から生活面の細やかなことに気を使っていたいただき、感謝の気持ちでいっぱいです。



農場の牛舎の様子

### 3 終わりに

研修に参加した中学生は、滞在期間中に飛躍的な成長を遂げました。前半は、食生活や生活習慣に戸惑う場面も見られました。しかし、後半は、毎日が楽しく登校し、「帰りたくない」という生徒もいました。

帰国当日の朝、ホストファミリーとのお別れは、全員、名残惜しんで涙していました。そんな中、帆南さん（宮野目中）は、代表してお礼の挨拶を行いました。

この研修を通して、クリントンの皆さんの温かさを感じることができました。不安な私に気軽に声をかけてくださいました。また、一生忘れられない貴重な体験をすることができました。

感じてきたこと、見てきたこと、体験してきたことを、これから子供達に還元できるように励みたいと思います。

最後に、このような研修の機会を与えていただいたことに感謝申し上げます。また、国際交流協会の皆様をはじめ、たくさんの方々の細かなご準備やご配慮をいただきましたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。

MILWAUKEE PUBLIC MUSEUM



ホストスチューデントと一緒に  
ミルウォーキー公立博物館で



クリントン最後の朝



ホストファミリーと一緒に



折り紙に挑戦



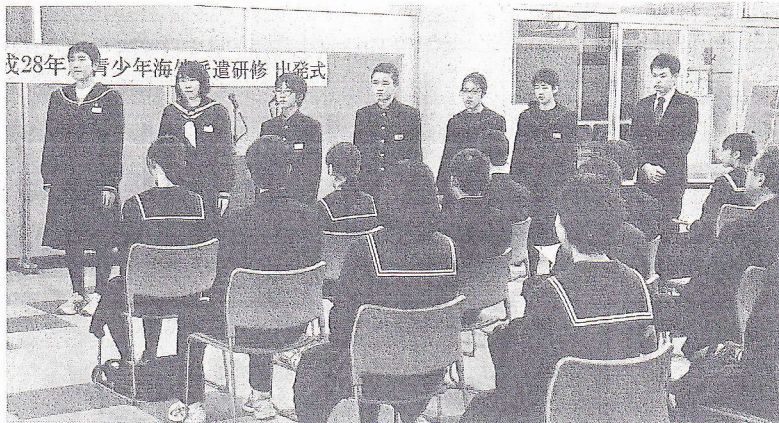
ミルウォーキー公立博物館で  
ホストスチューデントと記念写真



お別れの時

平成28年(2016)10月23日 (日曜日)

青少年海外派遣研修出発式で派遣先ごとに決意を示す代表の中高生



花巻国際交流協会(佐々木史昭理事長)の2016年度青少年海外派遣研修出発式は21日夜、花巻市葛の市交流会館で行われた。協会や市などの海外派遣研修事業に臨む中高生ら34人が出席し、間近に

とバーモント州ラットランド市、ウィスコンシン州クリントン村、オーストリアのニードルエスタライヒ州ベルンドルフ市の派遣先ごとに、中高生の代表6人が決意を示した。

したり、吸収したりしたい」と述べた。日程は派遣先により今月下旬か11月初旬からの9、10日間。佐々木理事長は「現地では今までの自分から一歩踏み込んでチャレンジしてほしい」

## 成長と相互交流に期待

### 海外派遣研修 中高生34人が出発式

控えた異国での体験に思いをはせた。派遣先は米国など2カ国の4都市。

中学生24人と県立大迫高、花巻東高の生徒各2人が引率教諭と出席。米国のアーカンソー州ホットスプリングス市

このうち花巻市との姉妹都市提携から今年で30周年を迎えたラットランド市に赴く佐々木永遠君(大迫中2年)は「英語はまだまだだけれど、たくさんコミュニケーションして、いろいろなことを発信

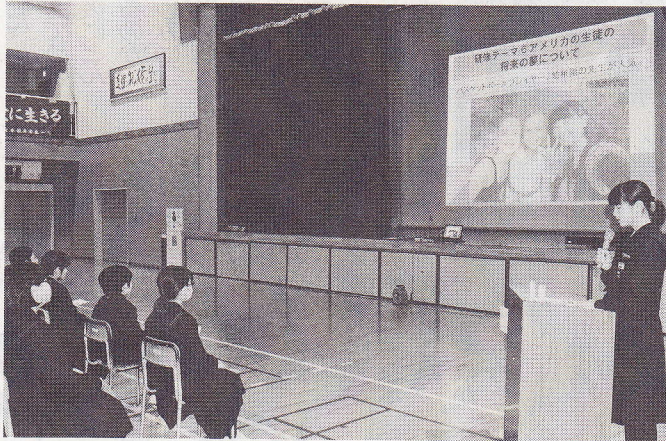
い。それから、戻ってきてもやりとりできるような関係を現地でしっかりとつづけてほしい」と、研修を通じた成長と相互交流に期待を込めていた。

発

【花巻】米国など2カ  
国4都市を対象とした花  
巻国際交流協会(佐々木  
史昭理事長)の2016  
年度青少年海外派遣研修

# 言葉の壁 越える交流

## 派遣中学生が合同報告会



花巻市内の中学生が16年度青少年海外派遣研修事業で訪れた都市について説明した合同報告会

事業に参加した花巻市内の中学生4人による合同報告会が1日、同市東和町土沢の東和中学校(西郷晃校長、生徒235人)で開かれた。それぞれ派遣先について紹介し、異文化に触れた経験を生かした成長に意欲を示した。

派遣事業は昨年10、11月に行われ、中学生は24人が参加。代表で藤館英梨菜さん(東和中2年)が米アーカンソー州ホトスプリングス市、横田紗弥さん(花巻中2年)がオーストリアのニーダールフ市、吉水真理奈さん(石鳥谷中2年)が米バーモント州ラットランド市、勝山耕太君(同)が米ウィスコンシン州ク

リントン村での経験について紹介した。このうち勝山君は現地の学校生活について「服装などにあまり決まりがなく、個人の自由を尊重している」と説明。言葉の壁を感じながらも英単語をつなぎ合わせたり身振り手振りを交えたりしてコミュニケーションしたことに触れ「何より伝えようとする気持ちが大切だと気付いた。派遣を通じて、(日米)両国それぞれの考え方や良さを肌で感じた。体験を生かし、クリントンの人々のフレンドリーさを取り入れていきたい」と話した。

合同報告会には東和中の1、2年生も参加し、同世代の目線で語られる異国の様子に注意深く耳を傾けた。報告後には、派遣において最も苦労したことなどについて質疑が交わされていた。

## 平成28年度青少年海外派遣研修事業 派遣報告書

発行日 平成29年3月

発行所 公益財団法人花巻国際交流協会

〒025-0004 岩手県花巻市葛第3地割 183 番地 1

(電話) 0198-26-5833 (FAX) 0198-26-5855

<https://hanakokusai.wordpress.com/>

印刷・製本 川嶋印刷株式会社 花北営業所

© Hanamaki International Exchange Association

2017, Printed in Japan